

(様式第 10)

九大院医医第 55号
令和 2年10

厚生労働大臣

殿

九州大学総長 石橋 達

九州大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和元年度の業務に関して報告します。
記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒819-0395 福岡市西区元岡744
氏 名	国立大学法人 九州大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

九州大学病院

3 所在の場所

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1	電話 (092) 641-1151 (代表)
------------------------	------------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無
内科と組み合わせた診療科名等		
1 呼吸器内科		
2 消化器内科		
3 循環器内科		
4 腎臓内科		
⑤ 神経内科		
6 血液内科		
7 内分泌内科		
8 代謝内科		
9 感染症内科		
10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科		
11 リウマチ科		
診療実績		
・呼吸器内科は呼吸器科で診療を行っている。		
・循環器内科は循環器科で診療を行っている。		

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科		有	無
外科と組み合わせた診療科名			
1呼吸器外科	2消化器外科	3乳腺外科	4心臓外科
5血管外科	⑥心臓血管外科	7内分泌外科	⑧小児外科
診療実績			

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	7産婦人科	⑧産科
⑨婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科	13放射線診断科	14放射線治療科		
⑮麻酔科	⑯救急科						

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科		有	無
歯科と組み合わせた診療科名			
①小児歯科 ②矯正歯科 ③口腔外科			
歯科の診療体制			

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	リハビリテーション科	2	病理診断科・病理部	3	形成外科	4	心療内科	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14				
15	16	17	18	19	20	21				

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
49床	床	床	床	1,226床	1,275床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(令和2年10月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	445 人	220.8人	665.8人	看護補助者	19 人	診療エックス線技師	0 人
歯科医師	133 人	62.4人	195.4人	理学療法士	23 人	臨床検査技師	111 人
薬 剤 師	97 人	0 人	97 人	作業療法士	8 人	衛生検査技師	2 人
保 健 師	0 人	0 人	0 人	視能訓練士	10 人	その他	0 人
助 産 師	42 人	0 人	42 人	義肢装具士	0 人	あん摩マッサージ指圧師	0 人
看 護 師	1188人	10.5 人	1198.5人	臨床工学士	26 人	医療社会事業従事者	14 人
准看護師	0 人	0 人	0 人	栄 養 士	0 人	その他の技術員	38 人
歯科衛生士	23 人	0 人	23 人	歯 科 技 工 士	5 人	事 務 職 員	362 人
管理栄養士	11 人	0 人	11 人	診療放射線技師	68 人	その他の職員	190 人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(令和2年10月1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	122 人	眼 科 専 門 医	17 人
外 科 専 門 医	66 人	耳鼻咽喉科専門医	12 人
精 神 科 専 門 医	11 人	放射線科専門医	27 人
小 児 科 専 門 医	50 人	脳神経外科専門医	9 人
皮 膚 科 専 門 医	6 人	整形外科専門医	24 人
泌尿器科専門医	11 人	麻 醉 科 専 門 医	16 人
産婦人科専門医	11 人	救 急 科 専 門 医	10 人
		合 計	392 人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (赤 司 浩 一) 任命年月日 平成 30 年 4 月 1 日

- ・平成16年度より平成29年度末まで輸血センター長及び輸血委員会委員長として九州大学病院の輸血・血漿交換等に関する医療安全管理業務を担当した。
- ・平成20年度より平成29年度末まで九州大学病院検証会委員を務め、病院全体の医療安全管理体制に貢献した。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	1,099.3 人	34.2 人	1,133.5 人
1日当たり平均外来患者数	2,433.3 人	792.3 人	3,225.6 人
1日当たり平均調剤数			2,212.9 剤
必要医師数			259.07750 人
必要歯科医師数			44 人
必要薬剤師数			38 人
必要(准)看護師数			678 人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
			病 床 数	心 電 計	有・無	有・無
集中治療室	442.93m ²	鉄筋コンクリート	12床			
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 1,226.28 m ² [移動式の場合] 台数 4 台		病床数	54 床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 84.74 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	1,116 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 冷蔵庫・冷凍庫、測定・分析装置			
細菌検査室	552 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 冷蔵庫・冷凍庫、測定・分析装置			
病理検査室	527 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) パーチャルスライドスキャナー、自動免疫染色装置			
病理解剖室	65 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) ミクロユニットハイカザード解剖台			
研究室	15,430 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) クリーンベンチ、遠心分離機、冷蔵庫・冷凍庫			
講義室	485 m ²	鉄筋コンクリート	室数 3 室	収容定員 2室 157人 1室 256人		
図書室	4,069 m ²	鉄筋コンクリート	室数 3 室	蔵書数 328,720冊 (九州大学医学図書館 HPより)		

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	79.6%	逆紹介率	81.4%
算出根拠	A: 紹介患者の数	22,496人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	24,640人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,609人	
	D: 初診の患者の数	30,247人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
奥村 耕一郎	琉球大学	○	安全管理の識見者	無	1
一木 孝治	産業医科大学		安全管理の識見者	無	1
高橋 一久	産業医科大学		安全管理の識見者	無	1
秋好 美代子	さく病院		安全管理の識見者	有	1
久保井 摂	九州合同法律事務所		法律の識見者	無	1
中原 美夏	NPO 法人 キャンサーサポート		医療を受ける者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法 本院 WEB サイトに掲載。	

必要医師数等試算表(医療法施行規則第22条の2に基づく)

全体				
一日平均入院患者者数(全体)	1133.500	A		
一日平均入院患者者数(全体)(入院新生児含む)	1139.300	A'	新生児	5.6
一日平均外来患者者数(全体)	3225.600	B		
一日平均入院患者者数(医科)	1099.300	C		
一日平均外来患者者数(医科)	2433.300	D		
一日平均入院患者者数(歯科)	34.200	E		
一日平均外来患者者数(歯科)	792.300	F		

必要医師数	259.07750	≒	260	L	$(C+(D\div 2.5))\div 8$
必要歯科医師数	43.89	≒	44	M	$(E\div 8)+(F\div 20)$
必要看護師及び准看護師	677.17	≒	678	N	$(A'\div 2)+(B\div 30)$
必要薬剤師数	37.78	≒	38.00	O	$A\div 30$

医療法第6条の6第1項に基づく診療科名

医科			
届出	標榜診療科(医療法)	院内診療科名	備考
○	内科	血液・腫瘍・心血管内科 免疫・膠原病・感染症内科 消化管内科 腎・高血圧・脳血管内科 内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科 総合診療科 先端分子・細胞治療科	
○	心療内科	心療内科	
○	精神科	精神科神経科	
	神経科		
○	神経内科	脳神経内科	
○	呼吸器科	呼吸器科	
	消化器科(胃腸科)		
○	循環器科	循環器内科	
	アレルギー科		
	リウマチ科		
○	小児科	小児科	
○	外科	消化管外科(1) 消化管外科(2) 肝臓・膵臓・門脈・肝臓移植外科 胆道・膵臓・膵臓移植・腎臓移植外科 呼吸器外科(1) 呼吸器外科(2) 乳腺外科(1) 乳腺外科(2) 内分泌外科 血管外科	
○	整形外科	整形外科	
○	形成外科	形成外科	
	美容外科		
○	脳神経外科	脳神経外科	
	呼吸器外科		
○	心臓血管外科	心臓血管外科	
○	小児外科	小児外科、成育外科、小腸移植外科	
	皮膚泌尿器科		
○	皮膚科	皮膚科	
○	泌尿器科	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	
	性病科		
	こう門科		
	産婦人科		
○	産科	産科婦人科	
○	婦人科		
○	眼科	眼科	
○	耳鼻いんこう科	耳鼻咽喉・頭頸部外科	
	気管食道科		
○	リハビリテーション科	リハビリテーション科	
○	放射線科	放射線科	
○	病理診断科	病理診断科・病理部	
○	麻酔科	麻酔科蘇生科	
○	救急科	救命救急センター	

24

歯科			
	標榜科	院内診療科名	備考
○	歯科	歯内治療科 歯周病科 義歯補綴科 咬合補綴科 歯科麻酔科 口腔画像診断科 口腔総合診療科 高齢者歯科・全身管理歯科	
○	矯正歯科	矯正歯科	
○	小児歯科	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	
○	歯科口腔外科	顎口腔外科 顔面口腔外科	

4

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要 該当なし		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	6	56	ペーチェット病	187
2	筋萎縮性側索硬化症	33	57	特発性拡張型心筋症	144
3	脊髄性筋萎縮症	5	58	肥大型心筋症	30
4	原発性側索硬化症	1	59	拘束型心筋症	2
5	進行性核上性麻痺	9	60	再生不良性貧血	40
6	パーキンソン病	120	61	自己免疫性溶血性貧血	5
7	大脳皮質基底核変性症	8	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	3
8	ハンテントン病	3	63	特発性血小板減少性紫斑病	52
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	51
11	重症筋無力症	141	66	IgA腎症	48
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	45
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	289	68	黄色靱帯骨化症	7
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	46	69	後縦靱帯骨化症	59
15	封入体筋炎	6	70	広範脊柱管狭窄症	7
16	クロー・深瀬症候群	2	71	特発性大腿骨頭壊死症	178
17	多系統萎縮症	44	72	下垂体性ADH分泌異常症	25
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	88	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	20	74	下垂体性PRL分泌亢進症	27
20	副腎白質ジストロフィー	2	75	クッシング病	18
21	ミトコンドリア病	17	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	11
22	もやもや病	79	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	59
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	131
24	亜急性硬化性全脳炎	1	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	7	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	9
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	49	83	アジソン病	3
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	99
30	遠位型ミオパチー	2	85	特発性間質性肺炎	48
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	66
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	1
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	91
34	神経線維腫症	38	89	リンパ管筋腫症	6
35	天疱瘡	23	90	網膜色素変性症	169
36	表皮水疱症	3	91	パッド・キアリ症候群	5
37	膿疱性乾癬(汎発型)	11	92	特発性門脈圧亢進症	3
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	3	93	原発性胆汁性肝硬変	122
39	中毒性表皮壊死症	4	94	原発性硬化性胆管炎	0
40	高安動脈炎	54	95	自己免疫性肝炎	12
41	巨細胞性動脈炎	4	96	クローン病	350
42	結節性多発動脈炎	11	97	潰瘍性大腸炎	400
43	顕微鏡的多発血管炎	19	98	好酸球性消化管疾患	5
44	多発血管炎性肉芽腫症	12	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	4
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	16	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	11	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	バージャー病	13	102	ルピンシュタイン・ティビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	555	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	141	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	174	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	51	107	若年性特発性関節炎	1
53	シェーグレン症候群	45	108	TNF受容体関連周期性症候群	1
54	成人スチル病	24	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	6	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	2	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	3
113	筋ジストロフィー	6	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	6
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	6
116	アトピー性脊髄炎	5	166	弾性線維性仮性黄色腫	3
117	脊髄空洞症	2	167	マルファン症候群	7
118	脊髄髄膜瘤	1	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	2	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウイルソン病	8
122	脳表ヘモジデリン沈着症	1	172	低ホスファターゼ症	1
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	5	177	ジュベール症候群関連疾患	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	1	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウリアムズ症候群	14
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メブス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	4	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	3	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	3
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	1
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	2
142	ミオクロニー欠伸てんかん	0	192	コケイン症候群	1
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	1
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	1	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	4
158	結節性硬化症	0	208	修正大血管転位症	7
159	色素性乾皮症	1	209	完全大血管転位症	9
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	15

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	2	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	1
212	三尖弁閉鎖症	9	260	システロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	9	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	5	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	31	263	脳髄黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	10	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	4	265	脂肪萎縮症	1
218	アルポート症候群	3	266	家族性地中海熱	8
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	1	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	26	270	慢性再発性多発性骨髄炎	2
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	25
224	紫斑病性腎炎	5	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	1
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	2
227	オスラー病	17	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	1
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	2
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペルト・レノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	3	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	3
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	4	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	5
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	1	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	4
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	1
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	8
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膝炎	0
251	尿素サイクル異常症	2	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	15
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	3
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	2
257	肝型糖原病	1	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	35

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	9	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	1
308	進行性白質脳症	1	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	2
309	進行性ミオクローヌステんかん	1	321	非ケトーシス型高グリシン血症	2
310	先天異常症候群	0	322	β-ケトチオラーゼ欠損症	2
311	先天性三尖弁狭窄症	1	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	1
312	先天性僧帽弁狭窄症	3	324	メチルグルタコン酸尿症	1
313	先天性肺静脈狭窄症	1	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	20	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	5	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	3	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	22	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	15	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	0
			331	特発性多中心性キャッスルマン病	0
			332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
			333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・抗菌薬適正使用支援加算
・歯科外来診療環境体制加算	・患者サポート体制充実加算
・歯科診療特別対応連携加算	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1)	・ハイリスク妊娠管理加算
・特定機能病院入院基本料(精神病棟13対1)	・ハイリスク分娩管理加算
・臨床研修病院入院診療加算(医科・歯科)	・後発医薬品使用体制加算 3
・救急医療管理加算 1・2	・病棟薬剤業務実施加算 1
・超急性期脳卒中加算	・データ提出加算 2
・妊産婦緊急搬送入院加算	・入退院支援加算 1
・診療録管理体制加算 1	・入退院支援加算 3
・医師事務作業補助体制加算(20対1)	・入院時支援加算
・急性期看護補助体制加算50対1	・地域連携診療計画加算(入退院支援加算の加算)
・看護職員夜間配置加算12対1 1	・総合機能評価加算
・看護補助加算 2(精神科病棟のみ)	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・療養環境加算	・精神科急性期医師配置加算
・重症者等療養環境特別加算	・精神疾患診療体制加算
・無菌治療室管理加算 2	・地域歯科診療支援病院入院加算
・緩和ケア診療加算	・救命救急入院料 1(CCU病棟)
・精神科身体合併症管理加算	・救命救急入院料 3(ハイケア病棟)
・精神科リエゾンチーム加算	・救命救急入院料 4(救命ICU)
・摂食障害入院医療管理加算	・特定集中治療室管理料 1
・がん診療連携拠点病院加算 1・2	・総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児集中治療室管理料)
・栄養サポートチーム加算	・総合周産期特定集中治療室管理料(新生児集中治療室管理料)
・歯科医師連携加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・医療安全対策加算 1	・小児入院医療管理料 1
・感染防止対策加算 1	
・感染防止対策地域連携加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	・ハイリスク妊産婦連携指導料 1
・遠隔モニタリング加算(ペースメーカー指導管理料)	・ハイリスク妊産婦連携指導料 2
・高度難聴指導管理料	・認知症専門診断管理料
・慢性維持透析患者外来医学管理料の腎代替療法実績加算	・肝炎インターフェロン治療計画料
・糖尿病合併症管理料	・薬剤管理指導料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・地域連携診療計画加算(診療情報提供料 I の加算)
・がん患者指導管理料 イ	・診療情報提供料(Ⅲ)
・がん患者指導管理料 ロ	・医療機器安全管理料 1
・がん患者指導管理料 ハ	・医療機器安全管理料 2
・がん患者指導管理料 ニ	・精神科退院時共同指導料 1・2
・外来緩和ケア管理料	・歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
・移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)	・歯科疾患在宅療養管理料の注4に規定する在宅総合医療管理加算及び在宅患者歯科治療時医療管理料
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・糖尿病透析予防指導管理料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・小児科運動器疾患指導管理料	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
・婦人科特定疾患治療管理料	・横隔神経電気刺激装置加算
・腎代替療法指導管理料	・造血器腫瘍遺伝子検査
・外来リハビリテーション診療料 1・2	・遺伝学的検査
・外来放射線照射診療料	・BRCA1/2遺伝子検査
・ニコチン依存症管理料	・がんゲノムプロファイリング検査
・療養・就労両立支援指導料	・角膜ジストロフィー遺伝子検査
・相談支援加算	・先天性代謝異常症検査
・がん治療連携計画策定料	・デングウイルス抗原定性及びデングウイルス抗原・抗体同時測定定性
・がん治療連携管理料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・外来がん患者在宅連携指導料	・HPV核酸同定検査及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・細菌核酸・薬剤耐性遺伝子同時検出	・画像診断管理加算 3
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	・歯科画像診断管理加算 1
・クロストリジオイデス・ディフィシルのトキシンB遺伝子検出	・歯科画像診断管理加算 2
・検体検査管理加算(IV)	・遠隔画像診断
・国際標準検査管理加算	・ポジトロン断層撮影
・遺伝カウンセリング加算	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・遺伝子腫瘍カウンセリング加算	・ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・CT撮影及びMRI撮影
・植込型心電図検査	・冠動脈CT撮影加算
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・血流予備量比コンピューター断層撮影
・胎児心エコー法	・外傷全身CT加算
・ヘッドアップティルト試験	・大腸CT撮影加算
・人工臓器検査、人工臓器療法	・心臓MRI撮影加算
・長期継続頭蓋内脳波検査	・乳房MRI撮影加算
・長期脳波ビデオ同時記録検査 1	・小児鎮静下MRI撮影加算
・中枢神経磁気刺激による誘発筋電図	・頭部MRI撮影加算
・脳磁図	・全身MRI撮影加算
・脳磁図(自発活動を測定するもの)	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・脳波検査診断料 1	・外来化学療法加算 1
・神経学的検査	・無菌製剤処理料
・補聴器適合検査	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)
・黄斑局所網膜電図及び全視野精密網膜電図	・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
・ロービジョン検査判断料	・運動器リハビリテーション料(I)
・内服・点滴誘発試験	・呼吸器リハビリテーション料(I)
・有床義歯咀嚼機能検査、咀嚼能力検査及び咬合圧検査	・がん患者リハビリテーション料
・精密触覚機能検査	・各リハビリテーション料の初期加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科口腔リハビリテーション料 2	・椎間板内酵素注入療法
・児童思春期精神科専門管理加算	・腫瘍脊椎骨全摘術
・療養生活環境整備指導加算	・頭蓋内腫瘍摘出術(脳腫瘍覚醒下マッピング加算)
・救急患者精神科継続支援料	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術
・認知療法・認知行動療法 1	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・認知療法・認知行動療法 2	・角膜移植(内皮移植加算)
・精神科作業療法	・羊膜移植術
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・精神科デイ・ケア「小規模なもの」	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・医療保護入院等診療料	・網膜再建術
・硬膜外自家血注入	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器植込及び植込型骨導補聴器交換術
・人工腎臓・慢性維持透析を行った場合 1	・人工中耳植込術
・導入期加算 2	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・透析液水質確保及び慢性維持透析濾過加算	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術)
・一酸化窒素吸入療法	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・手術用顕微鏡加算	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・口腔粘膜処置	
・う蝕歯無痛の窩洞形成加算及び手術時歯根面レーザー応用加算	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・CAD/CAM 冠	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・組織拡張器による再建術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術及び胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・処理骨再建加算	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・内視鏡下筋層切開術	・同種心移植術
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・経皮的動脈遮断術
	・経皮的下肢動脈形成術
	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)
・経皮的冠動脈形成術	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・骨格筋由来細胞シート心表面移植術
・経皮的冠動脈ステント留置術	・ダメージコントロール手術
・胸腔鏡下弁形成術及び胸腔鏡下弁置換術	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・胸腔鏡下弁形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経カテーテル大動脈弁置換術	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的僧帽弁クリップ術	・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・不整脈手術(左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)に限る)	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
・経皮的中隔心筋焼灼術	・バルーン閉塞下経静脈的塞栓術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカーの場合)	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術	・腹腔鏡下肝切除術
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・生体部分肝移植術
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)	・同種死体肝移植術
・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(経静脈リード又は皮下植込み型リードを用いる場合)	・腹腔鏡下脾腫瘍摘出術
・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(心筋リードを用いる場合)	・腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)	・腹腔鏡下脾頭部腫瘍切除術
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・腹腔鏡下脾頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・同種死体脾移植術、同種死体脾腎移植術
・補助人工心臓	・生体部分小腸移植術
・小児補助人工心臓	・同種死体小腸移植術
・植込型補助人工心臓(非拍動流型)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・歯根端切除手術の注3
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・レーザー機器加算
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・麻酔管理料(I)
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・麻酔管理料(II)
・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・歯科麻酔管理料
・同種死体腎移植術	・放射線治療専任加算
・生体腎移植術	・外来放射線治療加算
・膀胱水圧拡張術	・高エネルギー放射線治療
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・1回線量増加加算
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・1回線量増加加算(前立腺照射の場合)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・強度変調放射線治療(IMRT)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・定位放射線治療
・胎児輸血術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術	・画像誘導密封小線源治療加算
・胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	・病理診断管理加算2
・乳房切除術(遺伝子乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・子宮附属器腫瘍摘出術(遺伝子乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)	・口腔病理診断管理加算2
・輸血管理料 I	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・コーディネート体制充実加算	・歯科矯正診断料
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・入院時食事療養(I)
・歯周組織再生誘導手術	・人工中耳用材料
・手術時歯根面レーザー応用加算	
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
1	全てのヒト骨髄系腫瘍に共通するがん幹細胞の不均一性獲得・維持メカニズム解明と治療標的分子探索	赤司 浩一	第一内科	2,000 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
2	全てのヒト骨髄性腫瘍が依存する、新規がん幹細胞維持機構の解明	赤司 浩一	第一内科	3,016 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究S)
3	骨髄性およびリンパ性白血病幹細胞に共有されるTIM-3増殖シグナル機構の解析	宮本 敏浩	第一内科	403 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
4	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫のゲノム変異が微小環境に及ぼす影響と新規治療開発	加藤 光次	第一内科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
5	概日リズム因子を標的とした難治性急性骨髄性白血病の治療開発	沼田 晃彦	第一内科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
6	高感度シングルセル解析を用いたヒト造血幹細胞分画の層別化	森 康雄	第一内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
7	骨髄増殖性疾患における、CALR遺伝子変異によるJAK2活性化メカニズムの解明	野波 篤	第一内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
8	胃印環細胞癌発癌モデルの構築及び新規治療ターゲットの同定	有山 寛	第一内科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
9	xCT発現がん幹細胞におけるグルタミン酸関連特性の包括的解明	土橋 賢司	第一内科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
10	染色体異常を起因としたヒト大腸がんの新規疾患モデルの確立	磯部 大地	第一内科	234 万円	補 科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
11	突発性心停止におけるサルコペニアの関与および作用点の解明	深田 光敏	第一内科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
12	IL-33受容体発現好塩基球の関節リウマチ病態形成における役割の解明	有信 洋二郎	第一内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
13	ベーチェット病におけるインフラマソーム活性化機構の解析	三苫 弘喜	第一内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
14	重症全身性硬化症に対する骨髄破壊的大量シクロホスファミド療法	三苫 弘喜	第一内科	3,900 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
15	CD226を標的とした全身性エリテマトーデスに対する新規治療法の開発	綾野 雅宏	第一内科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
16	原発性胆汁性胆管炎模倣培養系からのゲノム・脂質情報を利用した新規治療法の開発	下田 慎治	第一内科	429 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
17	真菌感染症におけるヒトC型レクチン受容体の役割の解明	米川 晶子	第一内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
18	全ゲノム機能的CRISPRスクリーニングによる新規白血病治療標的分子の探索	前田 高宏	遺伝子・細胞療法部	1,417 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
19	急性骨髄性白血病に対する新規分化誘導療法の開発	前田 高宏	遺伝子・細胞療法部	1,560 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
20	間葉系ニッチのシングルセルプロファイリングによる造血器腫瘍発症及び進展機構の解明	國崎 祐哉	遺伝子・細胞療法部	572 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
21	急性骨髄性白血病に対するCRISPR全ゲノム機能的スクリーニング・新規治療法開発	山内 拓司	遺伝子・細胞療法部	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
22	ヒト急性白血病に共通する悪性幹細胞特異的な代謝経路の同定	菊繁 吉謙	遺伝子・細胞療法部	650 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
23	ペリサイト機能に基づく脳梗塞後組織修復と神経機能回復誘導メカニズムの解明	北園 孝成	第二内科	377 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
24	細胞外マトリックスperlecanによる脳血管障害の新規修復治療法の開発	中村 晋之	第二内科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
25	慢性脳低灌流による脳白質障害・認知障害への活性酸素種産生酵素Nox4の役割の解明	脇坂 義信	第二内科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
26	精緻な疾患レジストリーと遺伝・環境要因の包括的解析による糖尿病性腎臓病、慢性腎臓病の予後層別化と最適化医療の確立	中野 敏昭 (分担者)	第二内科	230 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
27	要介護高齢者の腸内細菌叢とフレイル進展の関連を解明する前向きコホート研究	田中 茂	第二内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
28	骨格筋・血管関連の概念の応用による血管石灰化治療とその分子機構の究明	山田 俊輔	第二内科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
29	大規模ゲノムコホートによる糖尿病合併症の性特異的遺伝・環境要因の同定	大隈 俊明	第二内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(研究活動スタート支援)
30	健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究	二宮 利治	第二内科	15,000 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
31	心房細動の発症予測・予後予測とそれに基づく最適な治療戦略の開発を目的とした大規模コホート・レジストリー共同研究	二宮 利治	第二内科	65 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
32	住民健診・職域健診で使用可能な心房細動発症リスクスコアの開発と心房細動の再発・重症化予防戦略の確立	二宮 利治	第二内科	100 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
33	糖尿病の遺伝・環境因子の包括的解析から日本発次世代型精密医療を実現するプロジェクト	二宮 利治	第二内科	740 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
34	活性型・抑制型自然免疫受容体解析による抗酸菌潜伏および持続感染の成立・維持と再活性化機序解明に基づく新規治療法開発	二宮 利治	第二内科	250 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
35	生涯にわたる循環器疾患の個人リスクおよび集団のリスク評価ツールの開発を目的とした大規模コホート統合研究	二宮 利治	第二内科	162 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
36	食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	二宮 利治	第二内科	150 万円	補 厚生労働行政推進調査事業費補助金

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
37	宿主応答を累加した分子疫学的アプローチによる口腔マイクロバイオームの病原性解明	二宮 利治 (分担)	第二内科	40 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
38	8020から8028へのパラダイムシフトを目指す日韓国際比較研究	二宮 利治 (分担)	第二内科	24 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
39	舌苔マイクロバイオームの管理に基づく新たな慢性呼吸器疾患予防アプローチの構築	二宮 利治 (分担)	第二内科	30 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
40	診察室外血圧の統合データベース構築と循環器リスクの比較評価	二宮 利治 (分担)	第二内科	39 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
41	TREM2・単球機能を標的とした糖尿病・肥満に伴う認知症予知指標・治療戦略の開発	二宮 利治 (分担)	第二内科	26 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
42	真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点	二宮 利治	第二内科	2,000 万円	補 科学技術振興機構研究成果展開事業センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム
43	革新的機能性食品開発を目指した久山町研究基盤の構築	二宮 利治	第二内科	3,221 万円	委 福岡県バイオ製品開発研究事業
44	地域一般住民における心理社会的要因と生活習慣病の関連:久山町研究	柴田 舞欧	第二内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
45	地域一般住民における健康寿命の実態とその達成要因の解明を目指したコホート研究	吉田 大悟	第二内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
46	脂肪酸、ゲノム情報を考慮に入れた糖尿病発症のリスクスコア作成:久山町研究	平川 洋一郎	第二内科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
47	久山町高齢住民における認知症の実態解明に関する横断・縦断研究	小原 知之	第二内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
48	活動的な通勤による糖尿病発症予防の効果推計に関する前向きコホート研究	本田 貴紀	第二内科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
49	日本人地域住民における血圧変動と心血管病・認知症に関する研究:久山町研究	坂田 智子	第二内科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
50	地域高齢者におけるMRIを基盤とした脳動脈瘤の前向きコホート研究:久山町研究	古田 芳彦	第二内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
51	血中アミノ酸組成及びアミノ酸摂取量が糖代謝障害の進展に及ぼす影響に関する疫学研究	陳 三妹	第二内科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
52	地域高齢住民におけるサルコペニアと認知症発症との関連:久山町研究	岸本 裕歩	第二内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
53	長期追跡研究における糖尿病網膜症の時代的変化と新たな危険因子の検討:久山町研究	安田 美穂	第二内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
54	細胞間相互作用に着目したNASHの発症・進展機構の解明と医学応用	小川 佳宏	第三内科	1,937 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
55	炎症細胞社会に焦点を当てた閉経後NASH肝癌の発症機構の解明と予防戦略の開発	小川 佳宏	第三内科	403 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
56	細胞間相互作用と臓器代謝ネットワークの破綻による組織線維化の制御機構の解明と医学応用	小川 佳宏	第三内科	2,600 万円	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED-CREST)
57	難治性副腎疾患の診療に直結するエビデンス創出	小川 佳宏	第三内科	52 万円	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)
58	肝細胞癌における糖・脂質代謝の変化とその発癌・悪性化への関与に関する検討	国府島 庸之	第三内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
59	成人T細胞白血病/リンパ腫の治療を目指したHTLV-1ウイルス標的樹状細胞ワクチン療法の確立	白土 基明	第三内科	213 万円	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)
60	マクロファージのPerforin-2による殺菌機構の解明	白土 基明	第三内科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
61	膵癌診療におけるliquid biopsyの確立と超早期診断への応用	藤森 尚	第三内科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
62	原発巣と血中遊離DNAの遺伝学的情報を応用した膵癌予後改善への挑戦	藤森 尚	第三内科	75 万円	補 公益財団法人日本膵臓病研究財団
63	プリン作動性化学伝達による非アルコール性脂肪肝炎(NASH)発症制御機構の解明	坂本 昌平	第三内科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
64	希少内分泌疾患から生活習慣病へのトランスレーショナルサイエンス	宮澤 崇 (分担)	第三内科	85 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
65	非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)の病態進展におけるGPR84の意義の検討	宮澤 崇	第三内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
66	神経および単球特異的GLP-1受容体欠損マウスを用いた臓器保護効果機序の検討	園田 紀之	第三内科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
67	DNAメチル化に着眼した母体高血糖によるエピゲノム記憶の解析と先制医療への応用	佐藤 直市	第三内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
68	GLP-1の臓器保護効果の機序及び隣受容体の生理学的役割の解明	井上 智彰	第三内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
69	サイトカインプロファイル解析による食道アカシアの病態解明	伊原 栄吉	第三内科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
70	食道アカシアの発症予防としての食道胃接合部通過障害に対する治療法の開発	伊原 栄吉	第三内科	390 万円	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)
71	遺伝子改変制御性T細胞を用いた炎症性疾患治療の実現を目指した基礎的検討	知念 孝敏	第三内科	1,872 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(国際共同研究加速基金 帰国発展研究)
72	神経性やせ症の病態解明と新パラダイムの創出:腸内細菌による体重・行動特性の制御	須藤 信行	心療内科	151 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
73	消化管ペプチドから見た情動・社会行動の発露、こころのゆらぎと変容の神経内分泌機構	須藤 信行 (分担)	心療内科	779 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
74	腸内細菌叢による発達障害(神経発達症)の行動特性への影響の解明	須藤 信行 (分担)	心療内科	5 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
75	中枢性摂食異常症および中枢神経感作病態を呈する疾患群の脳科学的な病態解明と、エビデンスに基づく患者ケア法の開発	須藤 信行 (分担)	心療内科	60 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
76	心身症・摂食障害の治療プログラムと臨床マーカーの検証	須藤 信行 (分担)	心療内科	60 万円	委 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
77	摂食障害の治療支援ネットワークの指針と簡易治療プログラムの開発	須藤 信行 (分担)	心療内科	85 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
78	慢性疼痛難治例の症例対照研究:中枢性感作に関する愛着・認知・情動とバイオマーカー	細井 昌子	心療内科	988 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
79	慢性疼痛診療体制構築モデル事業	細井 昌子	心療内科	930 万円	補 厚生労働省関連補助金
80	線維筋痛症と中枢性感作に関するトランスレーショナルリサーチ:精神神経免疫学的側面からの病態解明と評価法開発	細井 昌子	心療内科	242 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
81	幼少期の体験に注目したより有効な慢性疼痛に対する認知行動療法の開発	安野 広三	心療内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
82	不信の4層モデルにもとづく難治性疼痛の医療者不信の把握と改善に向けた短期縦断研究	細井 昌子 (分担)	心療内科	72 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
83	慢性痛の脳画像によるクラスタリングの開発: Alexithymia vs神経症	細井 昌子 (分担)	心療内科	49 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
84	種々の症状を呈する難治性疾患における中枢神経感作の役割の解明とそれによる患者ケアの向上	細井 昌子 (分担)	心療内科	35 万円	補 厚生労働省科学研究費補助金
85	慢性疼痛診療システムの均てん化と痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究	細井 昌子 (分担)	心療内科	20 万円	補 厚生労働業績推進調査事業費補助金
86	慢性疼痛難治例の症例対照研究:中枢性感作に関する愛着・認知・情動とバイオマーカー	安野 広三 (分担)	心療内科	30 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
87	ME/CFS 患者の心身医学的分析	吉原 一文	心療内科	325 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
88	摂食障害に対する認知行動療法の有効性の神経科学的エビデンスの創出	吉原 一文	心療内科	260 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
89	身体症状症における自律神経機能、及びその関係に介在する交絡因子の検討	乙成 淳	心療内科	299 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
90	肥満治療におけるリバウンド防止効果の検証—認知行動療法とマインドフルネスのRCT	野崎 剛弘	心療内科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
91	神経性やせ症の病態形成に尿毒症患者が及ぼす影響	波多 伴和	心療内科	300 万円	補 公益財団法人 木下記念業団 木下基礎科学研究基金助成金
92	神経免疫疾患のエビデンスによる診断基準・重症度分類・ガイドラインの妥当性と患者QOLの検証	吉良 潤一	脳神経内科	45 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
93	神経変性疾患領域における基盤的調査研究	吉良 潤一	脳神経内科	65 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
94	運動失調症の医療基盤に関する調査研究	吉良 潤一	脳神経内科	70 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
95	スモンに関する調査研究	吉良 潤一	脳神経内科	70 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
96	HAMならびに類縁疾患の患者レジストリを介した診療連携モデルの構築によるガイドラインの活用促進と医療水準の均てん化に関する研究	吉良 潤一	脳神経内科	35 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
97	二次進行型多発性硬化症新規動物モデルの樹立と炎症性グリアを標的とした進行型多発性硬化症治療薬開発	吉良 潤一	脳神経内科	2,763 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
98	抗Neurofascin155抗体陽性慢性炎症性脱髄性多発神経炎の診断基準・治療ガイドライン作成のためのエビデンスの創出	吉良 潤一	脳神経内科	1,202 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
99	gG4自己抗体陽性の慢性炎症性脱髄性多発神経炎(CIDP)患者を対象としたリツキシマブの有効性と安全性評価に関する多施設共同臨床試験	吉良 潤一	脳神経内科	276 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
100	多系統萎縮症の革新的治療法の創出を目指した研究	吉良 潤一	脳神経内科	52 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
101	遺伝環境リスクと病態特異的抗神経分子抗体に基づく脱髄疾患の自己免疫機構解明と治療	吉良 潤一	脳神経内科	1,937 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
102	異常蛋白発現時期により多発性硬化症から多系統萎縮症へ移行する新モデルとグリア治療	吉良 潤一	脳神経内科	910 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的研究開拓)
103	Facial onset sensory and motor neuropathy (FOSMN) に関する全国臨床疫学調査とそれに基づいた診断診療指針の策定と患者レジストリの構築	山崎 亮	脳神経内科	139 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
104	運動ニューロン病の末梢神経からのCCR2陽性細胞によるミスフォールド蛋白除去療法	山崎 亮	脳神経内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
105	髄鞘形成期の変異αシヌクレイン発現による世界初の一次進行型多発性硬化症モデル開発	山口 浩雄	脳神経内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
106	アリの片親起源効果を考慮した多発性硬化症リスク遺伝子の新規同定と寄与機構の解明	磯部 紀子	脳神経内科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
107	異常蛋白の発現調整が可能な多系統萎縮症動物モデルの開発と抗ミクログリア点鼻薬治療	松瀬 大	脳神経内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
108	側頭葉てんかんの外科手術例とモデル動物を用いた記憶固定化障害の病態解明と治療開発	高瀬 敬一郎	脳神経内科	39 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
109	筋萎縮性側索硬化症の脊髄に存在するグリア炎症とガレクチン3、p22の意義と治療	林 信太郎	脳神経内科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
110	新規同定環境リスク因子に基づいたウルチ米アミロースによる多発性硬化症の画期的治療	渡邊 充	脳神経内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
111	アルツハイマー病のタウ伝播と軸索変性でのグリアの役割解明とグリアを標的とした治療	浅井 宏英	脳神経内科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
112	日本人多発性硬化症での疾患修飾薬による進行性多巣性白質脳症多発機序の解明と防止	河野 祐治	脳神経内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
113	抗NF155抗体の糖鎖エピトープの同定と蛋白間相互作用阻害によるCIDP発症機序	緒方 英紀	脳神経内科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究B)
114	電気シナプスを介する運動神経興奮性制御機構の解明と同シナプス回復によるALS治療	小早川 優子	脳神経内科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究B)
115	抗NF155抗体陽性CIDPの免疫療法抵抗性振戦の責任病巣のモデルでの再現と治療	稲水 佐江子	脳神経内科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究B)
116	抗plexinD1抗体の免疫性神経障害性疼痛マーカー確立とモデルによる病態解明	藤井 敬之	脳神経内科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究B)
117	アストロサイトのTRPV4チャネルを標的とした急性期脳梗塞の画期的治療法の開発	田中 弘二	脳神経内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(研究活動スタート支援)
118	全ゲノム関連解析による日本人多発性硬化症の脳灰白質萎縮を規定する遺伝子の同定	中村 優理	脳神経内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(研究活動スタート支援)
119	プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	松下 拓也	脳神経内科	130 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
120	心筋リモデリングにおけるスルフィドキシニンによるミトコンドリアレドックス制御機構	筒井 裕之	循環器科	676 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
121	心筋障害における細胞質ミトコンドリアDNAの制御機構の解明と治療応用	筒井 裕之	循環器科	338 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
122	特発性心筋症に関する調査研究	筒井 裕之	循環器科	1,027 万円	委 厚生労働科学研究費補助金
123	食と健康の達人	筒井 裕之	循環器科	195 万円	委 科学技術振興機構・COIプログラム・JST
124	ナチュラルキラーT細胞活性化による慢性炎症制御に基づく新たな心筋症治療の実用化	筒井 裕之	循環器科	14,755 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
125	拡張相肥大型心筋症を対象とした多施設登録研究	筒井 裕之	循環器科	1,170 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
126	心不全の発症・重症化の高精度予測とそれに基づく最適な治療戦略の開発	筒井 裕之	循環器科	1,356 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
127	脂質ラジカル可視化技術によるミトコンドリアー核連関の解明と心不全治療への応用	井手 友美	循環器科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
128	急性心筋梗塞後の心臓修復を促進する革新的PPAR γ ナノ医薬の研究開発	的場 哲哉	循環器科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
129	生体内で細胞同調機能を再現しうるナノ粒子システムの開発	的場 哲哉	循環器科	1,040 万円	委 科学技術振興機構・戦略的創造研究推進事業・CREST JST
130	肺高血圧症の閉塞性病変進展における炎症誘導機構の解明および新規治療法の開発	阿部 弘太郎	循環器科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
131	慢性血栓性肺高血圧症の抗凝固療法に関するレジストリ構築	阿部 弘太郎	循環器科	1,068 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
132	多施設レジストリを活用し慢性血栓性肺高血圧症に対するレジストリ	阿部 弘太郎	循環器科	1,769 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
133	ミトコンドリア蛋白輸送機構の心筋リモデリングにおける意義の解明と治療への応用	松島 将士	循環器科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
134	Fontan術後の突然死高リスク患者における電気生理学的特性の解明	坂本 和生	循環器科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
135	癌に伴う心機能および摂食代謝障害におけるミトコンドリアを介した脳内炎症の役割の解明	篠原 啓介	循環器科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
136	徐拍化を介して心臓を保護する経静脈的迷走神経刺激カテーテルの開発・事業化	朔 啓太	循環器科	260 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
137	心筋梗塞時の心筋壊死を極小化し遠隔期心不全を予防する機械-神経最適減負荷治療開発	朔 啓太	循環器科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
138	心不全発症機転としての低酸素応答を介したミトコンドリア機能不全の分子機序解明	池田 昌隆	循環器科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
139	コピー数多型解析によるトラスツマブ誘発心毒性の発症予測	大谷 規彰	循環器科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
140	Fontan手術後患者における肺血管拡張薬有用性の機序解明	坂本 一郎	循環器科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
141	心筋虚血再灌流傷害・梗塞後リモデリングにおけるミトコンドリア制御分子の役割解明	古賀 純一郎	循環器科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
142	交感神経過緊張による急性心不全増悪機序の解明と交感神経減負荷を介した治療への応用	坂本 隆史	循環器科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
143	PDE1を標的とした右心不全の新規治療開発	橋本 亨	循環器科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
144	患者由来気道上皮細胞を用いた閉塞性肺疾患におけるウイルス感染遷延化機序の解明	神尾敬子	呼吸器科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
145	PD-1阻害抗体の抗腫瘍効果を増強するミトコンドリア活性化剤を用いた新規併用治療法の開発	岡本 勇	呼吸器科	5,330 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
146	PD-1阻害抗体の抗腫瘍効果を増強するミトコンドリア活性化剤を用いた新規併用治療法の開発	岡本 勇	呼吸器科	2,750 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
147	次世代シーケンサーによる網羅的がん関連遺伝子パネル解析を用いたHER1遺伝子変異陽性の進行非小細胞肺癌に対する治療開発を目指した研究	岡本 勇	呼吸器科	7,800 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
148	特発性肺線維症合併進行非小細胞肺癌に対する標準治療開発に関する研究	岡本 勇	呼吸器科	1,950 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
149	EGFR遺伝子変異陽性進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するゲフィチニブ単剤治療とゲフィチニブにシスプラチン+ペメトレキセドを途中挿入する治療とのランダム化比較試験	岡本 勇(分担)	呼吸器科	3,250 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
150	HER2遺伝子変異陽性肺癌の分子生物学的特性とリキッドバイオプシーに関する研究	岩間 映二	呼吸器科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
151	非小細胞肺癌におけるHippo経路分子MOB1の機能解析	大坪 孝平	呼吸器科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
152	呼吸器腫瘍における薬物療法による免疫原性細胞死誘導能の探索研究	井上 博之	呼吸器科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
153	非小細胞肺癌におけるdriveroncogeneによるPD-L2制御機構の解明	大田 恵一	呼吸器科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
154	子宮体癌がん幹細胞関連蛋白SPARCの機能解析とそれを標的とした新規薬剤の開発	加藤 聖子	産科婦人科	845 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
155	子宮内膜における幹細胞劣化による生物学的・機能的細胞老化誘導メカニズムの解明	加藤 聖子	産科婦人科	338 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
156	子宮がんでのセンチネルリンパ節同定における新規トレーサーの開発	矢幡 秀昭	産科婦人科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
157	マイクロRNAを介した子宮体癌の進展制御を司る新たな分子機構の解明	浅野間 和夫	産科婦人科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
158	婦人科悪性腫瘍の進展におけるGα13の役割	八木 裕史	産科婦人科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
159	癌転移形質に寄与する核内非翻訳RNAの探索と抗体分子架橋による次世代核酸薬の創出	崔 林	産科婦人科	468 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
160	臍帯血を用いた新生児・小児の肝再生細胞療法の研究	大賀 正一	小児科	416 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
161	皮質オルガノイドを用いたてんかん性脳症の収束的メカニズムおよび治療研究	酒井 康成	小児科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
162	小児ホジキンリンパ腫の病態解明による治癒率のさらなる向上への試み	古賀 友紀	小児科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

I 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
163	早産児の低酸素性脳傷害とてんかん発症を防御する遺伝子群の解明	鳥尾 倫子	小児科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
164	妊娠によるFontan循環と胎児循環の変化メカニズムの解明	永田 弾	小児科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
165	先天性門脈体循環シャント症候群を引き起こす遺伝的要因の解明	石井 加奈子	小児科	52 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
166	胎児子宮内発育遅延の病因病態に関する研究ー血管炎との関連についてー	井上 普介	小児科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
167	極低出生体重児における高フェリチン血症の病態解析	藤吉 順子	小児科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
168	肺静脈狭窄症の成因・病態の解明、および有効治療の確立	平田 悠一郎	小児科	157 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
169	統合的脳機能解析を用いたけいれん重積型脳症の早期診断バイオマーカーの開発	一宮 優子	小児科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
170	難治疾患である特発性肺へモジデロシスの病態解明と治療への発展	白石 暁	小児科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
171	定量的評価を用いた、早産児の縦断的な脳成熟パターンの同定	園田 有里	小児科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
172	新生児・乳児に発症する特発性血栓症の病態	大賀 正一	小児科	687 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
173	高ずり応力を伴う循環器難病に随伴する出血性合併症予知法の開発	大賀 正一	小児科	10 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
174	川崎病特異物質(PAMPs)に焦点を当てた川崎病の新規診断法の確立	酒井 康成	小児科	150 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
175	MECP2遺伝子変異に起因する脳発達障害における分子シグナル病態の解明と新規診断・治療法の基盤開発	酒井 康成	小児科	100 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
176	ホジキンリンパ腫における標準的治療の確立、国際試験に向けての準備	古賀 友紀	小児科	30 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
177	治験責任医師として医師主導治験の準備と実施	古賀 友紀	小児科	90 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
178	(AMED分担・勝部班)バイオマーカーを用いた川崎病急性期治療法選択に関する研究	永田 弾	小児科	20 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
179	(AMED分担・川上班)医師主導治験実施体制の確立・実施	石村 匡崇	小児科	100 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
180	(AMED分担・河合班)慢性肉芽腫症腸炎に対する小児用サリドマイド製剤の実用化に関する研究	石村 匡崇	小児科	70 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
181	(厚生/分担)小児期から移行期・成人期を包括する希少難治性慢性消化器疾患の医療政策に関する研究	大賀 正一 (分担)	小児科	20 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
182	(厚生/分担)血液凝固異常症等に関する研究	大賀 正一 (分担)	小児科	80 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
183	(厚生/分担)慢性活動性EBウイルス感染症と類縁疾患の疾患レジストリとバイオバンクの構築	大賀 正一 (分担)	小児科	75 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
184	(厚生/分担)原発性免疫不全症候群の診断基準・重症度分類および診療ガイドラインの確立に関する研究	大賀 正一 (分担)	小児科	110 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
185	(厚生/分担)先天性骨髄不全症の登録システムの構築と診断基準・重症度分類・診断ガイドラインの確立に関する研究	大賀 正一 (分担)	小児科	40 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
186	(厚生/分担)神経免疫疾患のエビデンスによる診断基準・重症度分類・ガイドラインの妥当性と患者QOLの検証	酒井 康成 (分担)	小児科	20 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
187	(厚生/分担)小児がん患者に対する在宅医療の実施とあり方に関する研究	古賀 友紀 (分担)	小児科	30 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
188	(厚生/分担)自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、以降医療体制の構築、診療ガイドライン確立に関する研究	石村 匡崇 (分担)	小児科	50 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
189	日本人胎児の心室壁厚のノモグラム作成および耐糖能異常母体における逸脱の観察	城戸 咲	総合周産期母子医療センター	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
190	妊娠高血圧症候群における絨毛細胞の機能とNotchシグナルの関連性	蜂須賀 正統	総合周産期母子医療センター	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
191	新生児・乳児に発症する特発性血栓症の病態解明および治療管理法と根治法の確立に関する研究	大賀 正一	総合周産期母子医療センター	793 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
192	新生児・小児期における遺伝性血栓症の診断と治療法の確立に向けた研究	大賀 正一	総合周産期母子医療センター	230 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
193	新生児遺伝性プロテインC欠乏症のスクリーニング法の開発と血栓性疾患への応用	市山 正子	総合周産期母子医療センター	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
194	Fontan術後患者における下垂体研究	長友 雄作	総合周産期母子医療センター	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
195	オートファジーからみた腸管不全関連肝障害(IFALD)の病態解明とその制御	松浦 俊治	総合周産期母子医療センター	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
196	ヒト多能性幹細胞由来交感神経細胞を用いた神経芽腫発生モデルの作成	桐野 浩輔	総合周産期母子医療センター	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
197	膵癌PDXライブラリーを用いたシングルセル解析による腫瘍内治療抵抗不均一性の解明	中村 雅史	第一外科	611 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
198	膵癌オルガノイドを用いたpartialEMTによるクラスター浸潤機序の解明と制御	中村 雅史	第一外科	325 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
199	個別化精密がん免疫療法開発を目的とした腫瘍組織からのネオアンチゲン解析	久保 真	第一外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
200	膵オルガノイドを用いたリーディングPSC誘導基底膜破壊機序解明と基底膜制御法開発	大内田 研宙	第一外科	559 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
201	Drop-seqによる不均一性を伴う患者由来消化器癌微小環境の単一細胞解析	大内田 研宙	第一外科	325 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
202	膵癌転移微小環境におけるexosome誘導性pre-niche形成機序解明と改変	三好 圭	第一外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
203	大腸癌肝転移・腹膜播種におけるexosomeによる微小環境誘導メカニズムの解明	藤田 逸人	第一外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
204	膵星細胞活性化におけるオートファジーを標的としたHIT化合物の同定とその評価	仲田 興平	第一外科	546 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
205	オルガノイドを用いた膵癌phenotypeによる膵星細胞の基質リモデリング解析	池永 直樹	第一外科	546 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究A)
206	NGS解析による膵癌微小環境とゲノム不均一性の解明とその治療への応用	進藤 幸治	第一外科	546 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
207	包括的統合的アプローチによる日本人早期膵癌の高精度診断の具現化	森 正樹	第二外科	3,861 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金(基盤研究S)
208	ゲノム情報に基づく肝移植後B型肝炎再発制御を目指した革新的治療戦略の構築	吉住 朋晴	第二外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金(基盤研究C)
209	肝細胞癌の発育進展に於けるオートファジー・マイトファジーの役割と分子機序の解明	池上 徹	第二外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金(基盤研究C)
210	腹部大動脈瘤の成因究明—動脈瘤壁の瘤化と老化制御遺伝子BubR1の発現との関連—	古山 正	第二外科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金(基盤研究C)
211	免疫抑制性酵素IDOに着目した悪性胸膜中皮腫に対する新規免疫療法の開発	田川 哲三	第二外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金(基盤研究C)
212	癌関連線維芽細胞分泌エクソソームを用いた肝癌の革新的治療法の確立	原田 昇	第二外科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金(基盤研究C)
213	胸部悪性腫瘍に対するmTORを標的とした治療開発	小副川 敦	第二外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金(基盤研究C)
214	消化器癌における効果的なリノレン酸療法を目指したバイオマーカーおよび新薬の開発	安藤 幸滋	第二外科	39 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金(基盤研究C)
215	食道癌における新規薬物治療のターゲットとしての酸化的DNA損傷修復因子の意義	久保 信英	第二外科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金(若手研究)
216	トリプルネガティブ乳癌における多様性の分子機序解明と新規治療への展開	山下 奈真	第二外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金(基盤研究C)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
217	肝移植後肝細胞癌再発に対する機序解明と革新的治療戦略の構築	吉屋 匠平	第二外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金(基盤研究C)
218	世界初抗癌剤のDNA取り込み量高感度測定法を利用したTFTD感受性機序の評価	中西 良太	第二外科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金(若手研究)
219	糖尿病に着目した腹部大動脈瘤の病態解析～DPP-4阻害薬の瘤形成抑制効果の検討～	森崎 浩一	第二外科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金(若手研究)
220	細胞間情報伝達を司るエクソソームの動脈硬化に与える影響と治療への応用	松田 大介	第二外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金(若手研究)
221	肝癌における新規細胞死フェロトーシス機序解明と革新的治療法への開発	伊藤 心二	第二外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金(基盤研究C)
222	革新的なiPS由来人工肝臓の作成による肝不全に対する新たな治療法の開発	武石 一樹	第二外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
223	乳癌におけるDNA損傷応答機構を標的とした新規治療法の開発	茂地 智子	第二外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
224	サルコペニアとApelin-APJ系の関係に注目した新規肝臓がん治療戦略の確立	本村 貴志	第二外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
225	オルガノイド培養システムを用いた癌幹細胞の特性とオートファジー活性との関係性	笠木 勇太	第二外科	286 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
226	ポリオウイルスレセプターを標的とした非小細胞肺癌に対する新規複合免疫療法の開発	高田 和樹	第二外科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
227	in silico解析で同定した胃癌新規癌遺伝子の生物学的意義と臨床的意義	胡 慶江	第二外科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
228	nickase-Cas9を用いた新たなB型肝炎ウイルスDNA排除戦略	栗原 健	第二外科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
229	筋肉内脂肪率に着目した骨格筋減少症の予防・治療法の確立	吉屋 圭史	第二外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
230	老化マウスモデルを用いた下肢虚血状態における血管内皮機能の働きの検討	川久保 英介	第二外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
231	大腸癌におけるPTENの発現とtopoII阻害剤耐性機序の解明	財津 瑛子	第二外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
232	食道扁平上皮癌における慢性炎症シグナルを標的とした新規治療法の開発	川副 徹郎	第二外科	110 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(特別研究員奨励費)
233	高密度スキャフォールドフリー脂肪由来幹細胞構造体を用いた骨軟骨組織再生の実用化推進臨床研究	中島 康晴	整形外科	299 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
234	局所の循環障害に着目した特発性大腿骨頭壊死症の病態解析	池村 聡	整形外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
235	肉腫における新規薬剤の耐性獲得機序の解明とその予防法の探索	遠藤 誠	整形外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
236	進行軟部肉腫に対する二次治療における標準治療の開発のための研究	遠藤 誠	整形外科	195 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
237	希少がんの治療成績向上のための診療実態の把握と基盤整備に関する研究	遠藤 誠	整形外科	140 万円	補 国立がん研究センター研究開発費
238	グリア瘢痕制御による新規中枢神経再生技術に関する研究開発	岡田 誠司	整形外科	1,000 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
239	脊髄損傷後の亜鉛シグナルの役割解明と治療応用	岡田 誠司	整形外科	533 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
240	思春期特発性側弯症に伴う腰痛の特異的な発症メカニズムの解明	幸 博和	整形外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
241	ペルテス病の関節予後に発症時年齢が強く関与する機序の検討	山口 亮介	整形外科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
242	3D-MRIによる发育性股関節形成不全乳幼児の股関節形態解析	山口 亮介	整形外科	50 万円	補 公益財団法人 整形災害外科学研究助成財団
243	Precision medicineによる、軟部肉腫の薬剤耐性克服法の開発	松本 嘉寛	整形外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
244	変形性関節症の早期病態に即した治療標的分子の探索	赤崎 幸穂	整形外科	481 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究A)
245	骨盤の形態異常に注目した股関節形成不全の病態解明	藤井 政徳	整形外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
246	破骨細胞のRNA結合タンパクMusashi2を標的とする骨粗鬆症治療の解明	藤原 稔史	整形外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
247	肉腫における炎症性サイトカインのマクロファージを介した役割の解明	飯田 圭一郎	整形外科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
248	骨頭圧潰の予防法開発を念頭にいた骨壊死修復過程の病態解析	本村 悟朗	整形外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
249	悪性骨軟部腫瘍における自然免疫賦活化による抗腫瘍効果の検討	薛 宇孝	整形外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
250	Precision medicineの確立に資する統合医療データベースの利活用に関する研究	飯原 弘二	脳神経外科	1,000 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
251	脳卒中を含む循環器病対策の評価指標に基づく急性期医療体制の構築に関する研究	飯原 弘二	脳神経外科	5,020 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
252	脳卒中のQOLと医療経済評価法の開発に関する研究	飯原 弘二	脳神経外科	15,000 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
253	脳卒中のLearning Healthcare Systemに関する研究	飯原 弘二	脳神経外科	416 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
254	新規バイオマーカーに基づく頭蓋内胚細胞腫瘍の革新的診断/治療システムの開発	空閑 太亮	脳神経外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
255	ペリサイトを標的としたナノカプセルによる脳梗塞新規治療の開発	有村 公一	脳神経外科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究B)
256	脳動脈瘤に対するNADPH oxidaseをターゲットとしたナノ粒子治療の開発	西村 中	脳神経外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究B)
257	脳梗塞に対するiPS細胞を用いた再生医療とリハビリテーション介入効果	下川 能史	脳神経外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(研究活動スタート支援)
258	免疫代謝と腸内細菌のクロストークに関連するPD-1抗体がん免疫治療制御因子の解析	波多江 龍亮	脳神経外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(研究活動スタート支援)
259	特発性心筋症に関する調査研究	塩瀬 明 (分担)	心臓血管外科	35 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
260	植込型補助人工心臓装着後の出血性合併症予知法および予防法の確立に関する研究	塩瀬 明 (分担)	心臓血管外科	21 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
261	大動脈手術における脊髄保護戦略:遅発性対麻痺に対するネクロプトーシスの検討	元松 祐馬	心臓血管外科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究B)
262	大動脈弁ダイナミクスに着眼した僧帽弁輪縮小用リングが組織可動性に与える影響の解析	塩瀬 明	心臓血管外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
263	GSK-3およびオートファジー活性に着眼した新規心臓リモデリング抑制薬の開発	帯刀 英樹	心臓血管外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
264	力学的解析によるTAVI術中の脳塞栓発症予測モデルの開発	園田 拓道	心臓血管外科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
265	大規模ゲノム解析によるセラチアマルセスセンスの病原性および薬剤耐性獲得機構の解析	小野 友行	心臓血管外科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
266	GLP-1受容体作動薬による大動脈手術時の脊髄保護効果の検討	山下 慶之	心臓血管外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
267	細胞骨格関連蛋白質Fhod3から見た補助人工心臓治療後の左室リモデリング効果	牛島 智基	心臓血管外科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
268	3Dプリンタを用いた肺動脈形態の解析と肺動脈形成法の検討	藤田 智	心臓血管外科	273 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
269	ヒルシュスプルング病および類縁疾患における乳歯幹細胞による病因解明と新規治療開発	田口 智章	小児外科	871 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究A)
270	自家細胞移植のための腸管神経節細胞僅少症患者由来乳歯幹細胞の遺伝学的機能的解析	吉丸 耕一朗	小児外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
271	突然変異抑制遺伝子MTH1の小児固形悪性腫瘍における発現解析と新規治療への応用	武本 淳吉	小児外科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
272	ヒルシュスプルング病類縁疾患の新規治療法を目指した遺伝子変異の同定とその機能解析	河野 淳	小児外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
273	腸管神経節細胞僅少症への幹細胞移植における大建中湯を用いた治療戦略の開発	入江 敬子	小児外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
274	臨床応用へ向けたヒト乳歯歯髄幹細胞を用いた肝再生医療の基盤整備	林田 真	小児外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
275	小児期からの移行期・成人期を包括する希少難治性慢性消化器疾患の医療政策に関する研究	田口 智章	小児外科	3,357 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
276	ヒルシュスプルング病類縁疾患診療ガイドライン改定を目指したエビデンス創出研究	田口 智章	小児外科	1,482 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
277	食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	古江 増隆	皮膚科	20,971 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
278	新規IL-1サイトカインによる表皮バリア機能の制御	三苫 千景	皮膚科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
279	乾癬・アトピー性皮膚炎の病態におけるエンドセリン-1の役割の解明とその治療応用	中原 剛士	皮膚科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
280	エンドセリン-1のアトピー性皮膚炎における炎症やかゆみへの影響—その機序の解明—	中原 真希子	皮膚科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
281	アトピー性皮膚炎のバリア機能障害における芳香族炭化水素受容体とOVOL1の役割	辻 学	皮膚科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
282	IL-34のアトピー性皮膚炎における機能の検討	江崎 仁一	皮膚科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
283	皮膚有刺細胞癌の増殖転	伊東 孝道	皮膚科	106 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
284	結節性硬化症に伴う腎血管筋脂肪腫に対して医療費適正化を目指した凍結療法安全性と有効性の検討	江藤 正俊	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	2,960 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
285	尿中のプロテインキナーゼC α を用いた尿路上皮癌の新規バイオマーカーの開発	江藤 正俊	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	949 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
286	免疫チェックポイント分子発現調節による樹状細胞能の変化と抗腫瘍効果に関する研究	立神 勝則	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
287	新規尿中バイオマーカーによる尿路上皮癌診断システムの開発	猪口 淳一	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	120 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
288	尿中PKC α を標的とした新規尿路上皮がん診断システムの開発	猪口 淳一	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
289	ゲノムワイドSNPアレイによる転移性前立腺癌治療の個別化医療の確立と最適化	塩田 真己	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
290	免疫チェックポイント阻害剤併用による新規膀胱内BCG注入療法の開発	武内 在雄	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
291	腎周囲脂肪が腎細胞癌の発育・成長に及ぼす影響についての検討	柏木 英志	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
292	腎癌におけるNO合成経路に着目した血管新生阻害剤耐性メカニズムの解明に関する研究	門司 恵介	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
293	自閉スペクトラム症に対する新規オキシトシン製剤の治験実施と、オキシトシン反応性脳波マーカーの確立に向けて	鬼塚 俊明	精神科神経科	624 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
294	眼球運動の状況予測性解析法の研究開発と疾患横断的理解	鬼塚 俊明	精神科神経科	650 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
295	AMPA受容体標識PETプローブの製造体制の整備および精神疾患患者等を対象とした臨床研究の実施	平野 羊嗣	精神科神経科	650 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
296	血液メタボローム解析による精神疾患の層別化可能な客観的評価法の確立と治療最適化への応用	加藤 隆弘	精神科神経科	2,200 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
297	社会的ひきこもりの長期化打開のためのエビデンスに基づく家族向け教育支援モデルの構築	加藤 隆弘	精神科神経科	450 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
298	眼科硝子体手術普及のための眼内内視鏡保持ロボット開発	園田 康平	眼科	2,900 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
299	自然炎症局所制御による網膜前駆細胞誘導	園田 康平	眼科	585 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
300	失明回避を目指す開放隅角緑内障の遺伝的リスク予測に関する研究開発	秋山 雅人	眼科	269 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
301	未熟児網膜症の進行予防を目的とした点眼薬の開発	有馬 充	眼科	390 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
302	網膜色素変性の炎症を制御する障害関連分子パターンとその受容機構の解明	村上 祐介	眼科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
303	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)	塩瀬 聡美	眼科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
304	形質転換を標的とした眼内線維増殖の予防的治療戦略の構築	石川 桂二郎	眼科	572 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究A)
305	マトリセルラー蛋白を標的とした抗VEGF療法誘導性眼内線維増殖の治療戦略構築	中間 崇仁	眼科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
306	Beyond VEGFのアンメットニーズ:線維化と虚血へのマクロファージ教育療法	中尾 新太郎	眼科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
307	長期追跡研究における糖尿病網膜症の時代的变化と新たな危険因子の検討:久山町研究	安田 美穂	眼科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
308	エクソームシーケンスによる脂腺癌の発癌メカニズム解明 研究課題	秋山 雅人	眼科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
309	加齢黄斑変性による線維瘢痕化の病態および治療研究	大島 裕司	眼科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
310	自然リンパ球MAIT細胞の眼内炎症制御メカニズムの解明	長谷川 英一	眼科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
311	緑内障発症・進行リスクスコアの確立と個別化医療の基盤作成	藤原 康太	眼科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
312	ROCK阻害剤を用いた抗VEGF治療抵抗性糖尿病黄斑浮腫に対する新規治療法の開発	有馬 充	眼科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
313	リソソーム膜タンパクLAMP2の機能に着目した加齢黄斑変性の初期病態モデルの開発	納富 昭司	眼科	273 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
314	難治性聴覚障害に関する調査研究	中川 尚志 (分担)	耳鼻咽喉・頭頸部外科	50 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
315	先天性および若年性の視覚聴覚二重障害に対する一体的診療体制に関する研究	土橋 奈々	耳鼻咽喉・頭頸部外科	20 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
316	側頭骨扁平上皮癌の網羅的組織解析に基づく新規統合的治療戦略の開発	中川 尚志	耳鼻咽喉・頭頸部外科	624 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
317	侵襲性を上げずに精度を上げるナビゲーション手術用リファレンスフレームの開発	松本 希	耳鼻咽喉・頭頸部外科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
318	喉頭科学視点からの吃音治療の新戦略ー喉頭ファイバーとフォノグラムの同時計測ー	菊池 良和	耳鼻咽喉・頭頸部外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
319	頭頸部扁平上皮癌の腫瘍内不均一性の解明	内 龍太郎	耳鼻咽喉・頭頸部外科	39 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
320	正常聴覚に不可欠な蝸牛ナトリウム輸送機構の解明	吉田 崇正	耳鼻咽喉・頭頸部外科	312 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
321	Wntシグナルを介した聴神経再生の分子基盤の解明	野田 哲平	耳鼻咽喉・頭頸部外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
322	唾液腺癌の浸潤・転移におけるERM蛋白と受容体型チロシンキナーゼの機能解析	橋本 和樹	耳鼻咽喉・頭頸部外科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
323	バイオ3Dプリンタによるヒト脂肪幹細胞小口径血管の研究	上菌 健一	耳鼻咽喉・頭頸部外科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
324	ラセン神経節神経幹細胞の増殖・分化制御機構の解明とその聴力再生への応用	安井 徹郎	耳鼻咽喉・頭頸部外科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
325	耳内から聴取する音を利用した新しい評価方法の検討	山口 優実	耳鼻咽喉・頭頸部外科	52 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
326	頭頸部癌における循環腫瘍DNAを用いた Precision Medicineの確立	古後 龍之介	耳鼻咽喉・頭頸部外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
327	側頭骨癌におけるインフラマゾーム関連分子の網羅的解析による炎症性発癌機構の解明	小宗 徳孝	耳鼻咽喉・頭頸部外科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
328	スギ花粉症に対する経口免疫寛容機序の解明と新規創薬標的分子の探索	村上 大輔	耳鼻咽喉・頭頸部外科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
329	乳腺腫瘍へのCESTイメージングの臨床応用と有用性の確立	神谷 武志	放射線科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
330	頭頸部悪性腫瘍に対するPET/MRIによる画素単位でのマルチパラメトリック解析	鷲山 幸二	放射線科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
331	MRIによる慢性血栓塞栓性肺高血圧症の非侵襲的評価法の確立と左右肺血流特性の解明	山崎 誘三	放射線科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
332	肺癌の個別化ゲノム医療に向けた定位放射線治療感受性のバイオマーカー探索	大賀 才路	放射線科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
333	深層学習を用いた転移性脳腫瘍の予後予測と放射線治療方針決定システムの開発	吉武 忠正	放射線科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
334	化学放射線耐性を生む食道癌ゲノム・免疫応答のクローン進化の解明	平田 秀成	放射線科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
335	MRNとT2定量値の同時測定法を用いた新しい末梢神経疾患診断法の確立	樋渡 昭雄	放射線科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
336	APTイメージングによる高悪性度グリオーマの治療モニタリングと予後因子の検討	梅尾 理	放射線科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
337	小児脳腫瘍のMultiparametric解析によるより高度な診断法の確立	菊地 一史	放射線科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
338	新たなMR-based pHイメージングの開発とoncologyへの臨床応用	西江 昭弘	放射線科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
339	肝細胞機能、肝線維化および肝壊死炎症に対する新たな定量的MRI診断法の開発	高山 幸久	放射線科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
340	大動脈ステント留置後のエンドリークに対する新たな診断法とテーラーメイド治療の開発	牛島 泰宏	放射線科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
341	APTイメージングを用いた卵巣嚢胞性病変の早期診断の有用性の確立	石松 慶祐	放射線科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
342	術前運動療法による術後心機能・認知機能低下の予防効果	山浦 健	麻酔科蘇生科	318 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
343	術後痛に対する全身麻酔薬およびTRPチャネルの関与の検討	幸島 裕士	麻酔科蘇生科	61 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
344	自己免疫性肝炎モデルに対するファルネシル化の効果の検討	白水 和宏	麻酔科蘇生科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
345	肝不全に対するファルネシルトランスフェラーゼ阻害薬及びスタチンの肝保護作用の検討	白水 和宏	麻酔科蘇生科	81 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
346	シナプス前グリシン受容体の機能性の証明	住江 誠	麻酔科蘇生科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
347	コホート・生体試料支援プラットフォーム	村田 昌之	総合診療科	1,722 万円	補 文部科学省科学研究費助成事業(新学術領域研究「学術研究支援基盤形成」)
348	原子力災害拠点病院のモデルBCP及び、外部評価に関する調査及び開発	永田 高志	救命救急センター	1,000 万円	補 原子力規制庁
349	先天性横隔膜ヘルニアモデルマウス低形成肺に対する脱落乳歯歯髄幹細胞の有用性の検討	近藤 琢也	救命救急センター	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
350	基盤研究(C)看護師を対象として高規格シミュレータを用いた小児急変対応の遠隔教育法の開発	賀来 典之	救命救急センター	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
351	ヒトにおける残留性有機汚染物質等の汚染・蓄積の実態及び疾患との関連性の解明	立石 悠基	病理部・病理診断科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
352	大規模医療情報の安全対策への活用拡大に向けたデータ品質管理に関する課題解決の研究	中島 直樹	メディカル・インフォメーションセンター	622 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
353	multiplex PCR法を用いた、同時期・同地域における慢性閉塞性肺疾患および成人・小児気管支喘息増悪の原因ウイルスの同定と病態の解析	神尾敬子(共同研究者)	光学医療診療部	200 万円	補 公益財団法人 日本呼吸器財団
354	橋渡し研究戦略的推進プログラム「地域と拠点を結び世界へ展開する新規医療技術の研究・開発」	馬場 英司	ARO次世代医療センター	12,815 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
355	医療技術実用化総合促進事業「支援体制の強化・効率化による革新的医療開発の迅速化」	馬場 英司	ARO次世代医療センター	24,494 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
356	ARO機能評価事業「ポジショニング分析および経験則分析によるARO機能類型化・評価指標創出のための調査研究」	戸高 浩司	ARO次世代医療センター	3,900 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
357	臨床研究総合促進事業	戸高 浩司	ARO次世代医療センター	2,020 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
358	心不全治療を変革する多機能血行動態モニタ	安藤 眞一	睡眠時無呼吸センター	2,782 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
359	中等度以上の睡眠呼吸障害患者での持続陽圧呼吸器と口腔内装置の治療効果の客観的比較	安藤 眞一	睡眠時無呼吸センター	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
360	中南米における早期胃癌診断率向上のための継続的遠隔医療教育システムの構築	清水 周次	国際医療部	806 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
361	ミャンマーにおける医療水準の均霑化をめざした人材育成事業	清水 周次	国際医療部	800 万円	委 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
362	早期胃癌診断の国際遠隔医療教育における内視鏡画像品質の基準策定	上田 真太郎	国際医療部	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
363	iPS細胞を用いた3次元的歯根膜作製法の確立と人工歯根開発への応用	前田 英史	歯内治療科	741 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究A)
364	iPS創薬とゲノム創薬の融合による歯根膜幹細胞賦活化物質の創出と再生医療への応用	友清 淳	歯内治療科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
365	iPS由来神経堤細胞によるバイオミメティクスに基づいた新規歯周組織再生療法の開発	友清 淳	歯内治療科	403 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
366	歯根膜幹細胞転換を基盤とした歯周組織再生の有用性の検討とそのメカニズムの解明	長谷川 大学	歯内治療科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
367	iPS細胞と歯根膜幹細胞誘導因子FBN2を融合させた革新的歯周組織再生療法の創出	濱野 さゆり	歯内治療科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
368	Activin Aの二極性細胞分化誘導特性を基盤とした新規歯周組織再生療法の開発	杉井 英樹	歯内治療科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
369	歯周医学の新展開～歯周炎症とエネルギー代謝の連関	西村 英紀	歯周病科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
370	SPOCK-1生体タンパクを応用した安全性に優れた革新的歯周病予防薬の開発	西村 英紀	歯周病科	260 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
371	炎症の収束と組織リモデリングを誘導する次世代歯周組織再生治療法の構築	讃井 彰一	歯周病科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
372	歯肉幹細胞由来エクソソームを用いた新規歯周病治療の開発	福田 隆男	歯周病科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
373	歯肉増殖症の病態解明～spock1による蓄積と分解抑制のシナジー効果の観点から	山下 明子	歯周病科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
374	炎症誘導性 β 細胞Xaf1の役割解明～歯周病一 β 細胞機能の連関	岩下 未咲	歯周病科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
375	抗炎症miRNA内包エクソソームを用いた肥満糖尿病性歯周炎の新規治療法の開発	佐野 朋美	歯周病科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
376	アメロジエニンの炎症制御機序の解明ーマクロファージM2極性化の観点から	田中 麗	歯周病科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
377	β 細胞Xaf-1が β 細胞機能および歯周組織に及ぼす影響の解明	鶴田満大	歯周病科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(研究活動スタート支援)
378	脂肪組織由来CfBが歯周炎に及ぼす影響の解明	松永 紘明	歯周病科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(研究活動スタート支援)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
379	新規三次元培養技術の再生医療への応用	古橋 明大	義歯補綴科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
380	骨質劣化をもたらすインプラント周囲骨リモデリング破綻機序の解明と予防策の考案	森山 泰子	義歯補綴科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
381	デンタルインターフェイスにおける応力-セルシグナル変換の解明と個体差医療への展開	古谷野 潔	義歯補綴科	468 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
382	薬剤関連顎骨壊死の治療と予防を目指した間葉系幹細胞の新規投与方法	熱田 生	義歯補綴科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
383	過硝酸溶液を用いた新規殺菌方法のインプラント周囲炎治療法への応用	江崎 大輔	義歯補綴科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
384	MEMSを用いた口腔内モニタリングによるインプラントリスク診断システムの開発	松下 恭之	義歯補綴科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
385	顎顔面補綴治療における皮膚貫通型インプラントの組織学的弱点と改善法の開拓	成松 生枝	義歯補綴科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
386	偏咀嚼の観点からみた片側臼歯部遊離端欠損に対する第2大臼歯までの補綴治療の必要性	大木 郷資	咬合補綴科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
387	オッセオインテグレーション獲得におけるPTHrP陽性細胞の役割の解明	高橋 良	咬合補綴科	260 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
388	磁性ナノ技術を応用したエナメル質の再生	古藤 航	咬合補綴科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
389	IgG4関連疾患の病因解明とマウス疾患モデルの作製による検証	中村 誠司	顎口腔外科	1,300 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
390	唾液中の可溶性マーカーに着目したIgG4関連疾患の新たな診断方法の開発	中村 誠司	顎口腔外科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
391	IgG4 関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	中村 誠司	顎口腔外科	60 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
392	自己免疫疾患に関する調査研究	中村 誠司	顎口腔外科	50 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
393	自己免疫制御を機序とする新規シェーグレン症候群治療薬の探索	中村 誠司	顎口腔外科	207 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
394	IgG4関連疾患の新規バイオマーカーと治療ターゲット開発に関する研究	中村 誠司	顎口腔外科	208 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
395	癌の微小環境構築に関わるkey regulatorを標的とした新しい癌治療戦略	川野 真太郎	顎口腔外科	520 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
396	骨吸収抑制薬関連顎骨壊死の免疫機能解析と予防治療法の展開	梯 裕恵	顎口腔外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
397	Toll様受容体を標的としたシェーグレン症候群の新規治療戦略	森山 雅文	顎口腔外科	585 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
398	日米共同研究によるIgG4関連疾患の国際的疾患概念の構築と新規診断法への展開	森山 雅文	顎口腔外科	546 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
399	遺伝子間相互作用解析を活用した口唇口蓋裂疾患感受性遺伝子の解明	新井 伸作	顎口腔外科	87 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
400	IgG4関連疾患の病因解明と新規治療戦略 -特異なT・B細胞を標的として-	前原 隆	顎口腔外科	637 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化B)
401	IgG4関連疾患とその世界初モデルマウスにおける臓器線維化メカニズム解明	前原 隆	顎口腔外科	637 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
402	口腔扁平上皮癌の浸潤・転移におけるPD-L1/PD-1シグナルの関与	丸瀬 靖之	顎口腔外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究B)
403	スカベンジャー受容体MARCOに着目したIgG4関連疾患の発症機序の解明	伊東 美穂	顎口腔外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究B)
404	口腔扁平上皮癌の悪性度に関わるバイオマーカーとしてのWnt5a/Ror2の有用性	坂本 泰基	顎口腔外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
405	口腔扁平上皮癌の△Np63βを介したEMTにおけるmiR-205の役割について	橋口 有真	顎口腔外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
406	口腔癌の悪性化におけるDNA脱メチル化の役割およびその機構の解明	三上 友理恵	顎口腔外科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
407	スカベンジャー受容体MARCOに着目したIgG4関連疾患の新規分子標的治療の確立	坂本 瑞樹	顎口腔外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(研究活動スタート支援)
408	ハイブリッド相同モデルによるresult-orientedな顎顔面手術シミュレーション法の開発	山田 朋弘	顔面口腔外科	100 万円	補 公益財団法人 コスメトロジー研究振興財団
409	ゲノム/エピゲノム異常が口腔多発腫瘍におけるField形成に与える影響	今城 育美	顔面口腔外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
410	口腔扁平上皮癌におけるリンパ節転移機構に及ぼす癌免疫応答の解明	熊丸 涉	顔面口腔外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
411	シェーグレン症候群、IgG4関連涙腺唾液腺炎における腸内細菌叢と病態の関係の解明	大山 順子	顔面口腔外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
412	骨細胞のメカニカルストレス応答におけるBMPシグナルの役割解明研究	長野 公喜	顔面口腔外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
413	決定木(decision tree)を使用した診断学習システムの開発	岡村 和俊	口腔画像診断科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
414	超音波エラストグラフィを用いた損傷定量化による唾液腺疾患の非侵襲的診断法の確立	清水 真弓	口腔画像診断科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
415	統計学modelを用いた拡散情報と薬物動態解析の総合評価 頭頸部への応用	筑井 徹	口腔画像診断科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
416	Dual Energy CTを用いた顎顔面領域腫瘍の薬物動態解析	北本 江梨奈	口腔画像診断科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
417	Compressed sensingを用いた頭頸部病変の高時間分解能血流動態評価	加美 由紀子	口腔画像診断科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
418	オミックス解析を用いた歯根膜発生機構の解明と幹細胞誘導型組織再生技術への応用	和田 尚久	口腔総合診療科	650 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
419	アンキロシス発生機序探索の鍵となる新規TGF-βシグナル関連因子分子機構の解明	御手洗 裕美	口腔総合診療科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
420	口腔扁平上皮癌における亜鉛トランスポーターの役割と機能に関する研究	神野 哲平	口腔総合診療科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
421	歯周組織における仮足形成関連因子の発現・機能解析と制御機構の解明	祐田 明香	口腔総合診療科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
422	P. gingivalis バイオフィルム剥離に関わる新規プロテアーゼの解明	原口 晃	口腔総合診療科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
423	口腔機能の回復と認知機能の関連性の検討ー軽度認知障害高齢者を対象とした検討ー	水谷 慎介	高齢者歯科・全身管理歯科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究B)
424	軽度認知障害高齢者における口腔周囲筋訓練を用いた新たな認知症予防法の確立	井上 良介	高齢者歯科・全身管理歯科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
425	口腔マイクロバイームを指標とした心臓移植患者の口腔管理方法の確立	今井 裕子	高齢者歯科・全身管理歯科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
426	移植肝の遺伝的背景に着目した拒絶反応回避に関する新規分子機構の探索	田島 壮一郎	薬剤部	142 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
427	小児・新生児における抗MRSA薬の個別化投与方法の確立	山田 孝明	薬剤部	123 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
428	機械学習技術を用いた医薬品の投与量チェックシステムの構築と実臨床への応用	永田 健一郎	薬剤部	173 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
429	アプレピタントの体内動態及び薬効解析による戦略的個別化投与設計理論の確立	勝部 友理恵	薬剤部	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(研究活動スタート支援)
430	がん化学療法における痛みと睡眠に関する包括的研究	江頭 伸昭	薬剤部	163 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
431	薬剤師の行動心理に基づく調剤エラーのメカニズム解明と実臨床への応用	辻 敏和	薬剤部	148 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
432	肺癌治療に伴う薬物性腎障害早期発見のための非侵襲的尿中バイオマーカーの探索	渡邊 裕之	薬剤部	135 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
433	妊婦・授乳婦薬物療法における医薬品情報提供支援システムの構築と有用性の評価	村岡 香代子	薬剤部	54 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)
434	カペシタビンによる手足症候群の発現予防を目指した最適な保湿方法の確立	楨原 洋子	薬剤部	54 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)
435	免疫抑制薬タクロリムスの移植腎組織中濃度と腎障害発生との関連性解明	重松 智博	薬剤部	54 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)
436	大規模医療情報の標準化のための統一的管理手法の構築と利活用の研究	康 東天	検査部	2,730 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
437	網羅的代謝変化解析による、ミトコンドリア異常疾患の病態解析とバイオマーカー探索	康 東天	検査部	1,287 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
438	老化・疾病をもたらすミトコンドリア機能障害を鋭敏に捕らえる手法の開発	松島 雄一	検査部	416 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
439	独自の進化を遂げた動物ミトコンドリアmRNAポリ(A)鎖の機能解析	松島 雄一	検査部	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
440	哺乳動物ミトコンドリアDNAの塩基修飾の解明～その生物学的意義の理解にむけて	安川 武宏	検査部	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
441	ミトコンドリア依存的な代謝と肥満の分子メカニズムの解明	後藤 和人	検査部	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
442	うつ病重症度や自殺願望を予測する新たな臨床検査法の確立	瀬戸山 大樹	検査部	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
443	ミトコンドリアがオートファジーを制御する新機構と老化随伴疾患代謝物の探索	八木 美佳子	検査部	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
444	肝臓発現分泌蛋白のシグナルペプチド内サイレント変異と病態との関連性の解明	松本 信也	検査部	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
445	RNA修飾であるPoly(A)を活用したミトコンドリア機能検査法の確立と臨床応用	相原 正宗	検査部	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
446	超高精細CTを用いた梗塞心筋の微小血管側副路の検出	小島 幸	放射線部	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
447	脳血管疾患患者における超選択的4D-MRAの開発・臨床応用	村崎 裕生	放射線部	286 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
448	呼吸停止下CESTイメージング法の確立:肝機能評価の臨床応用	徳永 千晶	放射線部	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
449	計画標的体積マージン自動決定システムの開発	廣瀬 貴章	放射線部	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
450	高分解能3D CESTイメージングによるmulti-pool解析の開発と臨床応用	和田 達弘	放射線部	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
451	医用画像と臨床情報を用いたRadiomicsによる乳がん転移診断システムの開発	吉留 郷志	放射線部	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計19件

合計 451 件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
1	Takeshi Arita, Taku Yokoyama, Shohei Moriyama et al	第一内科	Impairment of Erythrocyte Deformability Observed in Type 2 Diabetic Patients with Clustering Diabetic Complications	Cardiology and Angiology: An International Journal:2020 Jan;9(1) 27-37	Original Article
2	Takeshi Arita, Taku Yokoyama, Mitsuhiro Fukata et al	第一内科	Erythrocyte Membrane and Plasma Fatty Acids Composition in Patients with Coronary Heart Disease Requiring Percutaneous Angioplasty	Cardiology and Angiology: An International Journal:2020 Feb;9(2) 21-30	Original Article
3	Kato K, Mori T, Kim SW, et al.	第一内科	Outcome of patients receiving consolidative autologous peripheral blood stem cell transplantation in the frontline treatment of intravascular large B-cell lymphoma: Adult Lymphoma Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation	Bone Marrow Transplant. 2019 Sep;54(9):1515-1517.	Letter
4	Kato K, Takeuchi A, Akashi K, et al.	第一内科	Cyclophosphamide-Induced Tolerance in Allogeneic Transplantation: From Basic Studies to Clinical Application	Front Immunol. 2020 Jan 31;10:3138.	Review
5	Ohmura H, Ito M, Uchino K, et al.	第一内科	Methylation of Drug Resistance-Related Genes in Chemotherapy-Sensitive Epstein-Barr Virus-Associated Gastric Cancer	FEBS Open Bio . 2020 Jan;10(1):147-157.	Original Article
6	Yamaguchi K, Ito M, Ohmura H, et al.	第一内科	Helper T Cell-Dominant Tertiary Lymphoid Structures Are Associated With Disease Relapse of Advanced Colorectal Cancer	Oncoimmunology . 2020 Feb 17;9(1):1724763.	Original Article
7	Isobe S, Kataoka M, Endo J, et al	第一内科	Endothelial-Mesenchymal Transition Drives Expression of CD44 Variant and α CT in Pulmonary Hypertension	Am J Respir Cell Mol Biol . 2019 Sep;61(3):367-379.	Original Article
8	Wong MG, Ninomiya T, Hirakawa Y et al.	第二内科	Physical Component Quality of Life Reflects the Impact of Time and Moderate Chronic Kidney Disease, Unlike SF-6D Utility and Mental Component SF-36 Quality of Life: An AusDiab Analysis	Nephrology (Carlton) . 2019 Jun;24(6):605-614.	Original Article
9	Yamada S, Arase H, Morishita T, et al	第二内科	Adrenal Crisis Presented as Acute Onset of Hypercalcemia and Hyponatremia Triggered by Acute Pyelonephritis in a Patient With Partial Hypopituitarism and Pre-Dialysis Chronic Kidney Disease	CEN Case Rep . 2019 May;8(2):83-88.	Case report
10	Hatabe Y, Shibata M, Ohara T et al.	第二内科	Decline in Handgrip Strength From Midlife to Late-Life Is Associated With Dementia in a Japanese Community: The Hisayama Study	J Epidemiol . 2020 Jan 5;30(1):15-23.	Original Article
11	Tsuchimoto A, Masutani K, Omoto K, et al	第二内科	Kidney Transplantation for Treatment of End-Stage Kidney Disease After Haematopoietic Stem Cell Transplantation: Case Series and Literature Review	Clin Exp Nephrol. 2019 Apr;23(4):561-568.	Review
12	Jardine MJ, Ninomiya T, Nicole L et al.	第二内科	Dietary Sodium Reduction Reduces Albuminuria: A Cluster Randomized Trial	J Ren Nutr . 2019 Jul;29(4):276-284.	Original Article
13	Yang Y, Hozawa A, Kogure M et al.	第二内科	Dietary Inflammatory Index Positively Associated With High-Sensitivity C-Reactive Protein Level in Japanese From NIPPON DATA2010	J Epidemiol . 2020 Feb 5;30(2):98-107.	Original Article
14	Inaishi J, Hirakawa Y, Horikoshi M et al.	第二内科	Association Between Genetic Risk and Development of Type 2 Diabetes in a General Japanese Population: The Hisayama Study	J Clin Endocrinol Metab . 2019 Aug 1;104(8):3213-3222.	Original Article
15	Kansui Y, Matsumura K, Morinaga Y et al	第二内科	C-reactive Protein and Incident Hypertension in a Worksite Population of Japanese Men	J Clin Hypertens (Greenwich) . 2019 Apr;21(4):524-532.	Original Article

小計15件

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
16	Fujiwara K, Yasuda M, Hata J et al.	第二内科	Glucose Tolerance Levels and Circumpapillary Retinal Nerve Fiber Layer Thickness in a General Japanese Population: The Hisayama Study	Am J Ophthalmol. 2019 Sep;205:140-146	Original Article
17	Marklund M, Imamura F, Hirakawa Y et al.	第二内科	Biomarkers of Dietary Omega-6 Fatty Acids and Incident Cardiovascular Disease and Mortality	Circulation. 2019 May 21;139(21):2422-2436.	Original Article
18	Izumarū K, Hata J, Nakano T et al.	第二内科	Reduced Estimated GFR and Cardiac Remodeling: A Population-Based Autopsy Study	Am J Kidney Dis . 2019 Sep;74(3):373-381.	Original Article
19	Yoshida D, Ohara T, Hata J et al.	第二内科	Dairy Consumption and Risk of Functional Disability in an Elderly Japanese Population: The Hisayama Study	Am J Clin Nutr . 2019 Jun 1;109(6):1664-1671.	Original Article
20	Ninomiya T, Kanzaki N, Hirakawa Y et al.	第二内科	Serum Ethylamine Levels as an Indicator of l-Theanine Consumption and the Risk of Type 2 Diabetes in a General Japanese Population: The Hisayama Study	Diabetes Care . 2019 Jul;42(7):1234-1240.	Original Article
21	Hata J, Ohara T, Katakura Y et al.	第二内科	Association Between Serum β -Alanine and Risk of Dementia	Am J Epidemiol . 2019 Sep 1;188(9):1637-1645.	Original Article
22	Malik R, Okada Y, Ago T et al.	第二内科	Publisher Correction: Multiancestry Genome-Wide Association Study of 520,000 Subjects Identifies 32 Loci Associated With Stroke and Stroke Subtypes	Nat Genet . 2019 Jul;51(7):1192-1193.	Original Article
23	Hashimoto S, Yasuda M, Fujiwara K et al.	第二内科	Association Between Axial Length and Myopic Maculopathy: The Hisayama Study	Ophthalmol Retina . 2019 Oct;3(10):867-873.	Original Article
24	Hamasaki H, Honda H, Suzuki S et al.	第二内科	Tauopathy in Basal Ganglia Involvement Is Exacerbated in a Subset of Patients With Alzheimer's Disease: The Hisayama Study	Alzheimers Dement (Amst) . 2019 Jun 6;11:415-423.	Original Article
25	Goto K, Kitazono T	第二内科	Endothelium-Dependent Hyperpolarization (EDH) in Diabetes: Mechanistic Insights and Therapeutic Implications	Int J Mol Sci . 2019 Jul 31;20(15):3737.	Review
26	Kageyama S, Takeshita T, Takeuchi K et al.	第二内科	Characteristics of the Salivary Microbiota in Patients With Various Digestive Tract Cancers	Front Microbiol . 2019 Aug 2;10:1780.	Original Article
27	Higashioka M, Hirakawa Y, Kawamura R et al.	第二内科	Ratios of Serum Eicosapentaenoic Acid to Arachidonic Acid and Docosahexaenoic Acid to Arachidonic Acid Were Inversely Associated With Serum Resistin Levels: The Hisayama Study	J Diabetes Investig . 2020 Mar;11(2):482-489.	Original Article
28	Fujiwara K, Yasuda M, Hata J et al.	第二内科	Long-term Regular Exercise and Intraocular Pressure: The Hisayama Study	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2019 Nov;257(11):2461-2469.	Original Article
29	Nagata T, Ohara T, Hat, J et al.	第二内科	NT-proBNP and Risk of Dementia in a General Japanese Elderly Population: The Hisayama Study	J Am Heart Assoc . 2019 Sep 3;8(17):e011652.	Original Article
30	Nakamura K, Ikeuchi T, Nara K, et al	第二内科	Perlecan Regulates Pericyte Dynamics in the Maintenance and Repair of the Blood-Brain Barrier	J Cell Biol. 2019 Oct 7;218(10):3506-3525.	Original Article
31	Ohya Y, Osaki M, Fujimoto S, et al	第二内科	Usefulness of Transesophageal Echocardiography for Predicting Covert Paroxysmal Atrial Fibrillation in Patients With Embolic Stroke of Undetermined Source	Cerebrovasc Dis Extra . 2019 Sep - Dec;9(3):98-106.	Original Article
32	Wakisaka Y	第二内科	Possible Biomarker for an Important Yet Neglected Symptom After Stroke - Metalloproteinase-9 and Post-Stroke Depression	Circ J. 2019 Oct 25;83(11):2208-2209.	Letter

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
33	Sasaki T, Tsuboi N, Okabayashi Y et al.	第二内科	Estimation of Nephron Number in Living Humans by Combining Unenhanced Computed Tomography With Biopsy-Based Stereology	Sci Rep. 2019 Oct 7;9(1):14400	Original Article
34	Honda T, Ohara T, Shinohara M et al.	第二内科	Serum Elaidic Acid Concentration and Risk of Dementia: The Hisayama Study	Neurology . 2019 Nov 26;93(22):e2053-e2064.	Original Article
35	Ago T	第二内科	Why Are Pericytes Important for Brain Functions?	Rinsho Shinkeigaku . 2019 Nov 8;59(11):707-715.	Review
36	Tomiyama H, Ohkuma T, Ninomiya T et al.	第二内科	Brachial-Ankle Pulse Wave Velocity Versus Its Stiffness Index β -Transformed Value as Risk Marker for Cardiovascular Disease	J Am Heart Assoc. 2019 Dec 17;8(24):e013004.	Original Article
37	Matsuo R, Ago T, Kiyuna F, et al	第二内科	Smoking Status and Functional Outcomes After Acute Ischemic Stroke	Stroke. 2020 Mar;51(3):846-852.	Original Article
38	Sakata S, Hata J, Honda T et al.	第二内科	Serum Uric Acid Levels and Cardiovascular Mortality in a General Japanese Population: The Hisayama Study	Hypertens Res . 2020 Jun;43(6):560-568.	Original Article
39	Hachiya T, Hata J, Hirakawa Y et al.	第二内科	Genome-Wide Polygenic Score and the Risk of Ischemic Stroke in a Prospective Cohort: The Hisayama Study	Stroke . 2020 Mar;51(3):759-765.	Original Article
40	Inaishi J, Saisho Y, Hirakawa Y et al.	第二内科	Association of Glucose Tolerance Status With Pancreatic β - and α -Cell Mass in Community-Based Autopsy Samples of Japanese Individuals: The Hisayama Study	J Diabetes Investig . 2020 Feb 7.	Original Article
41	Shibahara T, Ago T, Nakamura K, et al	第二内科	Pericyte-Mediated Tissue Repair Through PDGFR β Promotes Peri-Infarct Astrogliosis, Oligodendrogenesis, and Functional Recovery After Acute Ischemic Stroke	eNeuro. 2020 Mar 11;7(2):ENEURO.0474-19.2020.	Original Article
42	Kuwano A, Kohjima M, Suzuki H, et al	第三内科	Recombinant Human Soluble Thrombomodulin Ameliorates Acetaminophen-Induced Liver Toxicity in Mice	Exp Ther Med. 2019 Aug;18(2):1323-1330.	Original Article
43	Imoto K, Kohjima M, Hioki T, et al	第三内科	Clinical Features of Liver Injury Induced by Immune Checkpoint Inhibitors in Japanese Patients	Can J Gastroenterol Hepatol . 2019 Dec 7;2019:6391712.	Original Article
44	Narazaki T, Nakashima Y, Tsukamoto Y et al.	第三内科	Transformation of Follicular Lymphoma to Double-Hit Lymphoma During Adjuvant Chemotherapy for Concurrent Ovarian Carcinoma	Int J Hematol. 2019 Sep;110(3):375-380.	Case report
45	Narazaki T, Shiratsuti M, Tsukamoto Y et al.	第三内科	Intestinal Behçet's Disease With Primary Myelofibrosis Involving Trisomy 8	Acta Haematol . 2019 Nov;142(4):253-256.	Case report
46	Narazaki T, Nakashima Y, Tsukamoto Y et al.	第三内科	Schizophyllum Commune Sinusitis After Allogeneic Bone Marrow Transplantation for Myelodysplastic Syndrome: A Case Report and Literature Review	Transpl Infect Dis . 2020 Feb;22(1):e13205.	Case report
47	Miki M, Oono T, Fujimori N, et al	第三内科	CLEC3A, MMP7, and LCN2 as Novel Markers for Predicting Recurrence in Resected G1 and G2 Pancreatic Neuroendocrine Tumors	Cancer Med. 2019 Jul;8(8):3748-3760.	Original Article
48	Fujimori N, Minoda Y, Murakami M, et al	第三内科	Endoscopic Removal of a Lumen-Apposing Metal Stent That Migrated Into the Walled-Off Necrosis During the First Drainage Procedure	Endoscopy. 2020 Feb;52(2):E51-E52.	Case report
49	Uchida K, Nomura M, Yamamoto T et al	第三内科	Rab8a Is Involved in Membrane Trafficking of Kir6.2 in the MIN6 Insulinoma Cell Line	Pflugers Arch. 2019 Jun;471(6):877-887.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
50	Yokomoto-Umakoshi M, Sakamoto R, Umakoshi H et al.	第三内科	Unilateral Primary Aldosteronism as an Independent Risk Factor for Vertebral Fracture	Clin Endocrinol (Oxf) . 2020 Mar;92(3):206-213.	Original Article
51	R Takei, T Inoue, N Sonoda et al.	第三内科	Bilirubin Reduces Visceral Obesity and Insulin Resistance by Suppression of Inflammatory Cytokines	PLoS One. 2019 Oct 2;14(10):e0223302.	Original Article
52	Kodama Y, Hyodo F, Yamato M et al.	第三内科	Dynamic Nuclear Polarization Magnetic Resonance Imaging and the Oxygen-Sensitive Paramagnetic Agent OX63 Provide a Noninvasive Quantitative Evaluation of Kidney Hypoxia in Diabetic Mice	Kidney Int. 2019 Sep;96(3):787-792.	Original Article
53	Inoguchi Y, Ichiyangi K, Ohishi H et al.	第三内科	Poorly Controlled Diabetes During Pregnancy and Lactation Activates the Foxo1 Pathway and Causes Glucose Intolerance in Adult Offspring	Sci Rep. 2019 Jul 15;9(1):10181.	Original Article
54	Ikeda Y, Sonoda N, Bachuluun B et al.	第三内科	Aberrant Activation of Bone Marrow Ly6C High Monocytes in Diabetic Mice Contributes to Impaired Glucose Tolerance	PLoS One. 2020 Feb 25;15(2):e0229401.	Original Article
55	Minoda Y, Chinen T, Osoegawa T, et al.	第三内科	Superiority of Mucosal Incision-Assisted Biopsy Over Ultrasound-Guided Fine Needle Aspiration Biopsy in Diagnosing Small Gastric Subepithelial Lesions: A Propensity Score Matching Analysis	BMC Gastroenterol . 2020 Jan 21;20(1):19.	Original Article
56	Bai X, Ihara E, Otsuka Y, et al.	第三内科	Involvement of Different Receptor Subtypes in Prostaglandin E2-induced Contraction and Relaxation in the Lower Esophageal Sphincter and Esophageal Body	Eur J Pharmacol . 2019 Aug 15;857(3):172405.	Original Article
57	Minoda Y, Fujimori N, Ihara E, et al.	第三内科	Forward-viewing Endoscopic Ultrasound-Guided Fine-Needle Biopsy Using the Clip-With-Thread Method for Small Gastric Subepithelial Lesions	Dig Endosc . 2019 Nov;31(6):e103-e104.	Case report
58	Minoda Y, Ogino H, Chinen T, et al.	第三内科	Objective Validity of the Japan Narrow-Band Imaging Expert Team Classification System for the Differential Diagnosis of Colorectal Polyps	Dig Endosc. 2019 Sep;31(5):544-551.	Original Article
59	Osoegawa T, Minoda Y, Ihara E	第三内科	Mucosal Incision-Assisted Biopsy Versus Endoscopic Ultrasound-Guided Fine-Needle Aspiration With a Rapid On-Site Evaluation for Gastric Subepithelial Lesions: A Randomized Cross-Over Study	Dig Endosc . 2019 Jul;31(4):413-421.	Original Article
60	Komori K, Ihara E, Minoda Y, et al.	第三内科	The Altered Mucosal Barrier Function in the Duodenum Plays a Role in the Pathogenesis of Functional Dyspepsia	Dig Dis Sci. 2019 Nov;64(11):3228-3239.	Original Article
61	Fukaura K, Iboshi Y, Ogino H, et al.	第三内科	Mucosal Profiles of Immune Molecules Related to T Helper and Regulatory T Cells Predict Future Relapse in Patients With Quiescent Ulcerative Colitis	Inflamm Bowel Dis . 2019 May 4;25(6):1019-1027.	Original Article
62	Esaki M, Minoda Y, Ihara E, et al.	第三内科	Efficacy of Traction, Using a Clip-With-Thread, for Esophageal Endoscopic Submucosal Dissection for Esophageal Lesions With Fibrosis in an Ex Vivo Pig Training Model	Turk J Gastroenterol . 2020 Jan;31(1):58-64.	Original Article
63	Hamada S, Ihara E, H. Ikeda H, et al.	第三内科	Clinical Characterization of Vonoprazan-Refractory Gastroesophageal Reflux Disease	Digestion. 2019 Oct 2;1-8.	Original Article
64	Sudo N	心療内科	Role of Gut Microbiota in Brain Function and Stress-Related Pathology	Biosci Microbiota Food Health:2019 Apr;38(3):75-80	Original Article
65	Sudo N	心療内科	Biogenic Amines: Signals Between Commensal Microbiota and Gut Physiology	Front Endocrinol (Lausanne) . 2019 Jul 31;10:504.	Original Article
66	Takakura S, Aso CS, Toda K, et al.	心療内科	Physical and Psychological Aspects of Anorexia Nervosa Based on Duration of Illness: A Cross-Sectional Study	Biopsychosoc Med . 2019 Dec 23;13:32.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
67	Hata T, Miyata N, Takakura S, et al	心療内科	The Gut Microbiome Derived From Anorexia Nervosa Patients Impairs Weight Gain and Behavioral Performance in Female Mice	Endocrinology . 2019 Oct 1;160(10):2441-2452.	Original Article
68	Takakura S, Oka T, Sudo N.	心療内科	Changes in Circulating microRNA After Recumbent Isometric Yoga Practice by Patients With Myalgic Encephalomyelitis/Chronic Fatigue Syndrome: An Explorative Pilot Study	Biopsychosoc Med . 2019 Dec 2;13:29.	Original Article
69	Furukawa T, Nakano H, Yoshihara K, et al	心療内科	Predictors of objectively measured snoring in a working population	Sleep and Biological Rhythms:2019 Apr;17(3):349-354	Original Article
70	Watanabe M, Nakamura Y, Michalak Z, et al	脳神経内科	Serum GFAP and Neurofilament Light as Biomarkers of Disease Activity and Disability in NMOSD	Neurology. 2019 Sep 24;93(13):e1299-e1311.	Original Article
71	Maimaitijang G, Watanabe M, Shinoda K, et al	脳神経内科	Long-term Use of Interferon- β in Multiple Sclerosis Increases $V\delta 1 - V\delta 2 - V\gamma 9 - \gamma\delta$ T Cells That Are Associated With a Better Outcome	J Neuroinflammation . 2019 Sep 13;16(1):179.	Original Article
72	Ogata H*, Zhang X*, Yamasaki R, et al	脳神経内科	Intrathecal Cytokine Profile in Neuropathy With Anti-Neurofascin 155 Antibody	Ann Clin Transl Neurol . 2019 Nov;6(11):2304-2316.	Original Article
73	Zhang X, Fujii T, Ogata H, et al	脳神経内科	Cerebrospinal Fluid Cytokine/Chemokine/Growth Factor Profiles in Idiopathic Hypertrophic Pachymeningitis	J Neuroimmunol . 2019 May 15;330:38-43.	Original Article
74	Saitoh B, Yamasaki R, Hiwatashi A, et al	脳神経内科	Discriminative Clinical and Neuroimaging Features of Motor-Predominant Hereditary Diffuse Leukoencephalopathy With Axonal Spheroids and Primary Progressive Multiple Sclerosis: A Preliminary Cross-Sectional Study	Mult Scler Relat Disord . 2019 Jun;31:22-31.	Original Article
75	Barcelon EA, Mukaino T, Yokoyama J, et al	脳神経内科	Grand Total EEG Score Can Differentiate Parkinson's Disease From Parkinson-Related Disorders	Front Neurol . 2019 Apr 18;10:398.	Original Article
76	Shimura M, Uehara T, Ogata K, et al	脳神経内科	Higher Postictal Parasympathetic Activity Following Greater Ictal Heart Rate Increase in Right- Than Left-Sided Seizures	Epilepsy Behav . 2019 Aug;97:161-168.	Original Article
77	Tanaka K, Matsumoto S, Yamada T, et al	脳神経内科	Temporal Trends in Clinical Characteristics and Door-to-Needle Time in Patients Receiving Intravenous Tissue Plasminogen Activator: A Retrospective Study of 4 Hospitals in Japan	J Stroke Cerebrovasc Dis . 2019 Nov;28(11):104305.	Original Article
78	Baba T, Shinoda K, Watanabe M, et al	脳神経内科	MOG Antibody Disease Manifesting as Progressive Cognitive Deterioration and Behavioral Changes With Primary Central Nervous System Vasculitis	Mult Scler Relat Disord . 2019 May;30:48-50.	Case report
79	Mizuno Y, Shinoda K, Watanabe M, et al	脳神経内科	Intractable Axonal Neuropathy With Multifocal Peripheral Nerve Swelling in Neuromyelitis Optica Spectrum Disorders: A Case Report	Mult Scler Relat Disord . 2019 Oct;35:16-18.	Case report
80	Fujii T, Takase K, Honda H, et al	脳神経内科	Toxic Myopathy With Multiple Deletions in Mitochondrial DNA Associated With Long-Term Use of Oral Anti-Viral Drugs for Hepatitis B: A Case Study	Neuropathology . 2019 Apr;39(2):162-167.	Case report
81	Okadome T, Uehara T, Shinoda K, et al	脳神経内科	Creutzfeldt-Jakob disease-like diffusion-weighted imaging hyperintensity paralleled with neuropsychiatric symptoms in a patient with limbic encephalitis associated with anti-voltage-gated potassium channel complex antibodies	Clin Exp Neuroimmunol:2019 Jun;10(3):204-206.	Case report
82	Yokoyama J, Yamaguchi H, Kohge J, et al	脳神経内科	Brainstem posterior reversible encephalopathy syndrome in a case with Guillain-Barré syndrome	Clin Exp Neuroimmunol:2019 Jun;10(4):267-271.	Case report
83	Kira J, Isobe N	脳神経内科	Helicobacter Pylori Infection and Demyelinating Disease of the Central Nervous System	J Neuroimmunol . 2019 Apr 15;329:14-19.	Review

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
84	Fujii T, Honda H, Yamasaki R, et al	脳神経内科	Multiple mtDNA Deletions Due to Mitochondrion Toxicity of Anti-Hepadnaviral Drugs: Comments to the Letter From J. Finsterer	Neuropathology . 2019 Aug;39(4):326-327.	Letter
85	Zhao Y, Yamasaki R, Yamaguchi H, et al	脳神経内科	Oligodendroglial Connexin 47 Regulates Neuroinflammation Upon Autoimmune Demyelination in a Novel Mouse Model of Multiple Sclerosis	Proc Natl Acad Sci U S A . 2020 Jan 28;117(4):2160-2169.	Original Article
86	Masaki K, Sonobe Y, Ghadge G, et al	脳神経内科	RNA-binding protein altered expression and mislocalization in multiple sclerosis	Neurol Neuroimmunol Neuroinflamm:2020 Mar;7(3):e704.	Original Article
87	Yoshimura S, Thome R, Konno S, et al	脳神経内科	IL-9 Controls Central Nervous System Autoimmunity by Suppressing GM-CSF Production	J Immunol . 2020 Feb 1;204(3):531-539.	Original Article
88	Shinoda K, Matsushita T, Nakamura Y, et al	脳神経内科	Contribution of Cortical Lesions to Cognitive Impairment in Japanese Patients With Multiple Sclerosis	Sci Rep . 2020 Mar 23;10(1):5228.	Original Article
89	Ogata H, Isobe N, Zhang X, et al	脳神経内科	Unique HLA Haplotype Associations in IgG4 Anti-Neurofascin 155 Antibody-Positive Chronic Inflammatory Demyelinating Polyneuropathy	J Neuroimmunol . 2020 Feb 15;339:577139.	Original Article
90	Sakoda A, Matsushita T, Nakamura Y, et al	脳神経内科	Environmental Risk Factors for Multiple Sclerosis in Japanese People	Mult Scler Relat Disord . 2020 Feb;38:101872.	Original Article
91	Fujii T, Yamasaki R, Miyachi Y, et al	脳神経内科	Central Nervous System-Specific Antinuclear Antibodies in Patients With Multiple Sclerosis	J Neurol Sci . 2020 Feb 15;409:116619.	Original Article
92	Yamasaki R, Yonekawa T, Inamizu S, et al	脳神経内科	A Case of Overlapping Adult-Onset Linear Scleroderma and Parry-Romberg Syndrome Presenting With Widespread Ipsilateral Neurogenic Involvement	Neuropathology . 2020 Feb;40(1):109-115.	Case report
93	Abe K, Hosokawa K, Tsutsui H.	循環器内科	Traditional Screening Tool in the Era of Modern Treatment for Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension	Int J Cardiol . 2019 Apr 1;280:182-183.	Letter
94	Enzan N, Matsushima S, Ide T, et al.	循環器内科	Spirolactone Use Is Associated With Improved Outcomes in Heart Failure With Mid-Range Ejection Fraction	ESC Heart Fail . 2020 Feb;7(1):339-347.	Original Article
95	Enzan N, Ohtani K, Nagaoka K, et al.	循環器内科	Left Atrial Involvement of Cardiac Sarcoidosis Manifesting as Left Atrial Re-Entrant Tachycardia	Eur Heart J Cardiovasc Imaging . 2019 Aug 1;20(8):948.	Case report
96	Fujino T, Imamura T, Nguyen A, et al.	循環器内科	Short-Term Efficacy and Safety of Tolvaptan in Patients With Left Ventricular Assist Devices	ASAIO J . 2020 Mar;66(3):253-257.	Original Article
97	Hiasa K, I, Kaku H, Inoue H, et al.	循環器内科	Age-Related Differences in the Clinical Characteristics and Treatment of Elderly Patients With Atrial Fibrillation in Japan - Insight From the ANAFIE (All Nippon AF In Elderly) Registry	Circ J . 2020 Feb 25;84(3):388-396.	Original Article
98	Hosokawa K, Abe K, Tsutsui H	循環器内科	Use of Direct Oral Anticoagulants Prevents Increase in Pulmonary Vascular Resistance and Incidence of Clinical Worsening in Patients With Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension	Thromb Res . 2019 Aug;180:43-46.	Original Article
99	Ikeda S, Matsushima S, Okabe K, et al.	循環器内科	Blockade of L-type Ca ²⁺ Channel Attenuates Doxorubicin-Induced Cardiomyopathy via Suppression of CaMKII-NF- κ B Pathway	Sci Rep . 2019 Jul 8;9(1):9850.	Original Article
100	Kamada K, Hosokawa K, Abe K, et al.	循環器内科	Peripheral Pulmonic Stenosis in SAPHO Syndrome	Eur Heart J . 2020 Jan 21;41(4):518a.	Case report

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
101	Matsushima S, Kaku H, Enzan N, et al.	循環器内科	Electrocardiographic Left Ventricular Hypertrophy is Independently Associated with Better Long-Term Outcomes in Dilated Cardiomyopathy Patients	Circulation Reports. 2019 May;1:248-254.	Original Article
102	Ohtani K, Fujino T, Ide T, et al.	循環器内科	Recovery From Left Ventricular Dysfunction Was Associated With the Early Introduction of Heart Failure Medical Treatment in Cancer Patients With Anthracycline-Induced Cardiotoxicity	Clin Res Cardiol . 2019 Jun;108(6):600-611.	Original Article
103	Ohtani K, Ide T, Hiasa K, et al.	循環器内科	Cardioprotective Effect of Renin-Angiotensin Inhibitors and β -Blockers in Trastuzumab-Related Cardiotoxicity	Clin Res Cardiol . 2019 Oct;108(10):1128-1139.	Original Article
104	Tsutsui H, Isobe M, Ito H, et al.	循環器内科	JCS 2017/JHFS 2017 Guideline on Diagnosis and Treatment of Acute and Chronic Heart Failure - Digest Version	Circ J. 2019 Sep 25;83(10):2084-2184.	Original Article
105	Tsutsui H, Momomura S. I, Yamashina A, et al.	循環器内科	Efficacy and Safety of Ivabradine in Japanese Patients With Chronic Heart Failure - J-SHIFT Study	Circ J. 2019 Sep 25;83(10):2049-2060.	Original Article
106	Tsutsui H, Momomura S. I., Masuyama T, et al.	循環器内科	Tolerability, Efficacy, and Safety of Bisoprolol vs. Carvedilol in Japanese Patients With Heart Failure and Reduced Ejection Fraction - The CIBIS-J Trial	Circ J. 2019 May 24;83(6):1269-1277.	Original Article
107	Tatsuta M, Kan-o K, Ishii Y et al.	呼吸器科	Effects of Cigarette Smoke on Barrier Function and Tight Junction Proteins in the Bronchial Epithelium: Protective Role of Cathelicidin LL-37	Respir Res . 2019 Nov 9;20(1):251.	Original Article
108	Otsubo K., Sakai K., Takeshita M et al.	呼吸器科	Genetic Profiling of Non-Small Cell Lung Cancer at Development of Resistance to First- Or Second-Generation EGFR-TKIs by CAPP-Seq Analysis of Circulating Tumor DNA	Oncologist . 2019 Aug;24(8):1022-1026.	Original Article
109	Yoneshima Y., Tanaka K., Shiraishi Y et al.	呼吸器科	Safety and Efficacy of PD-1 Inhibitors in Non-Small Cell Lung Cancer Patients Positive for Antinuclear Antibodies	Lung Cancer . 2019 Apr;130:5-9.	Original Article
110	Ikematsu Y., Tanaka K., Yanagihara T et al.	呼吸器科	Immune Checkpoint Protein and Cytokine Expression by T Lymphocytes in Pleural Effusion of Cancer Patients Receiving anti-PD-1 Therapy	Lung Cancer . 2019 Dec;138:58-64.	Original Article
111	Iwama E, Sakai K, Hidaka N et al	呼吸器科	Longitudinal Monitoring of Somatic Genetic Alterations in Circulating Cell-Free DNA During Treatment With Epidermal Growth Factor Receptor-Tyrosine Kinase Inhibitors	Cancer . 2020 Jan 1;126(1):219-227.	Original Article
112	Asanoma K, Hori E, Yoshida S, et al	産科婦人科	Mutual Suppression Between BHLHE40/BHLHE41 and the MIR301B-MIR130B Cluster Is Involved in Epithelial-To-Mesenchymal Transition of Endometrial Cancer Cells	Oncotarget. 2019 Jul 23;10(45):4640-4654.	Original Article
113	Yahata H, Sonoda K, Okugawa K, et al	産科婦人科	Survey of the Desire to Have Children and Engage in Sexual Activity After Trachelectomy Among Young Japanese Women With Early-Stage Cervical Cancer	J Obstet Gynaecol Res . 2019 Nov;45(11):2255-2259.	Original Article
114	Yagi H, Onoyama I, Asanoma K, et al	産科婦人科	G α 13-mediated LATS1 Down-Regulation Contributes to Epithelial-Mesenchymal Transition in Ovarian Cancer	FASEB J. 2019 Dec;33(12):13683-13694.	Original Article
115	Kato M, Onoyama I, Yoshida S, et al	産科婦人科	Dual-specificity Phosphatase 6 Plays a Critical Role in the Maintenance of a Cancer Stem-Like Cell Phenotype in Human Endometrial Cancer	Int J Cancer .2020 Mar; : 1-13	Original Article
116	Minami C, Tsunematsu R, Hiasa K, et al	産科婦人科	Successful Surgical Treatment for Congenital Vaginal Agenesis Accompanied by Functional Uterus: A Report of Two Cases	Gynecol Minim Invasive Ther.2019 Jun; 8(2): 76-79	Case report
117	Imachi Y, Hidaka N, Kai S, et al	総合周産期母子医療センター(母性胎児)	Prolongation of Second Twin's Delivery Until Term: A Rare Case of Delayed-Interval Delivery	Clin Med Res . 2019 Jun;17(1-2):37-40.	Case report

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
118	Oga S, Hachisuga M, Hidaka N, et al	総合周産期母子医療センター(母性胎児)	Gastric Cancer During Pregnancy With Placental Involvement: Case Report and Review of Published Works	Obstet Gynecol Sci. 2019 Sep;62(5):357-361	Case report
119	Kobayashi Y, Nakano T, Hidaka N, et al	総合周産期母子医療センター(母性胎児)	A Rare Case of Fetal Meconium Peritonitis Developing Coagulopathy In utero	J Med Ultrasound . 2019 Aug 7;27(4):205-207.	Case report
120	Mizuguchi S, Motomura Y, Maki J, et al.	小児科	Excessive Tracheal Length in Patients With Congenital Tracheal Stenosis	Ann Thorac Surg . 2019 Jul;108(1):138-145.	Original Article
121	Kato W, Nishio M, To Y, et al.	小児科	MOB1 Regulates Thymocyte Egress and T-cell Survival in Mice in a YAP1-independent Manner	Genes Cells . 2019 Jul;24(7):485-495.	Original Article
122	Ochiai M, Kurata H, Inoue H, et al.	小児科	Transcutaneous Blood Gas Monitoring Among Neonatal Intensive Care Units in Japan	Pediatr Int . 2020 Feb;62(2):169-174.	Original Article
123	Sasazuki M, Sakai Y, Kisawa Y, et al.	小児科	Decision-making Dilemmas of Paediatricians: A Qualitative Study in Japan	BMJ Open . 2019 Aug 19;9(8):e026579.	Original Article
124	Yamamura K, Sakamoto I, Morihana E, et al.	小児科	Elevated Non-Invasive Liver Fibrosis Markers and Risk of Liver Carcinoma in Adult Patients After Repair of Tetralogy of Fallot	Int J Cardiol . 2019 Jul 15;287:121-126.	Original Article
125	Yasuoka K, Inoue H, Ochiai M, et al.	小児科	Late-Onset Circulatory Collapse and Risk of Cerebral Palsy in Extremely Preterm Infants	J Pediatr . 2019 Sep;212:117-123.e4.	Original Article
126	Matsuoka W, Ide K, Matsudo T, et al.	小児科	The Occurrence and Risk Factors of Inappropriately Deep Tip Position of Microcuff Pediatric Endotracheal Tube During PICU Stay: A Retrospective Cohort Pilot Study	Pediatr Crit Care Med. 2019 Nov;20(11):e510-e515.	Original Article
127	Sonoda M, Ishimura M, Eguchi K, et al.	小児科	Prognostic Factors for Survival of Herpes Simplex Virus-Associated Hemophagocytic Lymphohistiocytosis	Int J Hematol . 2020 Jan;111(1):131-136.	Original Article
128	Nanishi E, Hoshina T, Sanefuji M, et al.	小児科	A Nationwide Survey of Pediatric-onset Japanese Encephalitis in Japan	Clin Infect Dis. 2019 May 30;68(12):2099-2104.	Original Article
129	Kurata H, Ochiai M, Inoue H, et al.	小児科	Inflammation in the Neonatal Period and Intrauterine Growth Restriction Aggravate Bronchopulmonary Dysplasia	Pediatr Neonatol . 2019 Oct;60(5):496-503.	Original Article
130	Nakashima K, Hasegawa D, Tomizawa D, et al.	小児科	Characteristics and Outcomes of Children With Acute Myeloid Leukemia and Down Syndrome Who Are Ineligible for Clinical Trials Due to Severe Comorbidities	Pediatr Blood Cancer . 2019 Nov;66(11):e27942.	Original Article
131	Yamamura K, Yuen D, Hickey EJ, et al.	小児科	Right Ventricular Fibrosis Is Associated With Cardiac Remodelling After Pulmonary Valve Replacement	Heart. 2019 Jun;105(11):855-863.	Original Article
132	Ichimiya Y, Sonoda M, Ishimura M, et al.	小児科	Hemorrhagic Pneumonia as the First Manifestation of Anhidrotic Ectodermal Dysplasia With Immunodeficiency	J Clin Immunol . 2019 Apr;39(3):264-266.	Case report
133	Ishimura M, Eguchi K, Shiraishi A, et al.	小児科	Systemic Epstein-Barr Virus-Positive T/NK Lymphoproliferative Diseases With SH2D1A/ XIAP Hypomorphic Gene Variants	Front Pediatr. 2019 May 21;7:183.	Case report
134	Ochiai M, Nagata H, Tanaka K, et al.	小児科	Critical Association of Pallister-Hall Syndrome and Congenital Heart Disease	Pediatr Int . 2019 Aug;61(8):827-828.	Case report

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
135	Okuzono S, Fukai R, Noda M, et al.	小児科	An Acute Encephalopathy With Reduced Diffusion in BRAF-associated Cardio-Facio-Cutaneous Syndrome	Brain Dev . 2019 Apr;41(4):378-381.	Case report
136	Mori S, Nagata H, Sakamoto I, et al.	総合周産期母子医療センター(新生児内科)	Successful Stent Implantation for Acute Take-Off Left Coronary Artery Stenosis	Pediatr Int . 2019 Sep;61(9):933-935.	Case report
137	Matsushita Y, Sakai Y, Torio M, et al.	総合周産期母子医療センター(新生児内科)	Association of Perinatal Factors of Epilepsy in Very Low Birth Weight Infants, Using a Nationwide Database in Japan	J Perinatol . 2019 Nov;39(11):1472-1479.	Original Article
138	Oda T, Nagata H, Nakashima Y, et al.	総合周産期母子医療センター(新生児内科)	Clinical Utility of Highly Purified 10% Liquid Intravenous Immunoglobulin in Kawasaki Disease	J Pediatr . 2019 Nov;214:227-230.	Original Article
139	Kinjo T, Inoue H, Kusuda T, et al.	総合周産期母子医療センター(新生児内科)	Chemokine Levels Predict Progressive Liver Disease in Down Syndrome Patients With Transient Abnormal Myelopoiesis	Pediatr Neonatol . 2019 Aug;60(4):382-388.	Original Article
140	Ideno N, Yamaguchi H, Okumura T, et al.	第一外科	A Pipeline for Rapidly Generating Genetically Engineered Mouse Models of Pancreatic Cancer Using in Vivo CRISPR-Cas9-mediated Somatic Recombination	Lab Invest . 2019 Jul;99(8):1233-1244.	Original Article
141	Miyasaka Y, Nakamura M	第一外科	ASO Author Reflections: Impact of Neoadjuvant Chemotherapy With Gemcitabine Plus Nab-Paclitaxel for Borderline Resectable Pancreatic Cancer on Surgical Outcomes	Ann Surg Oncol . 2019 Dec;26(Suppl 3):739-740.	Original Article
142	Onimaru M, Inoue H, Bechara R, et al.	第一外科	Clinical Outcomes of Per-Oral Endoscopic Tumor Resection for Submucosal Tumors in the Esophagus and Gastric Cardia	Dig Endosc . 2020 Mar;32(3):328-336.	Original Article
143	Abe T, Blackford AL, Tamura K, et al.	第一外科	Deleterious Germline Mutations Are a Risk Factor for Neoplastic Progression Among High-Risk Individuals Undergoing Pancreatic Surveillance	J Clin Oncol . 2019 May 1;37(13):1070-1080.	Original Article
144	Gotoh Y, Ohtsuka T, Nakamura S, et al.	第一外科	Genetic Assessment of Recurrent Pancreatic High-Risk Lesions in the Remnant Pancreas: Metachronous Multifocal Lesion or Local Recurrence?	Surgery . 2019 Apr;165(4):767-774.	Original Article
145	Miyasaka Y, Ohtsuka T, Matsuda R, et al.	第一外科	High-risk Lesions in the Remnant Pancreas: Fate of the Remnant Pancreas After Pancreatic Resection for Pancreatic Cancer and Intraductal Papillary Mucinous Neoplasms	Surg Today . 2019 Jul 25.	Review
146	Miyasaka Y, Ohtsuka T, Kimura R, et al.	第一外科	Neoadjuvant Chemotherapy With Gemcitabine Plus Nab-Paclitaxel for Borderline Resectable Pancreatic Cancer Potentially Improves Survival and Facilitates Surgery	Ann Surg Oncol . 2019 May;26(5):1528-1534.	Original Article
147	Noguchi H, Tsuchimoto A, Ueki K, et al.	第一外科	One-year Outcome of Everolimus With Standard-dose Tacrolimus Immunosuppression in De Novo ABO-incompatible Living Donor Kidney Transplantation: A Retrospective, Single-center, Propensity Score Matching Comparison With Mycophenolate in 42 Transplants	Transplant Direct . 2019 Dec 12;6(1):e514.	Original Article
148	Nakamura S, Sadakari Y, Ohtsuka T, et al.	第一外科	Pancreatic Juice Exosomal MicroRNAs as Biomarkers for Detection of Pancreatic Ductal Adenocarcinoma	Ann Surg Oncol . 2019 Jul;26(7):2104-2111.	Original Article
149	Noguchi H, Kakuta Y, Okumi M, et al.	第一外科	Pure Versus Hand-Assisted Retroperitoneoscopic Live Donor Nephrectomy: A Retrospective Cohort Study of 1508 Transplants From Two Centers	Surg Endosc . 2019 Dec;33(12):4038-4047.	Original Article
150	Nakayama H, Ohuchida K, Yonenaga A, et al.	第一外科	S100P Regulates the Collective Invasion of Pancreatic Cancer Cells Into the Lymphatic Endothelial Monolayer	Int J Oncol . 2019 Jul;55(1):211-222.	Original Article
151	Mori H, Kubo M, Kai M, Yamada M, et al.	第一外科	T-bet + Lymphocytes Infiltration as an Independent Better Prognostic Indicator for Triple-Negative Breast Cancer	Breast Cancer Res Treat . 2019 Aug;176(3):569-577.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
152	Kameda C, Kawabata R, Koga C, et al	第一外科	Clinicopathological Features of Remnant Gastric Cancer (RGC): Detection of RGC After Five Years of Follow-Up Was Associated With a Poor Prognosis	Am Surg. 2019 Apr 1;85(4):384-389.	Original Article
153	Morisaki T, Kubo M, Umebayashi M, et al	第一外科	Usefulness of the nCounter Analysis System to Monitor Immune-related Biomarkers in PBMCs During Anti-PD-1 Therapy	Anticancer Res . 2019 Aug;39(8):4517-4523.	Original Article
154	Ohtsuka T, Tomosugi T, Kimura R, et al	第一外科	Clinical Assessment of the GNAS Mutation Status in Patients With Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm of the Pancreas	Surg Today. 2019 Nov;49(11):887-893.	Review
155	Onimaru M, Inoue H, Ikeda H, et al	第一外科	Combination of Laparoscopic and Endoscopic Approaches for Neoplasia With Non-Exposure Technique (CLEAN-NET) for Gastric Submucosal Tumors: Updated Advantages and Limitations	Ann Transl Med . 2019 Oct;7(20):582.	Review
156	Mano Y, Yoshio S, Shoji H, et al.	第二外科	Bone Morphogenetic Protein 4 Provides Cancer-Supportive Phenotypes to Liver Fibroblasts in Patients With Hepatocellular Carcinoma	J Gastroenterol . 2019 Nov;54(11):1007-1018.	Original Article
157	Yoshiya S, Fukuzawa K, Inokuchi S, et al.	第二外科	Efficacy of Neoadjuvant Chemotherapy in Distal Pancreatectomy With En Bloc Celiac Axis Resection (DP-CAR) for Locally Advanced Pancreatic Cancer	J Gastrointest Surg . 2019 Jul 19(オンライン)	Original Article
158	Ikegami T, Yoshizumi T, Tsutsui Y, et al.	第二外科	Extensive Thrombectomy as a Legitimate Strategy in Living Donor Liver Transplantation With Advanced Portal Vein Thrombosis	Liver Transpl . 2019 Dec;25(12):1768-1777	Original Article
159	Ikegami T, Yoshizumi T, Harimoto N, et al.	第二外科	Splenectomy as Flow Modulation Strategy and Risk Factors of De Novo Portal Vein Thrombosis in Adult-to-Adult Living Donor Liver Transplantation	Liver Transpl . 2019 Aug;25(8):1281-1283	Letter
160	Ikegami T, Yoshizumi T, Soejima Y, et al.	第二外科	Effective and Safe Living Donor Hepatectomy Under Intermittent Inflow Occlusion and Outflow Pressure Control	J Gastrointest Surg . 2019 Jul;23(7):1529-1530	Letter
161	Itoh S, Yugawa K, Shimokawa M, et al.	第二外科	Prognostic Significance of Inflammatory Biomarkers in Hepatocellular Carcinoma Following Hepatic Resection	BJS Open. 2019 Apr 29;3(4):500-508.	Original Article
162	Itoh S, Yoshizumi T, Sakata , et al.	第二外科	Slow Gait Speed Is a Risk Factor for Complications After Hepatic Resection	J Gastrointest Surg . 2019 Sep;23(9):1810-1816	Original Article
163	Yoshizumi T, Harada N, Mori M, et al.	第二外科	Biliary Stricture: The Achilles Heel of Pediatric Living Donor Liver Transplantation	Transplantation . 2019 Sep;103(9):1758-1759	Letter
164	Yoshizumi T, Mori M, et al.	第二外科	Portal flow modulation in living donor liver transplantation: review with a focus on splenectomy	Surg Today . 2020 Jan;50(1):21-29.	Review
165	Yugawa K, Itoh S, Kurihara T, et al.	第二外科	Skeletal Muscle Mass Predicts the Prognosis of Patients With Intrahepatic Cholangiocarcinoma	Am J Surg . 2019 Nov;218(5):952-958.	Original Article
166	Yugawa K, Yoshizumi T, Mano Y, et al.	第二外科	Solitary Fibrous Tumor in the Liver: Case Report and Literature Review	Surg Case Rep . 2019 Apr 24;5(1):68. (オンライン)	Case report
167	Imai D, Maeda T, Shimokawa M, et al.	第二外科	Prognostic Nutritional Index Is Superior as a Predictor of Prognosis Among Various Inflammation-Based Prognostic Scores in Patients With Hepatocellular Carcinoma After Curative Resection	Hepatol Res . 2020 Jan;50(1):101-109	Original Article
168	Imai D, Maeda T, Wang H, et al.	第二外科	Elevation of Mac-2 Binding Protein Glycosylation Isomer After Hepatectomy Is Associated With Post-Hepatectomy Liver Failure, Total Pringle Time, and Renal Dysfunction	Ann Gastroenterol Surg . 2019 Jul 8;3(5):515-522	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
169	Imai D, Yoshizumi T, Okano S, et al.	第二外科	IFN- γ Promotes Epithelial-Mesenchymal Transition and the Expression of PD-L1 in Pancreatic Cancer	J Surg Res . 2019 Aug;240:115-123.	Original Article
170	Itoh S, Yoshizumi T, Yugawa K, et al.	第二外科	Impact of Immune Response on Outcomes in Hepatocellular Carcinoma: Association With Vascular Formation	Hepatology . 2020 Feb 29(オンライン)	Original Article
171	Toshima T, Yoshizumi T, Fujimoto y, et al.	第二外科	Prognostic Impact of Osteopenia in Patients Who Underwent Living Donor Liver Transplantation for Hepatocellular Carcinoma	World J Surg . 2020 Jan;44(1):258-267.	Original Article
172	Ikegami T, Yoshizumi T, Tomiyama, et al.	第二外科	Extensive Portal Thrombectomy With Secure Shunt Ligation Should Be More Strongly Emphasized in the Real-World Setting	J Hepatol . 2020 Jan;72(1):199-201	Letter
173	Oki E, Emi Y, Yamanaka T, et al.	第二外科	Randomised Phase II Trial of mFOLFOX6 Plus Bevacizumab Versus mFOLFOX6 Plus Cetuximab as First-Line Treatment for Colorectal Liver Metastasis (ATOM Trial)	Br J Cancer . 2019 Jul;121(3):222-229.	Original Article
174	Ando K, Yokochi T, Mukai A, et al.	第二外科	Tumor Suppressor KIF1B β Regulates Mitochondrial Apoptosis in Collaboration With YME1L1	Mol Carcinog . 2019 Jul;58(7):1134-1144.	Original Article
175	Nakashima Y, Saeki H, Hu Q, et al.	第二外科	Skeletal Muscle Loss After Esophagectomy Is an Independent Risk Factor for Patients With Esophageal Cancer	Ann Surg Oncol . 2020 Feb;27(2):492-498.	Original Article
176	Hu Q, Mimori K.	第二外科	ASO Author Reflections: ARL4C and Peritoneal Dissemination in Gastric Cancer	Ann Surg Oncol . 2019 Dec;26(Suppl 3):547.	Original Article
177	Sasaki S, Ikeda T, Okihara SI, et al.	第二外科	Principles and Development of Collagen-Mediated Tissue Fusion Induced by Laser Irradiation	Sci Rep . 2019 Jun 28;9(1):9383.	Original Article
178	Sasaki S, Oki E, Saeki H, et al.	第二外科	Skeletal Muscle Loss During Systemic Chemotherapy for Colorectal Cancer Indicates Treatment Response: A Pooled Analysis of a Multicenter Clinical Trial (KSCC 1605-A)	Int J Clin Oncol . 2019 Oct;24(10):1204-1213.	Original Article
179	Hirose K, Oki E, Shimose T, et al.	第二外科	Comparison of Computed Tomography Imaging Analyses for Evaluation After Chemotherapy in Patients With Colorectal Cancer: A Retrospective Pooled Analysis of Six Phase II Clinical Trials	Int J Clin Oncol . 2019 Nov;24(11):1397-1405.	Original Article
180	Hirose K, Saeki H, Nakashima Y, et al.	第二外科	Successful Multidisciplinary Treatment Including Repeated Metastasectomy for Recurrent Squamous Cell Esophageal Carcinoma: A Case Report	Surg Case Rep . 2019 May 3;5(1):72.	Case report
181	Kawazoe T, Taniguchi K.	第二外科	The Sprouty/Spred Family as Tumor Suppressors: Coming of Age	Cancer Sci . 2019 May;110(5):1525-1535.	Review
182	Kinoshita F, Toyokawa G, Matsubara T et al.	第二外科	Prognosis of Early-stage Part-solid and Pure-solid Lung Adenocarcinomas	Anticancer Res . 2019 May;39(5):2665-2670.	Original Article
183	Takada K, Toyokawa G, Yoneshima Y et al.	第二外科	18 F-FDG Uptake in PET/CT Is a Potential Predictive Biomarker of Response to anti-PD-1 Antibody Therapy in Non-Small Cell Lung Cancer	Sci Rep . 2019 Sep 16;9(1):13362.	Original Article
184	Takada K, Shimokawa M, Tanaka K et al.	第二外科	Association Between Peripheral Blood Markers and Immune-Related Factors on Tumor Cells in Patients With Resected Primary Lung Adenocarcinoma	PLoS One . 2019 Jun 4;14(6):e0217991.	Original Article
185	Takada K, Shimokawa M, Akamine T et al.	第二外科	Association of Low Body Mass Index With Poor Clinical Outcomes After Resection of Non-small Cell Lung Cancer	Anticancer Res . 2019 Apr;39(4):1987-1996.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
186	Furuyama T, Yamashita S, Yoshiya K, et al.	第二外科	The Controlling Nutritional Status Score Is Significantly Associated With Complete Ulcer Healing in Patients With Critical Limb Ischemia	Ann Vasc Surg . 2020 Jan 7;S0890-5096(20)30008-X.	Original Article
187	Morisaki K, Furuyama T, Yoshiya K, et al.	第二外科	Frailty in Patients With Abdominal Aortic Aneurysm Predicts Prognosis After Elective Endovascular Aneurysm Repair	J Vasc Surg . 2019 Dec 24;S0741-5214(19)32547-9.	Original Article
188	Morisaki K, Furuyama T, Matsubara Y, et al.	第二外科	External Validation of CLI Frailty Index and Assessment of Predictive Value of Modified CLI Frailty Index for Patients With Critical Limb Ischemia Undergoing Infrainguinal Revascularization	Vascular . 2019 Aug;27(4):405-410.	Original Article
189	Yoshino S, Inoue K, Yoshiya K, et al.	第二外科	Cystic Arterial Disease Located Only in the Media of the Popliteal Artery: A Case Report	Ann Vasc Dis . 2019 Dec 25;12(4):530-533.	Case report
190	Kurose S, Inoue K, Yoshino S, et al.	第二外科	Successful Bridge Therapy With Initial Endovascular Repair for Arterioenteric Fistula Resulting From Pseudoaneurysm Rupture With Massive Gastrointestinal Hemorrhage After Pancreas Transplantation	Ann Vasc Surg . 2019 Jul;58:379.e15-379.e22.	Case report
191	Hisamatsu Y, Yamagata M, Miyazaki M, et al.	第二外科	Impact of Bowel Resection on Postoperative Mortality in Patients With Obturator Hernias	Hernia . 2019 Apr;23(2):317-322.	Original Article
192	Baba S, Motomura G, Ikemura S, et al.	整形外科	Quantitative Evaluation of Bone-Resorptive Lesion Volume in Osteonecrosis of the Femoral Head Using Micro-Computed Tomography	Joint Bone Spine . 2020 Jan;87(1):75-80.	Original Article
193	Hatanaka H, Motomura G, Ikemura S, et al.	整形外科	Volume of Hip Synovitis Detected on Contrast-Enhanced Magnetic Resonance Imaging Is Associated With Disease Severity After Collapse in Osteonecrosis of the Femoral Head	Skeletal Radiol . 2019 Aug;48(8):1193-1200.	Original Article
194	Kawano K, Motomura G, Ikemura S, et al.	整形外科	Long-term Hip Survival and Factors Influencing Patient-Reported Outcomes After Transtrochanteric Anterior Rotational Osteotomy for Osteonecrosis of the Femoral Head: A Minimum 10-year Follow-Up Case Series	Mod Rheumatol . 2020 Jan;30(1):184-190.	Original Article
195	Kubo Y, Motomura G, Ikemura S, et al.	整形外科	Effects of Anterior Boundary of the Necrotic Lesion on the Progressive Collapse After Varus Osteotomy for Osteonecrosis of the Femoral Head	J Orthop Sci . 2020 Jan;25(1):145-151.	Original Article
196	Kobayakawa K, Ohkaw Y, Yoshizaki S, et al.	整形外科	Macrophage Centripetal Migration Drives Spontaneous Healing Process After Spinal Cord Injury	Sci Adv . 2019 May 15;5(5):eaav5086.	Original Article
197	Yoshizaki S, Kijima K, Hara M, et al.	整形外科	Tranexamic Acid Reduces Heme Cytotoxicity via the TLR4/TNF Axis and Ameliorates Functional Recovery After Spinal Cord Injury	J Neuroinflammation . 2019 Jul 29;16(1):160.	Original Article
198	Saizawa H, Okada S, Kawaguchi K et al.	整形外科	Prone Position Surgery for a Professional Sumo Wrestler With Thoracic Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament Resulting in Intraoperative Brachial Plexus Injury by Hypertrophic Pectoral Muscles	J Clin Neurosci . 2019 May;63:227-230.	Case report
199	Saiwai H, Okada S, Hayashida M et al.	整形外科	Surgery-related Predictable Risk Factors Influencing Postoperative Clinical Outcomes for Thoracic Myelopathy Caused by Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament: A Multicenter Retrospective Study	J Neurosurg Spine . 2019 Dec 27;1-7.	Original Article
200	Matsumoto Y, Matsunobu A, Kawaguchi K, et al.	整形外科	Clinical Results of Carbon-Ion Radiotherapy With Separation Surgery for Primary Spine/Paraspinal Sarcomas	Int J Clin Oncol . 2019 Nov;24(11):1490-1497.	Case report
201	Endo M, Setsu N, Fujiwara T, et al.	整形外科	Diagnosis and Management of Subcutaneous Soft Tissue Sarcoma	Curr Treat Options Oncol . 2019 May 25;20(7):54.	Review
202	Dancsok AR, Setsu N, Gao D, et al.	整形外科	Expression of Lymphocyte Immunoregulatory Biomarkers in Bone and Soft-Tissue Sarcomas	Mod Pathol . 2019 Dec;32(12):1772-1785.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
203	Nakagawa M, Nakatani F, Matsunaga H, et al	整形外科	Selective Inhibition of Mutant IDH1 by DS-1001b Ameliorates Aberrant Histone Modifications and Impairs Tumor Activity in Chondrosarcoma	Oncogene . 2019 Oct;38(42):6835-6849.	Original Article
204	Yamada H, Tshuru T, Otshuka T, et al	整形外科	Abatacept Reduces Disease Activity of Rheumatoid Arthritis Independently of Modulating Anti-Citrullinated Peptide Antibody Production	Immunol Med . 2020 Jan 29;1-5.	Original Article
205	Akasaki Y, Goto N, Okazaki K, et al.	整形外科	The Influence of Post-Operative Knee Coronal Alignment Parameters on Long-Term Patient-Reported Outcomes After Closed-Wedge High Tibial Osteotomy	J Orthop . 2020 Jan 29;20:177-180.	Original Article
206	Akasaki Y, Kurakazu I, Hayashida M, et al.	整形外科	FOXO1 Transcription Factor Regulates Chondrogenic Differentiation Through Transforming Growth Factor β 1 Signaling	J Biol Chem . 2019 Nov 15;294(46):17555-17569.	Original Article
207	Akasaki Y, Kuwashima U, Okazaki K, et al.	整形外科	Patient Reported Outcomes After High Tibial Osteotomy Show Comparable Results at Different Ages in the Mid-Term to Long-Term Follow-Up	J Orthop Sci . 2019 Sep;24(5):855-860.	Original Article
208	Akasaki Y, Goto N, Okazaki K, et al.	整形外科	Alignment Factors Affecting the Medial Meniscus Extrusion Increases the Risk of Osteoarthritis Development	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc . 2019 Aug;27(8):2617-2623.	Original Article
209	Senju T, Okada T, Takeuchi N	整形外科	Biomechanical Analysis of Four Different Medial Row Configurations of Suture Bridge Rotator Cuff Repair	Clin Biomech (Bristol, Avon) . 2019 Oct;69:191-196.	Original Article
210	Fukushi JI, Tsushima H, Matsumoto Y, et al	整形外科	Influence of Dioxin-Related Compounds on Physical Function in Yusho Incident Victims	Heliyon . 2019 Oct 23;5(10):e02702.	Original Article
211	Tachibana T, Fujii M, Kitamura K et al.	整形外科	Does Acetabular Coverage Vary Between the Supine and Standing Positions in Patients With Hip Dysplasia?	Clin Orthop Relat Res . 2019 Nov;477(11):2455-2466.	Original Article
212	Kiyohara M, Hamai S, Gondo H, et al.	整形外科	Tibiofemoral Kinematics in Healthy and Osteoarthritic Knees During Twisting	J Orthop . 2020 Mar 29;21:213-217.	Original Article
213	Komiyama K, Fukushi JI, Motomura G, et al.	整形外科	Does High Hip Centre Affect Dislocation After Total Hip Arthroplasty for Developmental Dysplasia of the Hip?	Int Orthop . 2019 Sep;43(9):2057-2063.	Original Article
214	Kiyohara M, Hamai S, Hara D, et al.	整形外科	Do Component Position and Muscle Strength Affect the Cup-Head Translation During Gait After Total Hip Arthroplasty?	Eur J Orthop Surg Traumatol . 2019 Aug;29(6):1263-1269.	Original Article
215	Komiyama K, Hamai S, Ikebe S, et al.	整形外科	In Vivo Kinematic Analysis of Replaced Hip During Stationary Cycling and Computer Simulation of Optimal Cup Positioning Against Prosthetic Impingement	Clin Biomech (Bristol, Avon) . 2019 Aug;68:175-181.	Original Article
216	Yakushiji K, Fujita K, Tanaka S, et al.	整形外科	Cross-cultural Adaptation, Reliability and Validity of the Japanese Version of the Hospital for Special Surgery Hip Replacement Expectations Survey	J Orthop Sci . 2019 Aug 2;S0949-2658(19)30208-8.	Original Article
217	Yoshimoto K, Hamai S, Higaki H, et al.	整形外科	Dynamic Hip Kinematics Before and After Periacetabular Osteotomy in Patients With Dysplasia	J Orthop Sci . 2020 Mar;25(2):247-254.	Original Article
218	Nishimura A, Nishimura K, Onozuka D, et al.	脳神経外科	Development of Quality Indicators of Stroke Centers and Feasibility of Their Measurement Using a Nationwide Insurance Claims Database in Japan — J-ASPECT Study —	Circ J. 2019 Oct 25;83(11):2292-2302.	Original Article
219	Arimura K, Iihara K, Satow T, et al.	脳神経外科	Safety and Feasibility of Neuroendovascular Therapy for Elderly Patients: Analysis of Japanese Registry of Neuroendovascular Therapy 3	Neurol Med Chir (Tokyo). 2019 Aug 15;59(8):305-312.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
220	Shimogawa T, Sakaguchi H, Kikuchi T, et al.	脳神経外科	Therapeutic Effects of Combined Cell Transplantation and Locomotor Training in Rats With Brain Injury	NPJ Regen Med. 2019 Jun 5;4:13.	Original Article
221	Kada A, Ogasawara K, Kitazono T, et al.	脳神経外科	National Trends in Outcomes of Ischemic Stroke and Prognostic Influence of Stroke Center Capability in Japan, 2010-2016	Int J Stroke. 2019 Oct 25;1747493019884526.	Original Article
222	Kurogi R, Kada A, Ogasawara K, et al.	脳神経外科	Effects of Case Volume and Comprehensive Stroke Center Capabilities on Patient Outcomes of Clipping and Coiling for Subarachnoid Hemorrhage	J Neurosurg. 2020 Mar 13;1-11.	Original Article
223	Hata N, Mizoguchi M, Kuga D, et al.	脳神経外科	First-line Bevacizumab Contributes to Survival Improvement in Glioblastoma Patients Complementary to Temozolomide	J Neurooncol. 2020 Feb;146(3):451-458.	Original Article
224	Miura S, Miyata R, Matsumoto S, et al.	脳神経外科	Quality Management Program of Stroke Rehabilitation Using Adherence to Guidelines: A Nationwide Initiative in Japan	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2019 Sep;28(9):2434-2441.	Original Article
225	Ohara T, Uehara T, Sato S, et al.	脳神経外科	Small-Vessel Occlusion Is a High-Risk Etiology for Early Recurrent Stroke After Transient Ischemic Attack	Int J Stroke. 2019 Dec;14(9):871-877.	Original Article
226	Kakita H, Yoshimura S, Uchida K, et al.	脳神経外科	Impact of Endovascular Therapy in Patients With Large Ischemic Core: Subanalysis of Recovery by Endovascular Salvage for Cerebral Ultra-Acute Embolism Japan Registry 2	Stroke. 2019 Apr;50(4):901-908.	Original Article
227	Yamashita Y, Tanoue Y, Sonoda H, et al.	心臓血管外科	Comparison of cardiac energetics after transcatheter and surgical aortic valve replacements	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2019 Apr 1;28(4):587-593.	Original Article
228	Yamashita Y, Oishi Y, Motomatsu Y, et al.	心臓血管外科	Thoracic endografting increases cardiac afterload and leads to left ventricular hypertrophy in dogs	Eur J Cardiothorac Surg. 2019 Apr 1;55(4):618-625.	Original Article
229	Oishi Y, Sonoda H, Ushijima T, et al.	心臓血管外科	Single-stage hybrid total arch replacement for extended arch aneurysms	J Vasc Surg. 2019 Jun;69(6):1719-1725.	Original Article
230	Tatewaki H, Hirata Y, Tanoue Y, et al.	心臓血管外科	Pediatric Biventricular Assist Device for Myocarditis and Complicated Left Ventricular Thrombus	Ann Thorac Surg. 2019 May;107(5):e307-e308.	Case report
231	Morishige S, Takahashi-Yanaga F, Ishikane S, et al.	心臓血管外科	2,5-Dimethylcelecoxib prevents isoprenaline-induced cardiomyocyte hypertrophy and cardiac fibroblast activation by inhibiting Akt-mediated GSK-3 phosphorylation	Biochem Pharmacol. 2019 Oct;168:82-90.	Original Article
232	Tanoue Y, Fujino T, Tatewaki H, et al.	心臓血管外科	Jarvik 2000 axial flow ventricular assist device in right single ventricle after Fontan operation	J Artif Organs. 2019 Dec;22(4):338-340.	Case report
233	Ushijima T, Tanoue Y, Mitsuo H, et al.	心臓血管外科	Successful off-pump surgical release for extrinsic compression of outflow graft obstruction of a left ventricular assist device	Eur J Cardiothorac Surg. 2020 Feb 1;57(2):402-403.	Case report
234	Oishi Y, Kimura S, Sonoda H, et al.	心臓血管外科	Single-Stage Hybrid Arch Repair for Patients with Shaggy Aorta	Aorta (Stamford). 2019 Dec;7(6):176-178.	Case report
235	Obata S, Ieiri S, Akiyama T, et al.	小児外科、生育外科、小腸移植外科	Nationwide Survey of Outcome in Patients With Extensive Aganglionosis in Japan	Pediatr Surg Int. 2019 May;35(5):547-550.	Original Article
236	Obata S, Ieiri S, Akiyama T, et al.	小児外科、生育外科、小腸移植外科	The Outcomes of Transanal Endorectal Pull-Through for Hirschsprung's Disease According to the Mucosectomy-Commencing Points: A Study Based on the Results of a Nationwide Survey in Japan	J Pediatr Surg. 2019 Dec;54(12):2546-2549.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
237	Sozaki R, Kawakubbo N, Matsuura T, et al	小児外科、生 育外科、小腸 移植外科	Navigation Surgery Using Indocyanine Green Fluorescent Imaging for Hepatoblastoma Patients	Pediatr Surg Int. 2019 May;35(5):551-557.	Original Article
238	Konishi K, Mizuochi T, Yanagi T, et al	小児外科、生 育外科、小腸 移植外科	Clinical Features, Molecular Genetics, and Long-Term Outcome in Congenital Chloride Diarrhea: A Nationwide Study in Japan	J Pediatr. 2019 Nov;214:151-157.e6.	Original Article
239	Fumino S, Tajiri T, Usui N, et al	小児外科、生 育外科、小腸 移植外科	Japanese Clinical Practice Guidelines for Sacrococcygeal Teratoma, 2017	Pediatr Int. 2019 Jul;61(7):672-678.	Original Article
240	Terui K, Usui N, Tazuke Y et al	小児外科、生 育外科、小腸 移植外科	Impact of Nutrition in the Treatment of Congenital Diaphragmatic Hernia	Pediatr Int. 2019 May;61(5):482-488.	Original Article
241	Sonoda S, Yamaza H, Kirino K, Yoshimaru et al	小児外科、生 育外科、小腸 移植外科	Therapeutic Potential of Spheroids of Stem Cells From Human Exfoliated Deciduous Teeth for Chronic Liver Fibrosis and Hemophilia A	Pediatr Surg Int . 2019 Dec;35(12):1379-1388.	Original Article
242	Taguchi T.	小児外科、生 育外科、小腸 移植外科	Sacrococcygeal Teratoma: Nationwide Survey and Guidelines	Pediatr Int. 2019 Jul;61(7):633.	Original Article
243	Fukuta A, Obata S, Jimbo T, et al	小児外科、生 育外科、小腸 移植外科	Continuous Skill Training Using the Disease-Specific Endoscopic Surgical Simulator to Promote Young Pediatric Surgeons: Learning Curve for Trainees	J Laparoendosc Adv Surg Tech A. 2019 Oct;29(10):1334-1341.	Original Article
244	Yanagi Y, Yoshimaru K, Matsuura T, et al	小児外科、生 育外科、小腸 移植外科	The Outcome of Real-Time Evaluation of Biliary Flow Using Near-Infrared Fluorescence Cholangiography With Indocyanine Green in Biliary Atresia Surgery	J Pediatr Surg. 2019 Dec;54(12):2574-2578.	Original Article
245	Esumi G, Matsuura T, Hayashida M, et al	小児外科、生 育外科、小腸 移植外科	Efficacy of Prophylactic Negative Pressure Wound Therapy After Pediatric Liver Transplant	Exp Clin Transplant . 2019 Jun;17(3):381-386.	Original Article
246	Iwanaka T, Yamaza T, Sonoda S, et al	小児外科、生 育外科、小腸 移植外科	A Model Study for the Manufacture and Validation of Clinical-Grade Deciduous Dental Pulp Stem Cells for Chronic Liver Fibrosis Treatment	Stem Cell Res Ther. 2020 Mar 25;11(1):134.	Original Article
247	Taguchi T, Yanagi Y, Yoshimaru K, et al	総合周産期母 子医療セン ター(新生児 外科)	Regenerative Medicine Using Stem Cells From Human Exfoliated Deciduous Teeth (SHED): A Promising New Treatment in Pediatric Surgery	Surg Today. 2019 Apr;49(4):316-322.	Review
248	Tsuji G, Hashimoto-Hachiya A, Yen VH et al.	皮膚科	Aryl Hydrocarbon Receptor Activation Downregulates IL-33 Expression in Keratinocytes via Ovo-Like 1	J Clin Med. 2020 Mar 24;9(3):891.	Original Article
249	Tsuji G, Hashimoto-Hachiya A, Yen VH et al.	皮膚科	Metformin Inhibits IL-1 β Secretion via Impairment of NLRP3 Inflammasome in Keratinocytes: Implications for Preventing the Development of Psoriasis	Cell Death Discov. 2020 Mar 4;6:11.	Original Article
250	Ito T, Kaku-Ito Y, Murata M, et al.	皮膚科	Immunohistochemical BRAF V600E Expression and Intratumor BRAF V600E Heterogeneity in Acral Melanoma: Implication in Melanoma-Specific Survival	J Clin Med. 2020 Mar 4;9(3):690.	Original Article
251	Murata M, Ito T, Tanaka Y, et al.	皮膚科	OVOL2-Mediated ZEB1 Downregulation May Prevent Promotion of Actinic Keratosis to Cutaneous Squamous Cell Carcinoma	J Clin Med. 2020 Feb 25;9(3):618.	Original Article
252	Furue M, Furue K, Tsuji G, et al.	皮膚科	Interleukin-17A and Keratinocytes in Psoriasis	Int J Mol Sci. 2020 Feb 13;21(4):1275.	Review
253	Furue M, Uizii D, Nakahara T et al.	皮膚科	Implications of IL-13R α 2 in Atopic Skin Inflammation	Allergol Int. 2020 Feb 6;S1323-8930(20)30011-3.	Review

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
254	Mitamura Y, Nunomura S, Furue M, et al.	皮膚科	IL-24: A New Player in the Pathogenesis of Pro-Inflammatory and Allergic Skin Diseases	Allergol Int. 2020 Jan 21;S1323-8930(19)30200-X.	Review
255	Furue K, Ito T, Tanaka Y, et al.	皮膚科	The EGFR-ERK/JNK-CCL20 Pathway in Scratched Keratinocytes May Underpin Koebnerization in Psoriasis Patients	Int J Mol Sci. 2020 Jan 9;21(2):434.	Original Article
256	Ito T, Kaku-Ito Y, Murata M, et al.	皮膚科	Intra- And Inter-Tumor BRAF Heterogeneity in Acral Melanoma: An Immunohistochemical Analysis	Int J Mol Sci. 2019 Dec 8;20(24):6191.	Original Article
257	Furue M, Tsuji G.	皮膚科	Chloracne and Hyperpigmentation Caused by Exposure to Hazardous Aryl Hydrocarbon Receptor Ligands	Int J Environ Res Public Health. 2019 Dec 3;16(23):4864.	Review
258	Tanaka Y, Uchi H, Ito T, Furue M.	皮膚科	Indirubin-pregnane X receptor-JNK Axis Accelerates Skin Wound Healing	Sci Rep. 2019 Dec 3;9(1):18174.	Original Article
259	Tanaka Y, Uchi H, Furue M.	皮膚科	Antioxidant Cinnamaldehyde Attenuates UVB-induced Photoaging	J Dermatol Sci. 2019 Dec;96(3):151-158.	Original Article
260	Furue K, Ito T, Tsuji G, et al.	皮膚科	The CCL20 and CCR6 Axis in Psoriasis	Scand J Immunol. 2020 Mar;91(3):e12846.	Original Article
261	Furue M, Hashimoto-Hachiya A, Tsuji G.	皮膚科	Aryl Hydrocarbon Receptor in Atopic Dermatitis and Psoriasis	Int J Mol Sci. 2019 Oct 31;20(21):5424.	Review
262	Yano-Takamori A, Tsuji G, Nakahara T, et al.	皮膚科	A Case of Atrophic Dermatofibroma Overexpressing Matrix Metalloproteinase-1	Dermatol. 2019 Oct 1;11(3):264-267.	Case report
263	Hashimoto-Hachiya A, Tsuji G, Furue M.	皮膚科	Antioxidants Cinnamaldehyde and Galactomyces Fermentation Filtrate Downregulate Senescence Marker CDKN2A/p16INK4A via NRF2 Activation in Keratinocytes	J Dermatol Sci. 2019 Oct;96(1):53-56.	Letter
264	Furue K, Ito T, Tsuji G, et al.	皮膚科	The IL-13-OVOL1-FLG Axis in Atopic Dermatitis	Immunology. 2019 Dec;158(4):281-286.	Review
265	Miake S, Tsuji G, Takemura M, et al.	皮膚科	IL-4 Augments IL-31/IL-31 Receptor Alpha Interaction Leading to Enhanced Ccl 17 and Ccl 22 Production in Dendritic Cells: Implications for Atopic Dermatitis	Int J Mol Sci. 2019 Aug 20;20(16):4053.	Original Article
266	Sato S, Chiba T, Nakahara T, et al.	皮膚科	Upregulation of IL-36 Cytokines in Folliculitis and Eosinophilic Pustular Folliculitis	Australas J Dermatol. 2020 Feb;61(1):e39-e45.	Original Article
267	Peng F, Tsuji G, Zhang JZ, et al.	皮膚科	Potential Role of PM 2.5 in Melanogenesis	Environ Int. 2019 Nov;132:105063.	Review
268	Takeuchi S, Furusyo N, Ono J, et al.	皮膚科	Serum Squamous Cell Carcinoma Antigen (SCCA)-2 Correlates With Clinical Severity of Pediatric Atopic Dermatitis in Ishigaki Cohort	J Dermatol Sci. 2019 Aug;95(2):70-75.	Original Article
269	Furue K, Ito T, Tsuji G, et al.	皮膚科	Does Mechanical Scratching Cause the Recruitment of T-helper 17 Cells in Atopic Dermatitis?	J Dermatol. 2019 Nov;46(11):e436-e437.	Original Article
270	Ulzii D, Kido-Nakahara M, Nakahara T, et al.	皮膚科	Scratching Counteracts IL-13 Signaling by Upregulating the Decoy Receptor IL-13R α 2 in Keratinocytes	Int J Mol Sci. 2019 Jul 6;20(13):3324.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
271	Wada-Ohno M, Ito T, et al.	皮膚科	Adjuvant Therapy for Melanoma	Curr Treat Options Oncol . 2019 Jun 24;20(8):63.	Review
272	Furue M, Ulzii D, Vu YH, et al.	皮膚科	Pathogenesis of Atopic Dermatitis: Current Paradigm	Iran J Immunol. 2019 Jun;16(2):97-107.	Review
273	Furue M, Kadono T.	皮膚科	The Contribution of IL-17 to the Development of Autoimmunity in Psoriasis	Innate Immun. 2019 Aug;25(6):337-343.	Review
274	Furue K, Ito T, Tanaka Y, et al.	皮膚科	Cyto/chemokine Profile of in Vitro Scratched Keratinocyte Model: Implications of Significant Upregulation of CCL20, CXCL8 and IL36G in Koebner Phenomenon	J Dermatol Sci. 2019 Apr;94(1):244-251.	Original Article
275	Furue K, Ito T, Tsuji G, et al.	皮膚科	Psoriasis and the TNF/IL23/IL17 Axis	G Ital Dermatol Venereol . 2019 Aug;154(4):418-424.	Review
276	Nakahara T, Konishi S, Yasukochi Y, et al.	皮膚科	Thrombocytopenia in a Psoriatic Patient Sequentially Treated With Adalimumab, Secukinumab and Ustekinumab	J Dermatol. 2019 May;46(5):e157-e158.	Original Article
277	Kitahara Y, Hojo S, Nomoto M, et al.	皮膚科	Pharmacokinetic Disposition of Topical phosphodiesterase-4 Inhibitor E6005 in Patients With Atopic Dermatitis	J Dermatolog Treat. 2019 Aug;30(5):466-470.	Original Article
278	Shiota M, Fujimoto N, Tsukahara S, et al	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	The Impact of Genetic Polymorphism on CYP19A1 in Androgen-Deprivation Therapy Among Japanese Men	Cancer Chemother Pharmacol . 2019 May;83(5):933-938.	Original Article
279	Shiota M, Fujimoto N, Tsukahara S, et al	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Genetic Polymorphism in Sex Hormone-binding Globulin With a Prognosis of Androgen Deprivation Therapy in Metastatic Prostate Cancer Among Japanese Men	Clin Genitourin Cancer. 2019 Jun;17(3):e387-e393.	Original Article
280	Shiota M, Ushijima M, Imada K, et al	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Cigarette Smoking Augments Androgen Receptor Activity and Promotes Resistance to Antiandrogen Therapy	Prostate. 2019 Jul;79(10):1147-1155.	Original Article
281	Tanegashima T, Togashi Y, Azuma K, et al	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Immune Suppression by PD-L2 Against Spontaneous and Treatment-Related Antitumor Immunity	Clin Cancer Res. 2019 Aug 1;25(15):4808-4819.	Original Article
282	Kobayashi S, Cho B, Huaulmé A, et al	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Assessment of Surgical Skills by Using Surgical Navigation in Robot-Assisted Partial Nephrectomy	Int J Comput Assist Radiol Surg. 2019 Aug;14(8):1449-1459.	Original Article
283	Shiota M, Nakamura M, Yokomizo A, et al	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Therapeutic Outcome of >10 Cycles of Cabazitaxel for Castration-resistant Prostate Cancer: A Multi-institutional Study	Anticancer Res . 2019 Aug;39(8):4411-4414.	Original Article
284	Shiota M, Nakamura M, Yokomizo A, et al	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Efficacy and Safety of 4-weekly Cabazitaxel for Castration-Resistant Prostate Cancer: A Multi-Institutional Study	Cancer Chemother Pharmacol . 2019 Sep;84(3):561-566.	Original Article
285	Kashiwagi E, Imada K, Monji K et al	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Psoas Muscle Volume Is Correlated With Sexual Activity and Erectile Dysfunction Among Patients With Localised Prostate Cancer	Andrologia. 2019 Oct;51(9):e13354.	Original Article
286	Shiota M, Kobayashi T, Kashiwagi E et al	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Prognostic Significance of Antihypertensive Agents in Men With Castration-Resistant Prostate Cancer	Urol Oncol. 2019 Nov;37(11):813.e21-813.e26.	Original Article
287	Shiota M, Nakamura M, Yokomizo A, et al	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Prognostic Impact of Prior Androgen Receptor Axis-targeting Agents in Cabazitaxel Chemotherapy After Docetaxel	Anticancer Res . 2020 Jan;40(1):335-339.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
288	Shiota M, Nakamura M, Yokomizo A, et al	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Prognostic Significance of Lactate Dehydrogenase in Cabazitaxel Chemotherapy for Castration-Resistant Prostate Cancer: A Multi-Institutional Study	Anticancer Drugs. 2020 Mar;31(3):298-303.	Original Article
289	Kashiwagi E, Shiota M, Masaoka H, et al	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Relationship Between Body Composition and Hormone Sensitivity for Androgen Deprivation Therapy in Patients With Metastatic Prostate Cancer	Prostate Int. 2020 Mar;8(1):22-26.	Original Article
290	Kato TA, Kanba S, Teo AR	精神科神経科	Defining Pathological Social Withdrawal: Proposed Diagnostic Criteria for Hikikomori	World Psychiatry . 2020 Feb;19(1):116-117.	Letter
291	Kato TA, Katsuki R, Kubo H, et al	精神科神経科	Development and Validation of the 22-item Tarumi's Modern-Type Depression Trait Scale: Avoidance of Social Roles, Complaint, and Low Self-Esteem (TACS-22)	Psychiatry Clin Neurosci . 2019 Aug;73(8):448-457.	Original Article
292	Yawata N, Awate S, Liu YC et al	眼科	Kinetics of Tear Fluid Proteins After Endothelial Keratoplasty and Predictive Factors for Recovery From Corneal Haze	J Clin Med . 2019 Dec 26;9(1):63.	Original Article
293	Funatsu J, Murakami Y, Nakatake S et al	眼科	Direct Comparison of Retinal Structure and Function in Retinitis Pigmentosa by Co-Registering Microperimetry and Optical Coherence Tomography	PLoS One . 2019 Dec 12;14(12):e0226097.	Original Article
294	Notomi S, Ishihara K, Efstathiou N et al	眼科	Genetic LAMP2 Deficiency Accelerates the Age-Associated Formation of Basal Lamellar Deposits in the Retina	Proc Natl Acad Sci U S A . 2019 Nov 19;116(47):23724-23734.	Original Article
295	Ishizu M, Murakami Y, Fujiwara K et al	眼科	Relationships Between Serum Antioxidant and Oxidant Statuses and Visual Function in Retinitis Pigmentosa	Invest Ophthalmol Vis Sci . 2019 Oct 1;60(13):4462-4468.	Original Article
296	Akiyama M, Ishigaki K, Sakaue S et al	眼科	Characterizing Rare and Low-Frequency Height-Associated Variants in the Japanese Population	Nat Commun . 2019 Sep 27;10(1):4393.	Original Article
297	Kaizu Y, Nakao S, Wada I et al	眼科	Microaneurysm Imaging using Multiple En Face Optical Coherence Tomography Angiography Image Averaging: Morphology and Visualization	Ophthalmology Retina. Vol4 2020 Feb 175-176	Original Article
298	Koyanagi Y, Akiyama M, Nishiguchi KM et al	眼科	Genetic Characteristics of Retinitis Pigmentosa in 1204 Japanese Patients	J Med Genet . 2019 Oct;56(10):662-670.	Original Article
299	Nakao S, Yoshimitsu M, Kaizu Y et al	眼科	Branch Retinal Artery Occlusion in The Untreated Contralateral Eye Following Aflibercept Injections during Heparin Treatment: Possible Contribution of a Heparin-induced Thrombocytopenia-like Condition	Am J Ophthalmol Case Rep . 2019 Aug 28;16:100549.	Case report
300	Hasegawa E, Takeda A, Yawata N et al	眼科	The Effectiveness of Adalimumab Treatment for Non-Infectious Uveitis	Immunol Med . 2019 Jun;42(2):79-83.	Review
301	Ueda E, Yasuda M, Fujiwara K et al	眼科	Trends in the Prevalence of Myopia and Myopic Maculopathy in a Japanese Population: The Hisayama Study	Invest Ophthalmol Vis Sci . 2019 Jul 1;60(8):2781-2786.	Original Article
302	Kaizu Y, Nakao S, Arima M et al	眼科	Flow Density in Optical Coherence Tomography Angiography Is Useful for Retinopathy Diagnosis in Diabetic Patients	Sci Rep . 2019 Jun 17;9(1):8668.	Original Article
303	Wada I, Oshima Y, Shiose S et al	眼科	Five-year Treatment Outcomes Following Intravitreal Ranibizumab Injections for Neovascular Age-Related Macular Degeneration in Japanese Patients	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol . 2019 Jul;257(7):1411-1418.	Original Article
304	Nakatake S, Murakami Y, Funatsu J et al	眼科	Early Detection of Cone Photoreceptor Cell Loss in Retinitis Pigmentosa Using Adaptive Optics Scanning Laser Ophthalmoscopy	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol . 2019 Jun;257(6):1169-1181.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
305	Komune N, Masuda S, Yasumatsu R et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Malignant Perivascular Epithelioid Cell Tumor Mimicking Jugular Foramen Schwannoma: A Case Report and Literature Review	Heliyon . 2020 Jan 17;6(1):e03200.	Case report
306	Matsuo M, Yasumatsu R, Masuda M et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Relationship Between Immune-Related Adverse Events and the Long-Term Outcomes in Recurrent/Metastatic Head and Neck Squamous Cell Carcinoma Treated With Nivolumab	Oral Oncol . 2020 Feb;101:104525.	Original Article
307	Jiromaru R, Yamamoto H, Yasumatsu R et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	HPV-related Sinonasal Carcinoma: Clinicopathologic Features, Diagnostic Utility of p16 and Rb Immunohistochemistry, and EGFR Copy Number Alteration	Am J Surg Pathol . 2020 Mar;44(3):305-315.	Original Article
308	Hongo T, Komune N, Shimamoto R et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	The Surgical Anatomy of Soft Tissue Layers in the Mastoid Region	Laryngoscope Investig Otolaryngol . 2019 May 7;4(3):359-364.	Original Article
309	Murakami D, Anan F, Masaki T et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Visceral Fat Accumulation Is Associated With Asthma in Patients With Type 2 Diabetes	J Diabetes Res . 2019 May 2;2019:3129286.	Original Article
310	Wakasaki T, Yasumatsu R, Masuda M et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Small Cell Carcinoma in the Head and Neck	Ann Otol Rhinol Laryngol . 2019 Nov;128(11):1006-1012.	Original Article
311	Wakasaki T, Yasumatsu R, Uchi R et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Outcome of Chemotherapy Following Nivolumab Treatment for Recurrent and/or Metastatic Head and Neck Squamous Cell Carcinoma	Auris Nasus Larynx . 2020 Feb;47(1):116-122.	Original Article
312	Komune N, Matsuo S, Miki K et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Microsurgical Anatomy of the Jugular Process as an Anatomical Landmark to Access the Jugular Foramen: A Cadaveric and Radiological Study	Oper Neurosurg (Hagerstown) . 2019 Apr 1;16(4):486-495.	Original Article
313	Yasumatsu R, Wakasaki T, Hashimoto K et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Monitoring the Neutrophil-To-Lymphocyte Ratio May Be Useful for Predicting the Anticancer Effect of Nivolumab in Recurrent or Metastatic Head and Neck Cancer	Head Neck . 2019 Aug;41(8):2610-2618.	Original Article
314	Komine N, Matsuo S, Nakagawa T	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	The Fascial Layers Attached to the Skull Base: A Cadaveric Study	World Neurosurg . 2019 Jun;126:e500-e509.	Original Article
315	Tsurumaru D, Nishimuta Y, Muraki T et al	放射線科	CT Gastrography "Wall-Carving Technique" of Gastric Cancer: Impact of Contrast Enhancement Based on Layer Depth	Jpn J Radiol . 2019 Aug;37(8):597-604.	Original Article
316	Kawakubo M, Yamasaki Y, Kamitani T, et al.	放射線科	Clinical Usefulness of Right Ventricular 3D Area Strain in the Assessment of Treatment Effects of Balloon Pulmonary Angioplasty in Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension: Comparison With 2D Feature-Tracking MRI	Eur Radiol . 2019 Sep;29(9):4583-4592.	Original Article
317	Nakashima T, Nonoshita T, Hirata H, et al.	放射線科	Adverse Events of Concurrent Radiotherapy and ALK Inhibitors for Brain Metastases of ALK-Rearranged Lung Adenocarcinoma	In Vivo . Jan-Feb 2020;34(1):247-253.	Original Article
318	Murayama Y, Hiwatashi A, Murayama R, et al	放射線科	Effectiveness of Therapeutic Standard Concentration Barium Enema for Colonic Diverticular Bleeding: Preliminary Results	Eur J Radiol Open . 2019 Apr 8;6:139-143.	Original Article
319	Kikuchi K, Hiwatashi A, Togao O, et al	放射線科	Intravoxel Incoherent Motion MR Imaging of Pediatric Intracranial Tumors: Correlation With Histology and Diagnostic Utility	AJNR Am J Neuroradiol . 2019 May;40(5):878-884.	Original Article
320	Yamashita K, Hiwatashi A, Togao O, et al	放射線科	Improved Visualization of Middle Ear Cholesteatoma With Computed Diffusion-weighted Imaging	Magn Reson Med Sci . 2019 Jul 16;18(3):233-237.	Original Article
321	Yamashita K, Hatae R, Hiwatashi A, et al.	放射線科	Predicting TERT Promoter Mutation Using MR Images in Patients With Wild-Type IDH1 Glioblastoma	Diagn Interv Imaging . Jul-Aug 2019;100(7-8):411-419.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
322	Togao O, Hiwatashi A, Yamashita K, et al.	放射線科	Acceleration-selective Arterial Spin Labeling MR Angiography for Visualization of Brain Arteriovenous Malformations	Neuroradiology . 2019 Sep;61(9):979-989.	Original Article
323	Tomiyama H, Nakao T, Murayama K, et al.	放射線科	Dysfunction Between Dorsal Caudate and Salience Network Associated With Impaired Cognitive Flexibility in Obsessive-Compulsive Disorder: A Resting-State fMRI Study	Neuroimage Clin . 2019 Sep;24:102004.	Original Article
324	Yamashita K, Hiwatashi A, Togao O, et al.	放射線科	Differences Between Primary Central Nervous System Lymphoma and Glioblastoma: Topographic Analysis Using Voxel-Based Morphometry	Clin Radiol . 2019 Oct;74(10):816.e1-816.e8.	Original Article
325	Akagi Y, Noguchi N, Hata N, et al.	放射線科	Correlation between prognosis of glioblastoma and choline/N-acetyl aspartate ratio in MR spectroscopy	Interdisciplinary Neurosurgery. 2019 Dec 18:100498	Original Article
326	Michiwaki Y, Hata N, Mizoguchi M, et al.	放射線科	Relevance of Calcification and Contrast Enhancement Pattern for Molecular Diagnosis and Survival Prediction of Gliomas Based on the 2016 World Health Organization Classification	Clin Neurol Neurosurg . 2019 Dec;187:105556.	Original Article
327	Nakamura Y, Liu Z, Fukumoto S, et al.	放射線科	Spinal Cord Involvement by Atrophy and Associations With Disability Are Different Between Multiple Sclerosis and Neuromyelitis Optica Spectrum Disorder	Eur J Neurol . 2020 Jan;27(1):92-99.	Original Article
328	Nishie A, Togao O, Tamura C, et al.	放射線科	In Vitro and In Vivo Detection of Drug-induced Apoptosis Using Annexin V-conjugated Ultrasmall Superparamagnetic Iron Oxide (USPIO): A Pilot Study	Magn Reson Med Sci . 2019 Apr 10;18(2):142-149.	Original Article
329	Asayama Y, Nishie A, Ishigami K, et al.	放射線科	Image Quality and Radiation Dose of Renal Perfusion CT With Low-Dose Contrast Agent: A Comparison With Conventional CT Using a 320-row System	Clin Radiol . 2019 Aug;74(8):650.e13-650.e18.	Original Article
330	Asayama Y, Nishie A, Ushijima Y, et al.	放射線科	Usefulness of a Pretreatment CT-Based Modified RENAL Nephrometry Score in Predicting Renal Function After Cryotherapy for T1a Renal Mass	Cardiovasc Intervent Radiol . 2019 Aug;42(8):1128-1134.	Original Article
331	Ishimatsu K, Nishie A, Takayama Y, et al.	放射線科	Amide Proton Transfer Imaging for Differentiating Benign Ovarian Cystic Lesions: Potential of First Time Right	Eur J Radiol . 2019 Nov;120:108656.	Original Article
332	Murayama R, Nishie A, Hida T, et al.	放射線科	Uptake of 18F-FDG in Adrenal Adenomas Is Associated With Unenhanced CT Value and Constituent Cells	Clin Nucl Med . 2019 Dec;44(12):943-948.	Original Article
333	Ishigami K, Nishie A, Nakayama T, et al.	放射線科	Superparamagnetic Iron-Oxide-Enhanced Diffusion-Weighted Magnetic Resonance Imaging for the Diagnosis of Intrapancreatic Accessory Spleen	Abdom Radiol (NY) . 2019 Oct;44(10):3325-3335.	Original Article
334	Ishigami K, Nishie A, Yamamoto T, et al.	放射線科	Imaging Features of Undifferentiated Carcinoma of the Pancreas	J Med Imaging Radiat Oncol . 2019 Oct;63(5):580-588.	Original Article
335	Hiraki Y, Okamoto D, Nishie A, et al.	放射線科	Papillary Renal Cell Carcinoma With Massive Hematoma Mimicking Hemangioma	Radiol Case Rep . 2019 Jun 6;14(8):1003-1006.	Case report
336	Fujita N, Nishie A, Asayama Y, et al.	放射線科	Hyperintense Liver Masses at Hepatobiliary Phase Gadoteric Acid-enhanced MRI: Imaging Appearances and Clinical Importance	Radiographics . Jan-Feb 2020;40(1):72-94.	Review
337	Kobayashi A, Shirozu K, Karashima Y, et al.	麻酔科蘇生科	Cerebral Infarction Detected After Laparoscopic Partial Hepatectomy	JA Clin Rep . 2019 Dec 12;5(1):82.	Case report
338	Asada M, Oishi E, Sakata S, et al.	麻酔科蘇生科	Serum Lipopolysaccharide-Binding Protein Levels and the Incidence of Cardiovascular Disease in a General Japanese Population: The Hisayama Study	J Am Heart Assoc . 2019 Nov 5;8(21):e013628.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
339	Miyazaki R, Sumie M, Kandabashi T, et al.	麻酔科蘇生科	Resting Pupil Size Is a Predictor of Hypotension After Induction of General Anesthesia	J Anesth . 2019 Oct;33(5):594-599.	Original Article
340	Miyazaki R, Hoka S, Yamaura K.	麻酔科蘇生科	Visceral Fat, but Not Subcutaneous Fat, Is Associated With Lower Core Temperature During Laparoscopic Surgery	PLoS One . 2019 Jun 12;14(6):e0218281.	Original Article
341	Kazuhiro Shirozu, Tetsuya Kai, Mizuho Fukumoto, et al.	麻酔科蘇生科	Required Time for Setting Up an Anaesthesia Machine Mounted on a Movable Ceiling Pendant	J Perioper Pract . 2019 Jul;29(7-8):237-241.	Original Article
342	Saki Okumura, Makoto Sumie, Yuji Karashima	麻酔科蘇生科	Perioperative Anesthetic Management of Intestinal Pseudo-Obstruction as a Complication of Pheochromocytoma	JA Clin Rep . 2019 May 23;5(1):35.	Case report
343	Matsushita K, Saritas T, Elwaz MB, et al.	麻酔科蘇生科	The Acute Kidney Injury to Chronic Kidney Disease Transition in a Mouse Model of Acute Cardiorenal Syndrome Emphasizes the Role of Inflammation	Kidney Int . 2020 Jan;97(1):95-105.	Original Article
344	Shirozu K, Murayama K, Yamaura K, et al.	麻酔科蘇生科	Pupillary Response as Assessment of Effective Seizure Induction by Electroconvulsive Therapy	J Vis Exp . 2019 Apr 11;(146).	Original Article
345	Ogawa E, Furusyo N, Nakamuta M, et al	総合診療科	Glecaprevir and Pibrentasvir for Japanese Patients With Chronic Hepatitis C Genotype 1 or 2 Infection: Results From a Multicenter, Real-World Cohort Study	Hepato Res . 2019 Jun;49(6):617-626.	Original Article
346	Ogawa E, Toyoda H, Iio E, et al	総合診療科	HCV Cure Rates Are Reduced in Patients With Active but Not Inactive Hepatocellular Carcinoma- A Practice Implication	Clin Infect Dis . 2019 Nov 28;ciz1160.	Original Article
347	Inatomi Y, Kadota H, Kamizono K et al	形成外科	Securing split-thickness skin grafts using negative-pressure wound therapy without suture fixation	J Wound Care. 2019 Aug 1;28(Sup8):S16-S21.	Original article
348	Hanada M, Kadota H, Yoshida S	形成外科	Large-defect Resurfacing: A Comparison of Skin Graft Results Following Sarcoma Resection and Traumatic Injury Repair	Wounds. 2019 Jul;31(7):184-192.	Original article
349	Hisanaga K, Kadota H, Fukushima S	形成外科	Toxic Shock Syndrome Caused by Staphylococcal Infection After Breast Implant Surgery: A Case Report and Literature Review	Ann Plast Surg. 2019 Sep;83(3):359-362.	Case report
350	Honsho M, Dorninger F, Abe Y, et al	検査部	Impaired Plasmalogen Synthesis Dysregulates Liver X Receptor-Dependent Transcription in Cerebellum	J Biochem . 2019 May 28;mvz043.	Original Article
351	Ogiwara K, Nogami K, Mizumachi K, et al	検査部	Hemostatic Assessment of Combined Anticoagulant Therapy Using Warfarin and Prothrombin Complex Concentrates in a Case of Severe Protein C Deficiency	Int J Hematol . 2019 Jun;109(6):650-656.	Original Article
352	Maekawa S, Takada S, Nambu H, et al	検査部	Linoleic Acid Improves Assembly of the CII Subunit and CIII2/CIV Complex of the Mitochondrial Oxidative Phosphorylation System in Heart Failure	Cell Commun Signal . 2019 Oct 16;17(1):128.	Original Article
353	Miki K, Morioka T, Noguchi N, et al	検査部	Initial experience of a telemetry EEG amplifier (Headset™) in the emergent diagnosis of nonconvulsive status epilepticus	Interdiscip Neurosurg(2019 Dec)18,1000486	Original Article
354	Ko Igami, Takeshi Uchiumi, Saori Ueda, et al	検査部	Characterization and function of medium and large extracellular vesicles from plasma and urine by surface antigens and Annexin V	PeerJ Analytical Chemistry(2020 Jan)2,e4.	Original Article
355	Murazaki H, Fukunaga J, Hirose T et al	放射線部	Dosimetric Assessment of a Single-Energy Metal Artifact Reduction Algorithm for Computed Tomography Images in Radiation Therapy	Radiol Phys Technol . 2019 Sep;12(3):268-276.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
356	Mikayama R, yabuuchi H, Matsumoto R, et al	放射線部	Development of a New Phantom Simulating Extracellular Space of Tumor Cell Growth and Cell Edema for Diffusion-Weighted Magnetic Resonance Imaging	MAGMA . 2020 Jan 3. doi: 10.1007/s10334-019-00823-6.	Original Article
357	Mikayama R, Shirasaka T, Yabuuchi H et al	放射線部	Effect of Scan Mode and Focal Spot Size in Airway Dimension Measurements for Ultra-High-Resolution Computed Tomography of Chronic Obstructive Pulmonary Disease: A COPD Gene Phantom Study	Phys Med . 2020 Feb;70:102-108.	Others
358	Hirose T, Arimura H, Fukunaga J et al	放射線部	Observer Uncertainties of Soft Tissue-Based Patient Positioning in IGRT	J Appl Clin Med Phys . 2020 Feb;21(2):73-81.	Original Article
359	Shirasaka T, Nagao M, Yamasaki Y et al	放射線部	Low Radiation Dose and High Image Quality of 320-Row Coronary Computed Tomography Angiography Using a Small Dose of Contrast Medium and Refined Scan Timing Prediction	J Comput Assist Tomogr . Jan/Feb 2020;44(1):7-12.	Original Article
360	Mizuguchi S, Motomura Y, Maki J, et al.	集中治療部	Tracheal Size and Morphology on the Reconstructed CT Imaging	Pediatr Crit Care Med . 2019 Aug;20(8):e366-e371.	Original Article
361	Takemoto R, Motomura Y, Kaku N, et al.	救命救急センター	Late-onset Sepsis and Encephalopathy After Bicycle-Spoke Injury: A Case Report	BMC Infect Dis . 2019 May 28;19(1):472.	Case report
362	Momii K, Hamai S, Motomura G	救命救急センター	Revascularization of the Necrotic Femoral Head After Traumatic Open Anterior Hip Dislocation in a Child: A Case Report	J Med Case Rep . 2019 Aug 16;13(1):254.	Case report
363	Takahashi Y, Tetsuhara K, Shimamoto R, et al.	救命救急センター	Fishing Spear Head Injury in a Child	Acute Med Surg . 2019 Dec 10;7(1):e470.	Others
364	Nagata T	救命救急センター	The Importance of Simulation Education for the Management of Traumatic Cardiac Injuries: A Case Series	Surg Case Rep . 2019 Dec 20;5(1):202.	Case report
365	Koga Y, Hirahashi M, Ohishi Y, et al.	病理診断科・病理部	Clinicopathological Features and Phenotypic Classification of De Novo-Type Colorectal Carcinomas Differ From Those of Colorectal Carcinomas Derived From Flat Adenomas	Pathol Int . 2019 Jun;69(6):331-340.	Original Article
366	Tsuruta S, Ohishi Y, Fujiwara M, et al.	病理診断科・病理部	Gastric Hepatoid Adenocarcinomas Are a Genetically Heterogenous Group; Most Tumors Show Chromosomal Instability, but MSI Tumors Do Exist	Hum Pathol . 2019 Jun;88:27-38.	Original Article
367	Tsuruta S, Kohashi K, Yamada Y, et al.	病理診断科・病理部	Solid-type Poorly Differentiated Adenocarcinoma of the Stomach: Deficiency of Mismatch Repair and SWI/SNF Complex	Cancer Sci . 2020 Mar;111(3):1008-1019.	Original Article
368	Yamamoto H, Ishihara S, Toda Y, et al.	病理診断科・病理部	Histone H3.3 Mutation in Giant Cell Tumor of Bone: An Update in Pathology	Med Mol Morphol. 2020 Mar;53(1):1-6	Review
369	Yoshimoto RU, Aijima R, Oda Y, et al.	病理診断科・病理部	Impaired Junctions and Invaded Macrophages in Oral Epithelia With Oral Pain	J Histochem Cytochem . 2019 Apr;67(4):245-256.	Original Article
370	Koutarou Matsumoto, Yasunobu Nohara, Yoshifumi	メディカル・インフォメーションセンター	Impact of a learning health system on acute care and medical complications after intracerebral hemorrhage	Learning Health Systems: 2020Mar;(オンライン)	Original Article
371	Tasuku Okui, Jinsang Park, Naoki Nakashima	メディカル・インフォメーションセンター	An Interrupted Time Series Analysis Method for Healthcare Data Using the INGARCH Model: An Application to Psychotropic Drug Prescription Data in Japan	Asian Pacific Journal of Health Economics and Policy; 2020Feb;2:2-12	Original Article
372	Fujita A*, Kan-o K*, Tonai K et al. *equal contribution	光学医療診療部	Inhibition of PI3K δ Enhances Poly I:C-Induced Antiviral Responses and Inhibits Replication of Human Metapneumovirus in Murine Lungs and Human Bronchial Epithelial Cells	Front Immunol . 2020 Mar 11;11:432.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
373	Handa S.S, Baba S, Yamashita K, 他	睡眠時無呼吸センター	The Severity of Obstructive Sleep Apnea Syndrome Cannot Predict the Accumulation of Brain Amyloid by Imaging With [11C]-Pittsburgh Compound B PET Computed Tomography in Patients With a Normal Cognitive Function	Ann Nucl Med 2019 July 33(7): 541-544	Original Article
374	Yamamoto U, Nishizaka M, Tsuda H 他	睡眠時無呼吸センター	Crossover Comparison Between CPAP and Mandibular Advancement Device With Adherence Monitor About the Effects on Endothelial Function, Blood Pressure and Symptoms in Patients With Obstructive Sleep Apnea	Heart Vessels . 2019 Oct;34(10):1692-1702.	Original Article
375	Suetsugu K, Mori Y, Yamamoto N et al.	薬剤部	Impact of CYP3A5, POR, and CYP2C19 Polymorphisms on Trough Concentration to Dose Ratio of Tacrolimus in Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation	Int J Mol Sci. 2019 May; 20(10): 2413.	Original Article
376	Fukuda M, Suetsugu K, Tajima S et al.	薬剤部	Neutrophil Gelatinase-Associated Lipocalin Is Not Associated with Tacrolimus-Induced Acute Kidney Injury in Liver Transplant Patients Who Received Mycophenolate Mofetil with Delayed Introduction of Tacrolimus	Int J Mol Sci. 2019 Jun; 20(12): 3103..	Original Article
377	Tsuchiya Y, Suetsugu K, Yamamoto N et al.	薬剤部	Simultaneous determination of plasma concentration of 12 oral molecular-targeted drugs by ultra-performance liquid chromatography-tandem mass spectrometry	Jpn J TDM: 2019 Sep; 36(3)105-116.	Original Article
378	Tajima S, Fu R, Shigematsu T et al.	薬剤部	Urinary Human Epididymis Secretory Protein 4 as a Useful Biomarker for Subclinical Acute Rejection Three Months after Kidney Transplantation	Int J Mol Sci. 2019 Oct; 20(19): 4699..	Original Article
379	Egashira N, Iwasaki K	薬剤部	Pharmacological effects of yokukansan on behavioral and psychological symptoms of dementia	Trad Kampo Med: 2019 Dec; 6(3):115-125.	Review
380	Tajima S, Yamamoto N, Masuda S	薬剤部	Clinical prospects of biomarkers for the early detection and/or prediction of organ injury associated with pharmacotherapy	Biochem Pharmacol: 2019 Dec; 170:113664.	Review
381	Ishida S, Morikawa H, Watanabe H et al.	薬剤部	Increasing diluent volume decreases bendamustine-induced venous irritation without reducing the therapeutic efficacy	Biol Pharm Bull: 2020 Mar; 43(3):488-492	Original Article
382	Moriyama T, Han HS, Kudo K et al	国際医療部	Role of International Tele-education with Live Surgery for Pre-clinical Medical Students	Proceedings of the APAN: Research Workshop 2019: April 2019; 48-53	Original Article
383	Sano T, Sanada T, Sotomaru Y et al	歯周病科	Ccr7 null mice are protected against diet-induced obesity via Ucp1 upregulation and enhanced energy expenditure	Nutr Metab (Lond). 2019; 16: 43. Published online 2019 Jul 4.	Original Article
384	Tetsuo F, Arioka M, Miura K et al	歯周病科	DIF-1 suppresses cyclin D1-induced cell proliferation of MCF-7 breast cancer cells by inhibiting S6K-mediated STAT3 synthesis	Cancer Science 110(12) . September 2019 with 27 Reads	Original Article
385	Arima M, Hsegawa D, Yoshida S et al.	歯内治療科	R-spondin 2 promotes osteoblastic differentiation of immature human periodontal ligament cells through the Wnt/ β -catenin signaling pathway	J Periodontal Res. 2019 Apr;54(2):143-153.	Original Article
386	Tomokiyo A, Wada N, Maeda H	歯内治療科	Periodontal Ligament Stem Cells: Regenerative Potency in Periodontium	Stem Cells Dev. 2019 Aug 1;28(15):974-985.	Review
387	Hosoya N, Takigawa T, Horie T et al.	歯内治療科	A review of the literature on the efficacy of mineral trioxide aggregate in conservative dentistry	Dent Mater J. 2019 Oct 2;38(5):693-700.	Review
388	T Zhou, Y Moriyama, Y Ayukawa, et al.	義歯補綴科	Injectable Porous Bioresorbable Composite Containing Fluvastatin for Bone Augmentation	ACS Biomaterials Science & Engineering; 2019 Aug; 5(10):5422-5429.	Original Article
389	I Narimatsu, I Atsuta, Y Ayukawa, et al.	義歯補綴科	Epithelial and connective tissue sealing around titanium implants with various typical surface finishes	ACS Biomaterials Science & Engineering; 2019 Aug; 5(10):4976-4984.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
390	Y Sakamoto, Y Ayukawa, A Furuhashi, et al.	義歯補綴科	Effect of Hydrothermal Treatment with Distilled Water on Titanium Alloy for Epithelial Cellular Attachment	Materials (Basel). 2019 Sep; 12(17): 2748.	Original Article
391	Y Ayukawa, W Oshiro, I Atsuta, et al.	義歯補綴科	Long term retention of gingival sealing around titanium implant with CaCl ₂ hydrothermal treatment. A rodent study	J Clin Med. 2019 Oct; 8(10): 1560.	Original Article
392	N Ueda, I Atsuta, Y Ayukawa, et al.	義歯補綴科	Novel Application Method for Mesenchymal Stem Cell Therapy Utilizing Its Attractant-Responsive Accumulation Property	Applied Sciences; 2019 Nov;9(22):4908.	Original Article
393	Sayuri Koga, Yoichiro Ogino, Natsue Fujikawa	咬合補綴科	Oral health-related quality of life and oral hygiene condition in patients with maxillofacial defects: A retrospective analysis	J Prosthodont Res . 2020 Feb 13;S1883-1958(19)30358-5.	Original Article
394	Nicha Tokavanich, Aditi Gupta, Akira Takahashi	咬合補綴科	A Three-Dimensional Analysis of Primary Failure of Eruption in Humans and Mice	Oral Dis . 2020 Mar;26(2):391-400.	Original Article
395	Tatsuya Matsuzaki, Yasunori Ayukawa, Yasuyuki	咬合補綴科	Effect of Post-Osseointegration Loading Magnitude on the Dynamics of Peri-Implant Bone: A Finite Element Analysis and in Vivo Study	J Prosthodont Res . 2019 Oct;63(4):453-459.	Original Article
396	Keiko Kudoh, Kiyoshi Koyano, Yoichiro Ogino	咬合補綴科	Maxillary Sinus Floor Augmentation Using Low-Crystalline Carbonate Apatite Granules With Simultaneous Implant Installation: First-in-Human Clinical Trial	J Oral Maxillofac Surg . 2019 May;77(5):985.e1-985.e11.	Original Article
397	Ishiguro N, Moriyama M, Furusho K, et al.	顎口腔外科	Activated M2 Macrophages Contribute to the Pathogenesis of IgG4-Related Disease via Toll-like Receptor 7/Interleukin-33 Signaling	Arthritis Rheumatol . 2020 Jan;72(1):166-178.	Original Article
398	Suzuki A, Sugiyama G, Ohyama Y, et al.	顔面口腔外科	Regulation of NF- κ B Signalling Through the PR55 β -RelA Interaction in Osteoblasts	In Vivo. 2020 Mar; 34(2):601-608.	Original Article
399	Yasuda, K., Yamada T., Mori, Y. et al.	顔面口腔外科	Identifying Differences Between a Straight Face and a Posed Smile Using the Homologous Modeling Technique and the Principal Component Analysis	J Craniofac Surg . Nov-Dec 2019;30(8):2378-2380.	Original Article
400	Yanai, R., Mori, Y., Kajioka, S. et al.	顔面口腔外科	Extracellular Calcium Stimulates Osteogenic Differentiation of Human Adipose-Derived Stem Cells by Enhancing Bone Morphogenetic protein-2 Expression	Cell Calcium 2019 Nov 83, (オンライン)	Original Article
401	Imari, K., Mori Y., Hayashi Y. et al.	顔面口腔外科	KCNMB3 in Spinal Microglia Contributes to the Generation and Maintenance of Neuropathic Pain in Mice	Int J Mol Med . 2019 Oct;44(4):1585-1593.	Original Article
402	Azusa Nakashima, Tomohiro Yamada, Goro Sugiyama, et al.	顔面口腔外科	Masseter Muscle Properties Differ between the Left and Right Sides in Mandibular Class III Patients with Asymmetry	J of Hard Tissue Biology 2020 Jan 29(1);25-30	Original Article
403	Hitosugi T, Tsukamoto M, Yokoyama T.	歯科麻酔科	Pneumonia Due to Aspiration of Povidine Iodine After Preoperative Disinfection of the Oral Cavity	Oral Maxillofac Surg . 2019 Dec;23(4):507-511.	Case report
404	Tsukamoto M, Taura S, Hitosugi T, et al.	歯科麻酔科	Comparison of the Performance of Mask Ventilation Between Face Masks With and Without Air Cushion	J Oral Maxillofac Surg . 2019 Dec;77(12):2465.e1-2465.e5.	Original Article
405	Awata N, Hitosugi T, Miki Y, et al.	歯科麻酔科	Usefulness of a Stool to Stabilize Dental Chairs for Cardiopulmonary Resuscitation (CPR)	BMC Emerg Med . 2019 Aug 8;19(1):46.	Original Article
406	Tsukamoto M, Hitosugi T, Yokoyama T.	歯科麻酔科	Comparison of Recovery in Pediatric Patients: A Retrospective Study	Clin Oral Investig 2019 Sep;23(9):3653-3656.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
407	Nagano S, Tsukamoto M, Yokoyama T.	歯科麻酔科	Anesthetic Management of a Patient With Fanconi Anemia	Anesth Prog 2019 Dec;66(4):218-220.	Case report
408	Chikui T, Panyarak W, Yamashita Y, et al	口腔画像診断科	Image Quality and ADC Assessment in Turbo Spin-Echo and Echo-Planar Diffusion-Weighted MR Imaging of Tumors of the Head and Neck	Acad Radiol . 2019 Oct;26(10):e305-e316.	Original Article
409	Shimizu M, Weerawanich W, Takeshita Y, et al	口腔画像診断科	Determination of Optimum Exposure Parameters for Dentoalveolar Structures of the Jaws Using the CB MercuRay System With Cluster Signal-To-Noise Analysis	Oral Radiol . 2019 Sep;35(3):260-271.	Original Article
410	Iyota K, Mizutani S, Oku S, et al.	高齢者歯科・全身管理歯科	A Cross-Sectional Study of Age-Related Changes in Oral Function in Healthy Japanese Individuals	International Journal of Environmental Research and Public Health, 2020 Feb 20;17(4):1376.	Original Article
411	Oku S, Takeshita T, Futatsuki T, et al.	高齢者歯科・全身管理歯科	Disrupted Tongue Microbiota and Detection of Nonindigenous Bacteria on the Day of Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation	PLoS Pathog. 2020 Mar 9;16(3):e1008348.	Original Article

小計5件

合計 411 件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
1	帯刀英樹, 坂本一郎, 平山和人, 他	心臓血管外科	成人期に到達した修正大血管転位症	胸部外科, 72(4):269-274, 2019	Original Article
2	渡邊裕之, 内田まやこ, 増田智先	薬剤部	がん薬物療法の適正化推進に向けた臨床薬学的研究	YAKUGAKU ZASSHI: 2019 Jun; 139(6):901-909.	Review
3	辻敏和, 永田健一郎, 佐々木恵一 他	薬剤部	アイトラッキング手法を用いた薬剤師の視線動向に基づく調剤エラーの発生メカニズムの解明	医療薬学: 2019 9月; 45(9):493-503.	Original Article
4	藤野翔香, 濱野さゆり, 糸山知宏他	歯内治療科	象牙芽細胞分化におけるドーパミンの発現	日本歯内療法学会誌. 2020年41巻1号p.31-34	Original Article
5	杉井英樹, 吉田晋一郎, 友清淳他	歯内治療科	未重合レジンセメントと未重合フロアブルレジンの結合力	日本歯科保存学会誌.2020年63巻1号p.44-51	Original Article
6	吉田晋一郎, 前田英史	歯内治療科	4-META/MMA-TBBレジン直接覆髄材への応用	日本歯内療法学会誌. 2019年40巻2号p.80-85	Review
7	木下康平, 大木郷資, 今井実喜生, 他	義歯補綴科	カスタムマウスガードの装着が起立動作能力に与える影響についての検討	スポーツ歯学; 2020 2月; 23(2):37-43.	Original Article
8	廣川 惇, 塚本真規, 一杉 岳, 他	歯科麻酔科	1番染色体異常の小児患者に対する口蓋形成術の麻酔経験	麻酔 68(12), 1335-1339.	Case report
9	一杉 岳, 細川瑠美子, 塚本真規, 他	歯科麻酔科	頭部手術の閉鎖操作により脳血流低下を認めた内頸動脈狭窄症患者 脳内酸素飽和度モニタリングの頭部手術における有用性	麻酔 69(2), 155-160	Case report
10	一杉 岳, 塚本真規, 横山 武志	歯科麻酔科	高度開口障害を伴ったペリツェウス・メルツパッハー病患者の麻酔経験	麻酔 69(2), 92-96	Case report
11	今城育美, 山田朋弘, 大山順子 他	顔面口腔外科	顎口腔領域に発生した悪性リンパ腫の臨床的検討	日本口腔科学会雑誌. 2019 Sep; 68: 212-219.	Original Article
12	古賀小百合, 荻野洋一郎, 藤川夏恵, 他	咬合補綴科	顎補綴患者への口腔衛生指導の効果 —PCRによる比較検証—	顎顔面補綴: 2019 Dec; 42(2): 78-82	Original Article
13	木下康平 大木郷資 今井実喜生他	咬合補綴科	カスタムメイドマウスガードの装着が起立動作能力に与える影響についての検討	スポーツ歯学	Original Article
14	板倉朋子, 酒田あゆみ, 渡邊恵利子, et al	検査部	判読結果比較機能を用いた脳波技師の施設内スキルコントロールの試み	日本臨床検査自動化学会誌(2019)44,34-40.	Original Article
15	野田望, 松本信也, 堀田多恵子	検査部	ミトコンドリア遺伝子検査が診断の確定に有用であったPearson症候群の一症例	医学検査(2019)68,596-601.	Case report

小計15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
16	酒田あゆみ	検査部	脳機能評価ツールとしての終夜脳波記録－見え たものから診るために－	睡眠医療(2019)13,335- 341.	Others
17	酒田あゆみ	検査部	てんかん臨床の窓から デジタル脳波ってなあ に？	Epilepsy(2019)13,36-38.	Others
18	後藤和人	検査部	B型肝炎ウイルスの再活性化の現状	福岡医学雑誌(2019)110- 1,1-7	Others
19	後藤和人, 康 東天	検査部	樹状細胞を活性化するミトコンドリア代謝の新た な仕組みの発見	バイオサイエンスとインダス トリー(2019)77-4,304-305.	Original Article
20	安川武宏, 康 東天	検査部	ミトコンドリアゲノムの複製・維持機構	実験医学(2019)37,24-30.	Others
21	後藤和人	検査部	B型肝炎の再活性化にご注意！	レジデントノート(2019)21,3.	Others
22	清祐麻紀子, 下野信行	検査部	ICTのための耐性菌対策お助けブック どのよう に生かす？検査結果のフィードバック方法 <i>Clostridioides (Clostridium) difficile</i>	INFECTION CONTROL(2019)326,119- 236.	Others
23	清祐麻紀子	検査部	一般細菌を目的とした検体別塗抹検査法 胃粘 膜、糞便、胆汁	臨床と微生物 (2019)46,549-552.	Others
24	酒田あゆみ(文 筆担当)	検査部	モノグラフ 臨床脳波を基礎から学ぶ人のために	モノグラフ 臨床脳波を基礎 から学ぶ人のために第2版 日本臨床神経生理学学会 (編)(2019)2,47-55.	Others
25	佐々木 翔一, 水田 幸恵, 松 尾 和雅, 他	麻酔科蘇生科	腸骨窩腎移植後患者での腹臥位腰椎手術にお ける移植腎圧迫回避の工夫	麻酔, 68, 8, 834-837, 2019.08.	Case report
26	石龍悠, 村上 祐介, 有馬充	眼科	調節麻痺屈折検査後に閉塞隅角緑内障を発症 した小児網膜疾患の2例	あたらしい眼科 36(8):1065-1069, 2019/08/31	Case report
27	石龍悠, 石川 桂二郎, 秋山 雅人	眼科	九州大学病院における10年間の強膜内陥術の 手術成績	臨床眼科 73(6):737-742, 2019/06/15	Original Article
28	秋山雅人	眼科	大規模ゲノムワイドスクリーニング	日本の眼科 90(12):38-39, 2019/12/20	Review
29	田邊美香	眼科	眼瞼・結膜:乳児血管腫の病態と治療	あたらしい眼科 36(11):1427-1428, 2019/11/30	Review
30	和田伊織, 中 尾新太郎	眼科	糖尿病網膜症の治療について教えてください	あたらしい眼科 .19(臨時増 刊号):106-110, 2019/11/30	Review

小計15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
31	八幡信代	眼科	【ぶどう膜炎の治療アップデート】オーダーメイド治療への展開	眼科グラフィック 8:600-605, 2019/10/16	Review
32	石川桂二郎	眼科	サイトメガロウイルス網膜炎	眼疾患アトラスシリーズ 後眼部アトラス 2:290-291, 2019/10/25	Review
33	長谷川英一	眼科	眼サルコイドーシス	眼疾患アトラスシリーズ 後眼部アトラス 2:1, 2019/10/25	Review
34	文野誠久、宗崎良太、田口智章、	小児外科	仙尾部奇形腫術後の身体発育に関する長期予後	小児外科 51(1):86-87, 2019	Original Article
35	谷口直之、甲斐裕樹、松尾進 et al	総合周産期母子医療センター(新生児外科)	自然経過観察と比例した乳児臍ヘルニアのテーブ固定療法の有用性-第46回九州小児外科学研究会アンケートから-	日本小児外科学会雑誌。55(5)920-926	Original Article
36	谷口直之、甲斐裕樹、松尾進、他	総合周産期母子医療センター(新生児外科)	自然経過観察例と比較した乳児臍ヘルニアのテーブ固定療法の有用性 第46回九州小児外科学研究会アンケートから	日本小児外科学会雑誌 第55回5号、pp920-926, 2019	Original Article
37	上野豪久、松浦俊治、奥山宏臣、他	総合周産期母子医療センター(新生児外科)	本邦小腸移植症例登録報告	移植 第54巻2-3号、pp129-134, 2019	Original Article
38	松浦俊治、高橋良彰、吉丸耕一朗、他	総合周産期母子医療センター(新生児外科)	新生児外科疾患の精神・身体発育 Hirschsprung病・類縁疾患	小児外科 第51巻1号、pp57-60, 2019	Original Article
39	吉丸耕一朗、松浦俊治、近藤琢也、他	総合周産期母子医療センター(新生児外科)	外来必携フォローのポイント 腹壁破裂・臍帯ヘルニア	小児外科 第51巻7号、pp712-716, 2019.	Original Article
40	松浦俊治、河野雄紀、高橋良彰、他	総合周産期母子医療センター(新生児外科)	腸管リハビリテーションと小腸移植	移植 第54巻6号、pp285-290, 2019	Original Article
41	田中佑、安野広三、早木千絵 他	心療内科	慢性疼痛患者への心身医学的介入の効果: 初診時における「過去の医療不信」が痛みの破局化の改善に関連する	慢性疼痛, 2019.12,38(1) 104-110	Original Article
42	深町享子、一之瀬喜美子、太田衣美 他	心療内科	看護師の交流分析に関する意識と慢性疼痛患者に対するストレス認知との関連	慢性疼痛, 2019.12,38(1) 134-139	Original Article
43	松村 友美子、吉田 祥子、加藤 聖子	産科婦人科	子宮内膜・体がんの幹細胞(SP細胞)の分離と培養法	実験医学 患者由来がんモデルを用いたがん研究実践ガイド.2019 Jul;別冊: 62-68	Review
44	矢幡 秀昭、権丈 洋徳、堀 絵美子 他	産科婦人科	鏡視下手術におけるRadioisotope法を用いた子宮頸癌センチネルリンパ節同定法の有用性の検討	九州臨床外科医学会々誌.2019 Nov;4(1): 11-16	Original Article
45	貴島 雅子、堀 絵美子、小玉 敬亮 他	産科婦人科	子宮頸癌に対する腹腔鏡下広汎子宮全摘出術および腹式広汎子宮全摘出術症例の比較検討	日本産科婦人科内視鏡学会雑誌.2019 Dec;35(2): 209-214	Original Article

小計15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
46	井上 令子, 江頭 活子, 宮崎 順秀 他	産科婦人科	顕微授精で生児を得たグランツマン血小板無力症の一例	福岡産科婦人科学会雑誌. 2019 Jul;43(1): 17-21	Case report
47	城戸 咲, 日高 庸博, 甲斐 翔太郎 他	総合周産期母子医療センター(母性胎児)	SLE女性における妊娠中の原疾患増悪および妊娠高血圧腎症の合併に関連する妊娠時所見の検討	日本周産期・新生児医学会雑誌. 2019 May;55(1): 92-97	Original Article
48	甲斐 翔太郎, 坂井 淳彦, 中野 嵩大 他	総合周産期母子医療センター(母性胎児)	Cesarean hysterectomyにおける両側総腸骨動脈バルーン閉塞術の有効性と合併症	日本周産期・新生児医学会雑誌. 2019 May;55(1): 108-113	Original Article
49	廣谷 賢一郎, 城戸 咲, 甲斐 翔太郎 他	総合周産期母子医療センター(母性胎児)	分娩を契機に二次性血栓性微小血管症を発症した全身性エリテマトーデス合併妊娠	日本周産期・新生児医学会雑誌. 2019 May;55(1): 187-193	Case report
50	猿渡 万里子, 城戸 咲, 甲斐 翔太郎 他	総合周産期母子医療センター(母性胎児)	胎児正中心を呈した胸部異所性腎合併先天性右横隔膜ヘルニアの出生前診断例	超音波医学. 2019 May; 46(3): 243-248	Case report
51	井手 大志, 蜂須賀 正紘, 泉りこ 他	総合周産期母子医療センター(母性胎児)	前置癒着胎盤を合併した子宮頸部狭窄部妊娠に対する術中大動脈閉塞バルーンカテーテルの使用経験	福岡産科婦人科学会雑誌. 2019 Jul;43(1): 22-27	Case report
52	前山良, 三ツ木健二, 田中 吏佐, 他	第一外科	Stage II大腸癌に対する術後補助化学療法の有効性について	共済医報 68(2):233-237	Original Article

小計7件

合計 52 件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 手順書の主な内容 目的、適用範囲、設置、役割・責務、構成、委員長及び副委員長、守秘義務、審査、審査結果、実施状況報告、迅速審査、情報公開、記録の保存、事務	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 規定の主な内容 目的、定義、対象者、対象事象、委員会、審議事項、ガイドライン、自己申告、審議・勧告等の手続、関係機関との連携、啓発運動、相談受付、守秘義務、情報公開、事務	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年8回
・ 研修の主な内容 臨床研究の概要（必須知識）、臨床研究の立案から遂行まで、研究医療と規制、企業主導治験の適正な遂行、ガイダンス「ARO次世代医療センターの活用法」、認定試験 臨床研究とPIの責務、研究倫理（臨床研究法/倫理指針/プレ審査/IRB）、医師主導治験、プロジェクト管理、試験デザイン、データ管理/モニタリング・監査/安全性管理、PI認定試験（I・II）	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

別紙のとおり

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数 1,221人

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
宮本 敏弘	血液・腫瘍・心血管内科	副診療科長	30年	
有信 洋二郎	免疫・膠原病・感染症内科	副診療科長	26年	
北園 孝成	消化管内科	診療科長	36年	
北園 孝成	腎・高血圧・脳血管内科	診療科長	36年	
小川 佳宏	内分泌代謝・糖尿病内科	診療科長	33年	
小川 佳宏	肝臓・膵臓・胆道内科	診療科長	33年	
須藤 信行	心療内科	診療科長	32年	
山崎 亮	脳神経内科	副診療科長	22年	
筒井 裕之	循環器内科	診療科長	38年	
松元 幸一郎	呼吸器科	副診療科長	31年	
加藤 聖子	産科婦人科	診療科長	35年	
大賀 正一	小児科	診療科長	36年	
中村 雅史	第一外科	診療科長	32年	
森 正樹	第二外科	診療科長	40年	
中島 康晴	整形外科	診療科長	30年	
溝口 昌弘	脳神経外科	副診療科長	30年	
塩瀬 明	心臓血管外科	診療科長	25年	
吉丸 耕一郎	小児外科	副診療科長	14年	
古江 増隆	皮膚科	診療科長	40年	
江藤 正俊	泌尿器科・前立腺・腎臓・副腎外科	診療科長	35年	
中尾 智博	精神科神経科	診療科長	25年	
園田 康平	眼科	診療科長	30年	
中川 尚志	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	診療科長	32年	
石神 康生	放射線科	診療科長	26年	
山浦 健	麻酔科蘇生科	診療科長	28年	
北園 孝成	総合診療科	診療科長	36年	
門田 英輝	形成外科	診療科長	23年	
水野 晋一	先端分子・細胞治療科	診療科長	31年	
小田 義直	病理診断科・病理部	診療科長	34年	
北園 孝成	救急科	診療科長	36年	
中島 康晴	リハビリテーション科	診療科長	30年	
福本 敏	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	診療科長	26年	
高橋 一郎	矯正歯科	診療科長	31年	
前田 英史	歯内治療科	診療科長	30年	

西村 英紀	歯周病科	診療科長	35年
古谷野 潔	義歯補綴科・咬合補綴科	診療科長	40年
中村 誠司	顎口腔外科	診療科長	37年
森 悦秀	顔面口腔外科	診療科長	39年
横山 武志	歯科麻酔科	診療科長	34年
吉浦 一紀	口腔画像診断科	診療科長	37年
和田 尚久	口腔総合診療科	診療科長	23年
柏崎 晴彦	高齢者歯科・全身管理歯科	診療科長	30年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

高度の医療に関する臨床研修

別紙

No	診療科(部)名	主な研修内容	研修受講者数	研修指導医数
1	第一内科(血液・腫瘍内科)	血液専門医コース	37	8
2		腫瘍専門医コース	28	4
3		循環器専門医コース	22	2
4	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	感染症専門医コース	20	6
5		リウマチ専門医コース	36	10
6		総合診療プログラム	3	1
7	第二内科(消化管内科)	消化管内科専門医コース	36	15
8		消化管治療習熟コース	8	5
9	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓専門医・透析専門医コース	19	11
10		腎臓内科・医学博士取得コース	23	10
11		脳卒中専門医コース1	4	4
12		脳卒中専門医コース2	6	4
13		糖尿病専門医コース	20	5
14		高血圧専門医・臨床コース	5	2
15		高血圧専門医・大学院コース	3	1
16	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	57	5
17	第三内科(肝臓・膵臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・膵臓・胆道)	36	7
18		血液・腫瘍総合コース	8	6
19	心療内科	心療内科臨床研修コース	16	7
20	神経内科	神経内科専門医コース	22	2
21		神経内科専門医大学院コース	2	0
22		てんかん専門神経内科コース	0	1
23		認知症専門神経内科コース	1	0
24		脳卒中専門神経内科コース	0	0
25	循環器内科	循環器内科専門医・大学重点コース	0	0
26		循環器内科専門医・大学院進学コース	0	0
27		循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	29	3
28		循環器内科専門医・地域医療重点コース	4	2
29	呼吸器科	クリティカルケアコース	45	4
30	産科婦人科	産婦人科専門医コース	29	1
31		周産期研究者コース	0	0
32	小児科	小児科専門医コース1(大学重点)	0	0
33		小児科専門医コース2(大学重点)	0	0
34		小児科専門医コース2(地域重点)	26	1
35		小児科専門医コース3(地域重点)	0	0
36		小児科専門医・大学院進学コース	0	0
37	第一外科	外科専門医コース	28	2
38		消化器外科専門医取得コース	6	2
39		肝胆膵外科専門医コース	1	1
40		内視鏡外科専門医コース	1	1

高度の医療に関する臨床研修

別紙

No	診療科(部)名	主な研修内容	研修受講者数	研修指導医数
41	第二外科	外科専門医コース	5	2
42		消化器外科専門医コース	18	2
43		呼吸器外科専門医コース	5	1
44		心臓血管外科専門医コース	6	1
45		ゲノム基盤先端臨床腫瘍学コース	12	1
46		がん専門医養成コース	12	2
47	整形外科	整形外科専門医コースA	87	9
48		整形外科専門医コースB	80	9
49	脳神経外科	臨床コース	22	16
50	心臓血管外科	心臓血管外科専門医コース	21	4
51	小児外科	一般小児外科重点コース(1)	12	4
52		小児腫瘍外科重点コース	3	2
53		新生児外科重点コース(1)	5	1
54	皮膚科	皮膚科専門医養成+美容皮膚科実践コース	10	3
55		皮膚科専門医養成+熱傷・皮膚科救急プライマリケアコース	14	6
56		皮膚科専門医養成+小児皮膚科コース	2	2
57		皮膚科専門医養成+皮膚科レーザー治療実践コース	5	3
58		皮膚科専門医養成+皮膚病理強化学習コース	8	4
59		皮膚科専門医養成+形成外科強化学習コース	5	3
60		皮膚科専門医養成+褥瘡・プライマリケアコース	11	5
61	泌尿器科	泌尿器科研究医師育成コース	4	2
62		泌尿器科臨床研究医師育成コース	5	3
63		臨床指導医育成コース	4	3
64	精神科神経科	日本精神神経学会専門医取得コース	62	14
65	眼科	眼科総合習得コース	19	1
66		角膜専門医養成コース	7	1
67		網膜専門医育成コース	10	1
68		黄斑疾患専門医育成コース	10	2
69	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	30	5
70		耳鼻咽喉科専門医・大学院コース	5	3
71	放射線科	放射線診断専門医ならびに学位取得コース	42	15
72		放射線診断専門医養成コース	3	3
73		放射線治療専門医養成コース	2	4
74		放射線治療専門医ならびに学位取得コース	7	4
75	総合診療科	病院総合診療医重点コース	4	2
76		病院総合診療医・臨床研究コース	2	1
77		病院総合診療医・大学院進学コース	1	1
78	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	59	17
79	病理診断科・病理部	臨床コース	14	10
83		大学院コース	2	2
84	形成外科	形成外科コース	5	1

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・別紙「平成31年度看護職員教育プログラム」のとおり

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容：看護管理者研修1（副看護師長）、看護管理者研修2（看護師長）

中間管理者育成研修（リーダークラスの看護師）

入職時研修（新人看護師）

・研修の期間・実施回数：期間は平成31年度、実施回数は25回

・研修の参加人数：看護師長40名、副看護師長94名、看護師145名（合計279名）

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

対象外

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

平成31年度 看護部教育実施状況

<全看護職員研修>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	会場	学習 段階	募集 人数	受講者数 (人)
1	看護部長講演 (同じ内容で計4回開催)	4/22	九州大学病院の看護の現状および今後の動向を 理解し、看護が果たすべき役割を考える	濱田看護部長	60分	臨床大講堂	全職員対象 申し込み不 要		187
		4/23							137
		4/25							135
		4/26							141
2	臨床看護研究発表会	11/9	看護研究の成果を発表し、看護の質の向上をを 図る	教育WG	0.5日	臨床大講堂		243	
3	業務改善報告会	2/1	各部署での業務改善の実践状況を発表し、意見 交換を通して相互啓発の機会とする	業務WG	1日	百年講堂		260	

<管理者研修>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	会場	学習 段階	募集 人数	受講者数 (人)	
4	新任副看護部長研修	4/18	九州大学病院および看護部の理念や目標を理解 し、中間管理者としての役割、責任を認識する	看護部長 副看護部長	1.5日	打ち合わせ 室1	新任副看護師 長11名		11	
		4/19								
5	新任看護部長研修	3/11	九州大学病院・看護の理念を再確認した上で、看 護師長として必要な知識を修得し、自身が果たす べき役割を考える	看護部長 副看護部長	1.5日	打ち合わせ 室1	新任看護師長 4名		4	
		3/12								
6	管理者研修1(全6回) (目的)看護管理者に求めら れる責務を理解し、部署目標 の達成を目指して看護管理 過程が達成できる能力を養う	6/4	<第1回>看護管理実践計画について	看護部長 副看護部長 認定看護管理者 教育委員会看護師長	90分	臨床大講堂	副看護師長 97名		94	
		6/11	<第2回>看護管理実践計画の立て方①講義		120分 ×2				外来棟5階金 庫室2	94
		6/24	<第3回>看護管理実践計画の進め方②演習		120分 ×2					94
		9/9	<第4回>看護管理実践計画の進め方③演習	120分 ×2		94				
		11/13	<第5回>看護管理者に必要な医療コミュニケー ション	九州大学名誉教授 萩原 明人	90分	臨床大講堂			90	
		2/10	<第6回>看護管理実践計画演習のまとめ	看護部長 副看護部長 認定看護管理者 教育委員会看護師長	0.5日 ×2	外来棟5階 金庫室2			93	
認定看護管理者研修 修了報告会(全3回)	10/11	研修で学んだ知識を共有し、看護管理能力の向上を 目指す	看護部	60分	臨床小講堂2	/				
	1/15				臨床大講堂					
	1/31				臨床小講堂2					
7	管理者研修2(全6回) (目的) 現在の医療現場を視野に、 病院管理や看護管理の側面 から問題点を分析し、解決策 の方向性を形成する	6/4	<第1回>看護管理実践計画について	看護部長 副看護部長	90分	臨床大講堂	看護師長 41名		40	
		6/12	<第2回>看護管理実践計画の立て方①講義		120分				外来棟5階金 庫室2	40
		6/20	<第3回>看護管理実践計画の進め方②演習		120分				北棟2階 多目的室	40
		8/3	<第4回>看護管理実践計画の進め方③演習	120分	外来棟5階 金庫室2	40				
		11/13	<第5回>看護管理者に必要な医療コミュニケー ション	九州大学名誉教授 萩原 明人	90分	臨床大講堂			39	
		1/9	<第6回>看護管理実践計画演習のまとめ	看護部長 副看護部長	0.5日	外来棟5階 金庫室2			39	
	管理実践報告	看護師長 会議時	他部署の管理の現状について情報共有し、自部署の 運営に活かす	看護部	20分	外来棟5階金 庫室2			47	
8	中間管理者育成研修 (全10回) (目的) 看護管理の基礎を理解し、看 護実践に活かす	6/5	<第1回>九州大学病院の理念と組織形態 看護管理とは	教育委員会 教育WG	80分	南棟5階カンフ レンスルーム	条件を満たす 希望者 *別途募集		20	
		7/3	<第2回>重症度、医療・看護必要度 看護管理の実際(2)						20	
		8/7	<第3回>看護職員の能力開発・人材育成、 看護管理の実際(1)						20	
		8/4	<第4回>医療保険と介護保険、医療連携						20	
		10/2	<第5回>医療安全と医療事故時の対策						19	
		11/6	<第6回>感染管理と病棟管理						20	
		11/28	<第7回>人事・労務管理						20	
		12/11	<第8回>診療報酬と看護【公開講座】						臨床大講堂	20
		1/8	<第9回>医療及び看護の質、経営管理と 看護						南棟5階カンフ レンスルーム	19
		2/5	<第10回>災害への対応、研修まとめ						20	

<リーダー・指導者育成>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	会場	学習段階	募集人数	受講者数(人)
9	プリセプターシップ (2019年度) *プリセプターシップの役割と機能を学び、プリセプターとしての能力を高める	3/13	<第1回>準備研修	教育担当副看護部長 看護キャリアセンター	0.5日	中央会議棟 1階多目的会議室B・C	条件を満たし推薦された者 *別途募集		65
		7/3	<第2回>支援研修		0.5日				64
		10/30	<第3回>支援研修		0.5日				64
		2/14	<第4回>まとめ		0.5日				63
10	プリセプターシップ (平成31年度)	2020年 3/13	<第1回>準備研修		0.5日		H31年3月募集	65	
11	臨地実習指導者研修 (全6回) (研修の目的) *看護教育にける実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるよう必要な知識を習得する *自己の看護観の再構築と実習指導者像の形成を目指す	5/17	<第1回>ガイダンス、実習指導者経験談 看護教育課程、実習指導の原理	別紙参照	0.5日	中央会議棟 1階多目的会議室B・C	条件を満たし推薦された者 *別途募集		54
		6/17	<第2回>教育原理、教育方法		0.5日	外来棟5階 会議室2			54
		7/24	<第3回>看護過程		120分	中央会議棟 1階多目的会議室B・C			53
		8/30	<第4回>実習指導計画、実習指導の評価		0.5日	外来棟5階 会議室2			53
		9/20	<第5回>カンファレンスの指導方法		120分				54
		1/20	<第6回>事例検討・まとめ		0.5日				53
12	臨地実習指導者研修 (アドバンスコース) (研修の目的) *看護教育における実習の意義及び実習指導者としての役割を再確認し、実習指導に活かす	4/22,23,2 5,26	<第1回>看護部長講演(必ず1回は聴講)	濱田看護部長	60分	臨床大講堂	条件を満たし推薦された者 ※第2回は今年度新任者のみ		29
		5/17	<第2回>ガイダンス、看護教育課程、実習指導の原理	九州大学大学院医学研究 院保健学部門 教授 中尾 久子	0.5日	中央会議棟 1階多目的会議室B・C			24
		9/2	<第3回>看護学生の動向と看護教育の現状	福岡看護大学 小児看護学分野 教授 飯野 英親	120分	外来棟5階 会議室2			29
		3/5	<第4回>まとめ	看護部 実習指導者育成WG	120分				26
13	教育担当者研修	4/22,23,2 5,26	<第1回>看護部長講演(必ず1回は聴講)	看護部	17:00- 60分	臨床大講堂	教育WG 44名		44
		5/14	<第2回>集合教育と部署内OJTの運動について ①	看護部		外来棟5階 会議室2			41
		6/11	<第3回>集合教育と部署内OJTの運動について ②	教育委員会	13:00- 60分	外来棟5階 会議室2			41
		2/18	<第4回>目標達成の評価、まとめ	教育委員会		外来棟5階 会議室2			44
14	輸液ポンプ・シリンジポンプ指導者(第4期)更新研修	6/19	各部署における指導者としての活動状況を振り返り、今後の活動が円滑に行えるための方法を再確認する	医療機器操作強化WG	0.5日	スキルトレーニングセンター	該当者	16	17
15	輸液・シリンジポンプ指導者(第7期)育成研修	2/13	輸液ポンプ・シリンジポンプの指導者として必要な知識・技術・態度を習得する		1日			38	38
16	リーダーシップI	8/9	リーダーシップ理論を学び、リーダーとしての能力を高める	教育担当副看護部長 教育委員会	0.5日 ×2	外来棟5階 会議室2	Ⅲ	40 ×2	70
17	問題解決技法	8/2	自部署の現状把握、解決策の検討・分析などを通して、看護管理能力を養う。	静岡大学大学院 創造科学技術研究部 特任教授 小林 美亜	1日	外来棟5階 会議室2	Ⅳ	40	31
18	キャリア開発支援	10/8	看護職としてのキャリアデザインについて学び、自身のキャリア開発に役立てる	三重大学 准教授 宮田 千春	90分	臨床小講堂2	Ⅳ	40	40
19	コーチング	11/18	コーチングの基本的スキルを習得し、看護実践や後輩の指導に適用する	京都大学大学院 教授 任 和子 京都大学病院 内藤知佐子 大阪大学 准教授 内海桃絵 九州大学大学院医学研究 院 保健学部門 教授 谷口初美	1日	百年講堂 中 ホール1・2	Ⅲ	80	72
20	PNSマインド研修	11/6	PNSマインドの醸成とPNSにおけるリーダーの役割を理解する	看護部 PNS推進WG	120分	外来棟5階 会議室2	Ⅲ	36	35

<看護倫理>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	会場	学習段階	募集人数	受講者数(人)
21	看護倫理(第1回)	6/13	看護倫理についての理解を深め、倫理的視点を持つ	九州大学大学院医学研究 院保健学部門 教授 中尾 久子	90分	多目的会議室 A・B・C	全	120	110
22	看護倫理(第2回) ※6月と同じ内容	9/18				臨床大講堂	全	240	123
23	看護倫理1	10/16	事例を通して倫理上の問題に気づき、看護倫理への理解を深める	看護部倫理委員会	0.5日 ×2	多目的会議室 B・C	II	30 ×2	96
24	看護倫理2	11/7	事例を通して倫理上の問題解決の方向性を探り、看護倫理の理解を深める		0.5日 ×2	外来棟5階 会議室2	III	30 ×2	76

<看護記録>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	会場	学習段階	募集人数	受講者数(人)
25	看護記録の実際	10/11	看護ケアのアセスメント力の向上のために、記録を振り返り、重要性を学ぶ	看護部記録委員会	0.5日 ×2	外来棟5階 会議室2	III	40	40

<静脈注射認定看護師育成>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	会場	学習段階	募集人数	受講者数(人)
26	静脈注射認定看護師育成研修	6/22	静脈留置針を中心に、静脈注射に必要な知識・技術を習得し、安全で確実な看護実践能力を身につける	麻酔科医師 薬剤師 安全管理担当 感染管理担当 IVナース育成WG 教育WG	講義 1日	外来棟5階 会議室2	2年目以上の 該当者 (新人看護職員は別途開催)		19
		6/26			演習 0.5日	スキルトレーニング センター			10
		7/2			筆記試験 90分	外来棟5階 会議室2			19

<専門領域>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	会場	学習段階	募集人数	受講者数(人)
27	循環管理(実践編)	8/29	循環管理に必要な知識を理解し、看護実践に活用する	慢性心不全認定看護師 豊沢 真代	0.5日 ×2	外来棟5階 会議室2	II	30 ×2	60
28	呼吸器聴診	8/16	シミュレーターを使用して呼吸の正常・異常を理解し、判断する実践能力を身につける	集中ケア認定看護師 黒羽 好和	0.5日 ×2	スキルトレーニング センター	II	24 ×2	32
29	人工呼吸管理の基本	10/3	人工呼吸器の点検とアラーム対応を学び、臨床現場で実践する	集中ケア認定看護師 井上 辰幸	0.5日 ×2	スキルトレーニング センター	II	25 ×2	50
30	人工呼吸管理の実際	11/14	人工呼吸器(Servo i, V60, NHF)を操作・体験しながら、適応や正しい操作やアラーム対応方法を身につけ、看護実践に活用する	集中治療部副看護師長 野田 由香利 救命救急センター 副看護師長 久保 由紀恵	180分	学習段階: III (20名) 会場: ICUカンファレンス室 受講条件: 部署で人工呼吸器装着中の患者ケアを実践している者。ただし、ICU・CCU・NICU・ハイアは除く。			15
31	急変対応コース(全2回)	10/4	<第1回>院内救急システムについて 異常に気づくフィジカルアセスメント	救急看護認定看護師 桑田 睦子 石村 徳彦 進藤幸之助	0.5日 ×2	スキルトレーニング センター	III (全2回 受講できるもの)	18 ×2	26
		11/8	<第2回>BLSについて 急変時の対応について		0.5日 ×2				26
32	災害看護	8/30	災害拠点病院の看護師として、災害医療の原則を知り、被災時にリーダーシップを発揮できる。	救急看護認定看護師 石村 徳彦	60分	臨床小講堂 2	III	50	44
33	感染管理(指導者編)	5/14	正しい感染対策を理解し、部署での実践・指導に活かす	感染管理認定看護師 安永 幸枝 森 日登美 小林 里沙	90分	中央会議棟 1階多目的会議室B・C	III-IV 院内認定看護師 (感染管理) リンクナース 60名		59
34	基本のストーマケア(成人) ※全2回×2 ①(7/10-8/14) ②(11/13-12/18)	7/10	<第1回>ストーマの概要 ストーマ用品の概要とアセスメント	皮膚排泄ケア 認定看護師 3名 ストーマケア 院内認定看護師	0.5日	スキルトレーニング センター	II・III	30 ×2	30
		11/13			0.5日				30
		8/14			0.5日				30
		12/18			0.5日				30
35	褥瘡予防と 体圧分散マットレス	11/20	褥瘡予防の視点で日々の看護ケアが実践できるスキルを習得する 院内で使用しているマットレスの特徴を理解して適切に患者に使用する	皮膚排泄ケア 認定看護師 立花由紀子	0.5日 ×2	スキルトレーニング センター	II	40	25
36	スキンケアの予防と発生後の管理	10/18	超高齢化社会の皮膚損傷として重要課題であるスキンケアへの理解を深める 入院時から継続したスキンケア予防策が選択できる	皮膚排泄ケア 認定看護師 大重 まどか	0.5日 ×2	スキルトレーニング センター	II	25 ×2	35
37	糖尿病患者の理解とケア	8/27	糖尿病患者の病態と治療を理解し、糖尿病をもつ患者の看護支援が実践できる	医師 薬剤師 管理栄養士 慢性疾患看護専門 看護師 桃坂真由美 糖尿病看護認定 看護師 梶野 美保	1日	外来棟5階 会議室2	II	30	28
38	糖尿病看護	7/8	1. 糖尿病患者の薬物療法が安全に行えるようリスクマネジメントの視点について学ぶ 2. 糖尿病患者が自宅でも安全に療養を継続できるように生活調整支援の方法を学ぶ	糖尿病看護認定看護師 梶野 美保	17:00- 90分	外来棟5階 会議室2	III	30	24

39	がん看護(基礎編2)	11/15	がんと共に生きていく患者をサポートするための看護師の役割を考えることができる	がん看護専門看護師 坂本 節子 がん放射線療法看護 認定看護師 音瀬 穂子 がん化学療法看護 認定看護師 中村 美和子	0.5日 ×2	外来棟5階 会議室2	II	40 ×2	43
40	がん看護(実践編1)	7/22	がん患者の緩和ケア・症状マネジメントに関する基礎知識を習得する	がん放射線療法看護 認定看護師 音瀬 穂子 がん性疼痛看護 認定看護師 秋野 照美	1日	外来棟5階 会議室2	II	40	33
41	がん看護(実践編2)	8/8	がん患者に対するアピランスケア、リンパ浮腫についてのケアを理解することができる	がん性疼痛看護 認定看護師 土谷 美智子 乳がん看護認定看護師 泊 直子	0.5日	外来棟5階 会議室2	II	35	24
42	がん化学療法看護	9/9	がん化学療法看護の基本、トピックスを学ぶ	がん化学療法看護 認定看護師 中村 美和子	90分	臨床小講堂2	III・IV	30	54
43	がん放射線療法看護	9/12	がん放射線療法について学び、放射線治療を受ける患者の看護実践に活かす	がん放射線療法看護 認定看護師 音瀬 穂子	90分	北8-1カンファ ンスルーム	III	20	32
44	手術看護	7/26	手術室の看護を理解し、自部署の看護実践に活かす	手術看護認定看護師 松岡 美恵 河野 易子	90分	手術部 (但し希望人数が 多い場合は手術 部外での講義へ 変更)	III	10	11
45	CKD(慢性腎臓病)患者の看護	11/26	CKDステージ毎の患者の特徴、必要なケアを学習する	透析看護認定看護師 吉田 恵美	60分	外来棟5階 会議室2	II	40	30
46	認知症看護	10/21	認知症および認知ケアの基本を理解し、患者にとって安心できるコミュニケーションを習得する	認知症看護認定看護師 立石 圭	90分	臨床小講堂2	全 ラダー	30	50

<院内認定看護師育成>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
47	院内認定看護師育成研修 (認定試験含む全11回) (研修目的) 専門分野において高い知識・ 技術を修得し看護実践や教 育・指導に活かす	① 5/27	感染管理	感染管理認定看護師 安永 幸枝 森 日登美 小林 里沙	90分	スキルトレーニング センター その他	別途募集 あり	5	4
		② 6/24	がん看護(2年間コース:1/2年目)	がん看護専門看護師 坂本 節子 がん放射線療法 認定看護師 音瀬 穂子 緩和ケア認定看護師 廣瀬 亜由美 熊谷 知子 がん性疼痛看護 認定看護師 土谷 美智子 秋野 照美 がん化学療法看護 認定看護師 中村 美和子 乳がん看護認定看護師 泊 直子					5
		③ 7/16							
		④ 8/26							
⑤ 9/24	救急看護	救急看護認定看護師 桑田 睦子 石村 徳彦 進藤 幸之助	5						
⑥ 10/15	小児救急看護	小児救急看護 認定看護師 荒田 弘樹	4						
48	ストーマケア院内認定看護師 フォローアップ研修 「病棟ストーマ装具の変更に向けて」	6/12	病棟ストーマ装具運用変更の説明	皮膚瘻池ケア認定看護師 立花 由紀子・和田 美香 宮崎 敬子・大重 まどか ストーマケア領域院内認定 看護師 白川 和藤	30分	病棟対策室2	ストーマケア 院内認定看護 師 14	10	
		8/21	病棟配置の装具、評価方法説明など		60分			11	
		10/9	病棟での装具使用の評価		60分			9	

<看護助手研修>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	時間	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
49	看護助手研修	5/30	別途案内	業務委員会 業務WG	0.5日 ×2	スキルトレーニング センターその他	看護助手	63
		7/12						65
		12/13						65
		2/4						61

<新人看護職員研修>

No	日程	研修名・テーマ	研修内容・ねらい	担当・講師など	時間	会場	受講者数(人)	
49	4/1	新採用者合同研修	九州大学病院・看護部の組織と役割を理解し、組織の一員である自分の果たすべき役割を理解する	病院内各部門担当者	1日	百年講堂	145	
50	4/2~4	看護部新採用者入職時研修	九州大学病院・看護部の役割を学び、組織の一員であることを理解する 社会人としての基礎的知識・態度を身につける	各部門担当者 看護部長・副看護部長 看護師長 看護部各委員会・各WG	3日	コアホステーションI 視聴覚ホール	145	
51	4/5・8	接遇研修	①接遇の基本を学び、九州大学病院の職員としての自覚を持つ	患者サービス向上委員会	120分	臨床大講堂 スキルトレーニングセンター	139	
52		看護職のためのセルフメンテナンス	②社会人として必要な心身の健康維持の方法について知る	教育担当				
		看護実践研修1	③感染管理1(手指衛生・PPE)	感染管理担当				
			④フィジカルアセスメント1(呼吸を整える技術)	集中ケア認定看護師				
			⑤輸液管理(基礎編)	教育WG				
			⑥輸液ポンプ・シリンジポンプの使用法	医療機器操作強化WG				
			⑦看護記録・電算研修	記録委員会				
53	5/9・10	看護実践研修2	【講義】①医薬品の管理薬剤の基礎知識 ②麻薬等の管理について 【演習】①口腔ケア ②感染管理2(針刺し防止) ③血糖測定とインスリン療法	薬剤部 医療安全看護部委員会 歯科医師 歯科衛生士 看護師長 認定看護師 院内認定看護師	40分 20分 100分 100分 100分	中央会議棟 多目的会議室A・B・C スキルトレーニングセンター	118	
54	6/27・28	看護実践研修3 (口腔内・鼻腔内吸引、気管吸引)	看護実践において必要な知識・看護技術を身につけ、安全・正確に実施できる能力を養う	集中ケア認定看護師 院内認定看護師 (呼吸ケア領域)	講義 30分 演習 140分 ずつ	臨床小講堂1 スキルトレーニングセンター	124	
55	6/18	重症度、医療・看護必要度研修	重症度、医療・看護必要度の正確な評価を実施するための基本的知識や方法を身につける	業務委員会 業務WG	90分	中央会議棟 多目的会議室 A・B・C	117	
56		3か月フォローアップ研修	入職後3か月を振り返り、悩みや不安を話し合い情報共有し、問題解決の方法を考える	教育担当	120分			
57	7/17 18 19	看護実践研修4 (尿道留置カテーテル挿入)	看護実践において必要な知識・看護技術を身につけ、安全・正確に実施できる能力を養う	感染管理担当 感染管理認定看護師 安永 幸枝 小林 里沙 院内認定看護師 (感染管理領域)	講義 30分 演習 140分 ずつ	中央会議棟 多目的会議室A・B・C スキルトレーニングセンター	115	
58	8/20 21 22	看護実践研修5 (静脈血採血)	看護実践において必要な知識・看護技術を身につけ、安全・正確に実施できる能力を養う	教育WG	0.5日 ずつ	中央会議棟 多目的会議室A・B・C スキルトレーニングセンター	115	
59	9/25・26・27	シミュレーション研修 (状況把握)	患者に必要な観察項目を理解し、得られた情報から異常を察知し、報告できる能力を習得する	教育WG	150分 ずつ	スキルトレーニングセンター	111	
60	10/10	6か月フォローアップ研修	入職後6か月を振り返り情報共有し、今後の目標を考える。	教育担当	120分	百年講堂	110	
61	10/24 ・25	フィジカルアセスメント2 心電図(基礎編)	心電図の基礎および重症不整脈に関する知識を習得し、看護実践に適用する	救急看護認定看護師	60分	臨床小講堂2	110	
62		一次救命処置(BLS)	一次救命処置(BLS)の知識・技術を習得し、看護実践に適用する	救急看護認定看護師 小児救急看護認定看護師 院内認定看護師 (救急看護領域・ 小児救急看護領域)	120分 ずつ	スキルトレーニングセンター		
63	2/3	看護実践研修6 (静脈注射認定看護師育成研修)	静脈留置針を中心に、静脈注射に必要な知識・技術を習得し、安全で確実な看護実践能力を身につける	手術部医師・薬剤師 医療安全担当 感染管理担当 教育委員会 教育WG 静脈注射認定看護師育成WG	1日 (講義)	臨床大講堂 スキルトレーニングセンター	120	
	2/5・6・7				0.5日 (演習)			113
	2/19				60分 (試験)			123
64	2/27	12か月フォローアップ	入職後1年を振り返り、GWと全体討議を通して自己の課題を明確にし次年度の目標を考える。また後輩を受け入れる心構えを持つ	教育担当	9:00-120分	百年講堂	109	

<新卒2年目看護職員研修>

No	日程	テーマ	研修のねらい(目的)、内容など	担当・講師など	時間	会場	受講者数(人)
65	5/21	がん看護(基礎編1)	がん診療拠点病院における看護師の役割と看護について学び、看護実践に活かす	放射線看護認定看護師 音瀬 穂子 乳がん看護認定看護師 泊 直子	60分	中央会議棟 多目的会議室 A・B・C	119
66	6/5・6	急変時の看護	・患者の異常に気づき、確実に対応する能力を習得する ・急変時に対応する医療チームの中での看護師の役割を理解する	救急看護認定看護師 小児救急看護認定看護師 院内認定看護師 (救急看護領域・ 小児救急看護領域)	120分 ずつ	スキルトレーニング センター	118
67	10/2	スキンケア	スキンケアで褥瘡やスキントラブルを予防する	皮膚排泄ケア認定看護師	120分 ×3	北棟2階 多目的室	119
68	1/28	リフレクション(事例検討)	看護実践の振り返りや他者との看護(観)の共有により、自己の看護観、目指す看護を明らかにする	認定看護管理者 教育委員会	0.5日 ×2	百年講堂	117
69	9月 以降	部署間研修	基本的看護技術の未経験・未修得項目を習得する	各部署指導者	1.5~2日	ICU 救命ICU 手術部 各部署	120

<新卒3年目看護職員研修>

No	日程	テーマ	研修のねらい(目的)、内容など	担当・講師など	時間	会場	受講者数(人)
70	6/14	感染管理(実践編)	様々な場面での正しい感染対策を再確認して、部署での実践・指導に活かす	感染管理担当 感染管理認定看護師 安永 幸枝 小林 里沙	90分 ×2	会議室2	106
71	12/6	接遇研修1	身だしなみや礼節について学び、組織人としての自覚を認識する	K'sオフィス 佐竹 桂子	90分	臨床大講堂	134

様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 赤司浩一	
管理担当者氏名	各診療科長 診療録管理室長 水元一博 放射線部長 石神康生 薬剤部長 家入一郎 総務課長 田邊圭二 医療連携センター長 水元一博 医療管理課長 大賀美喜 患者サービス課長 國宗久資	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	病棟
		処方せん	薬剤部
		手術記録	
		看護記録	
		検査所見記録	
		エックス線写真	
		紹介状 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	
			<ul style="list-style-type: none"> ・診療に関する諸記録及びエックス線写真は、平成20年2月1日以降の外来及び入院診療分から、電子カルテ及びPACS（医用画像）にて電子媒体保存している。平成20年2月1日～平成24年12月31日までの一部診療に関する各科の記録書類（紹介状、入院診療計画書等）については、外来・入院文書フォルダーで診療録管理室にて一括保管している。平成25年1月1日からは全て電子媒体保存している。 ・本学で定められた保存期間（10年）内の紙カルテは診療録管理室にて一括中央管理で保管しており、保存期間を超過した紙カルテは原則廃棄している。 ・電子化前のエックス線写真は各検査の種類により、各診療科及び放射線部が保管管理している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	患者サービス課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	患者サービス課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携センター
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	患者サービス課
掲げる事項	規則第一條の十一第一項に	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療管理課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療管理課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療管理課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療管理課

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療管理課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療管理課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療管理課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医療管理課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療管理課
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療管理課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療管理課
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療管理課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療管理課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療管理課
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療管理課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療管理課
		医療安全管理部門の設置状況	医療管理課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療管理課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療管理課
		監査委員会の設置状況	医療管理課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療管理課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療管理課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療管理課 患者サービス課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医療管理課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療管理課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状	
閲覧責任者氏名	事務部長 藤江 進		
閲覧担当者氏名	総務課長 田邊 圭二		
閲覧の求めに応じる場所	総務課		
<p>閲覧の手続の概要</p> <p>九州大学が保有する法人文書について「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」に基づき、九州大学に対し開示を請求することができる。</p> <p>【開示請求できる文書】</p> <p>九州大学の役員又は職員が職務上作成又は取得した文書、図面、電磁的記録で職員が組織的に用いるものとして、九州大学において保有しているものが対象となる。</p> <p>ただし、書籍等の市販物や、一般の閲覧に供するために特別の管理がなされている機関として総務省の指定を受けている九州大学附属図書館、九州大学大学文書館が保有する歴史的資料又は学術研究用資料等は開示請求の対象から除く。</p> <p>【不開示となる文書】</p> <p>開示請求を受けた法人文書は原則としてすべてを開示するが、不開示となる情報が記録されている場合は、その部分を除いて開示する。九州大学では、開示請求を受けた法人文書について、「九州大学における法人文書の開示基準」に基づき、開示・不開示を決定する。</p> <p>【開示・不開示決定の通知】</p> <p>法人文書の開示・不開示の決定は、原則として開示請求があった日から30日以内に行われ、その後速やかに開示請求者に通知する。開示決定期限が30日を超えて延長となる場合はその旨開示請求者に通知する。</p> <p>【開示請求手数料、開示実施手数料】</p> <p>○開示請求手数料 開示請求に係る法人文書1件につき300円</p> <p>○開示実施手数料 開示決定後、開示の実施に際して、実施方法ごとに定められた開示実施手数料を納めなければならない。例として、閲覧による場合は100頁単位ごとに100円、写しの交付による場合は、1頁ごとに10円。なお、開示実施手数料は法人文書1件につき通常300円まで控除される。</p> <p>【開示請求方法】</p> <p>法人文書開示請求書に必要な事項を記載し、九州大学情報公開事務室に提出する（郵送可）。</p>			

(注) 既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医 師	延 0件
	歯 科 医 師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 安全管理に関する基本的考え方2. 医療安全管理のための委員会等の組織に関する基本的事項3. 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針4. 医療事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針6. 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針7. 患者からの相談への対応に関する基本方針8. その他本院における医療安全管理の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無 (有・無)</p> <p>・ 開催状況：年 1 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 医療事故防止のための具体的措置に関すること。(2) 医療安全管理マニュアルに関すること。(3) 医療安全に係る職員の教育及び研修に関すること。(4) 医療事故等発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知に関すること。(5) 改善策の実施状況調査及び見直しに関すること。(6) 医療事故等発生時の診療録や看護記録等に関すること。(7) 医療事故等発生時の患者及び家族への説明に関すること。(8) インシデントレポート及び事故報告書の分析に関すること。(9) 医療安全管理部の業務に関すること。(10) 医療事故調査に関すること。(11) その他事故防止及び医療の安全性の向上等にかかる医療安全管理に関すること。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 4 0 回
<p>・ 研修の内容 (すべて)：</p> <ul style="list-style-type: none">・ 当院の医療安全管理対策について・ 医薬品の適正使用・ 平成30年度発生した事例・ 公認クリティカルパスと医療安全・ 肺塞栓予防・モニタリング VTE 予防・ 生体監視モニターの設定と確認事項について・ これで安心、気道確保・ リスクマネジメントの観点からの安全な吸引手順とは・ せん妄予防対策・ 再活性化B型肝炎発生予防と管理システムについて・ 医療ガスの正しい使い方・ 九州大学病院の医療ガス設備と緊急時の連絡網・ 医療訴訟と診療記録、文書を渡すことについて・ もう知らないでは済まされない スキンケアと褥瘡の話・ 特定機能病院を取り巻く環境-医療安全の重要性-・ 医療ネグレクトと一時保護・ チーム医療とは何ですか。何ができるとよいですかーエビデンスに基づいたチーム医療のすゝめ：チームSTEPPS・ 「器官切開患者の看護ケア～感染含めた入院中と在宅におけるケアについて～」	

- ・「周術期における呼吸リハビリテーションの実際」
- ・「肺結核の治療」

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - ・ インシデント情報の発信
 - ・ 日々報告のあるインシデント事例から特に警鐘を促すべき事例について毎月1回インシデント情報(ポスター)を作成、また日本医療機能評価機構からの医療安全情報や報道事例について院内職員へ注意喚起している
 - ・ リスクマネージャーを対象とした研修会の開催
 - ・ 医療安全管理マニュアルとホームページの改訂
 - ・ 「M&Mカンファレンス」の開催、検討結果のホームページへの掲載
 - ・ 再活性化B型肝炎予防策策定とシステム改修の検討
 - ・ PET-CT検査前チェックリストの作成、改訂
 - ・ ガベキサートメシル酸塩の院内ルール作成、周知
 - ・ 報告すべき事例の例示
 - ・ インスリン注射指示だし、指示受け実施に関する院内ルール作成、周知
 - ・ 透視室救急カート、AED配置状況改善

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☑有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 院内感染対策に関する基本的考え方2. 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項3. 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針5. 感染症発生時の対応に関する基本方針6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針7. その他本院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 院内感染防止対策のための措置に関すること。(2) 院内感染防止対策に係る職員の教育及び研修に関すること。(3) 院内感染発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知等に関すること。(4) グローバル感染症センター業務のうち、院内における業務に関すること。(5) その他院内感染防止対策に関すること。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 6 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ul style="list-style-type: none">・ これだけは実践しよう！感染対策の基礎・ 感染対策担当者の役割・ 手指衛生と個人防護具着脱の演習・ 呼吸器感染症診断に役立つ微生物検査・ アンチバイオグラムの活用・ ASTによる抗菌薬適正使用支援・ エピネットの年度集計報告・ HIV感染の動向と当院の術前HIV検査について・ エビデンスに基づいたCDI診療と感染対策・ サーベイランスデータから見る、CDトキシン検査の現状と課題・ 泌尿器領域感染症の治療と、感染対策	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (☑有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・ 感染症法に基づく院内報告基準の改訂と職員への指導・ 感染情報レポート等活用による情報共有と部署への指導・ アウトブレイク予兆ラウンド、早期介入・ ICT教育ラウンド・環境ラウンドでの標準予防策の遵守確認・ 経路別予防策の指導・教育・ 手指消毒剤使用量モニタリングと手指衛生遵守率確認・ ベストプラクティスの作成、遵守状況確認・ 抗菌薬適正使用に向けた介入（血液培養陽性症例、抗MRSA薬・広域抗菌薬使用症例、カルバペネム系抗菌薬長期使用症例）・ 交差感染防止のための自動蓄尿装置使用禁止・ 血液培養複数セット採取の推奨・ ASTラウンド	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る
措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 9 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">薬剤のオーダーと運用について医薬品の適正使用薬剤部におけるリスクマネジメント医薬品の管理・薬剤の基礎知識等	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">手順書の作成 (<input checked="" type="checkbox"/>有・無)手順書の内訳に基づく業務の主な内容：<ul style="list-style-type: none">医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成職員に対する医薬品の安全使用のための研修の実施医薬品の業務手順書に基づく業務の実施医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全確保を目的とした改善のための方策の実施	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医薬品に係る情報の収集の整備 (<input checked="" type="checkbox"/>有・無)未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば)：<ul style="list-style-type: none">未承認薬：なし適応外：サイトメガロウイルス網膜炎に対するデノシン (ガンシクロビル) の硝子体内投与 など45件その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">毎月疑義照会報告を医療安全委員会等で実施し、リスクマネージャーを通じて周知。麻薬、向精神薬、筋弛緩薬、毒薬は業務手順チェック表に基づき管理状況を点検。4 半期に 1 回定数配置薬チェックシートに基づき、管理状況点検。ハイリスク薬の見直し	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 4 1 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">除細動器の取り扱いについて生体情報モニターについて補助人工心臓について (HVAD, HeartMateII)補助循環について ECMO装置『CARDIO HELP』、IMPELLA CP人工呼吸器について	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る計画の策定 (有・無)機器ごとの保守点検の主な内容：<ul style="list-style-type: none">人工心肺装置・補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置等の保守点検を行っている。日常点検 (始業、使用中、終業) と定期点検を添付文書、取扱説明書、操作手順により実施している。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば)：<ul style="list-style-type: none">医療機器安全管理専門委員会・MEセンター運営委員会にて情報の収集・整備を行っている。その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">院内情報は医療安全管理部に報告され、管理者及び医療安全管理責任者に情報が伝達される。院内情報は医薬品医療機器総合機構配信サービス等により情報を収集している。収集した情報は医療機器安全管理専門委員会において各委員会に報告し、関連部署へ周知している。	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 9 条の 20 の 2 第 1 項第 1 号から第 1 3 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者として、「安全管理・危機管理」を担当する副病院長を配置している。 医療安全管理部長、医薬品安全管理専門委員会委員長（医薬品安全管理責任者）、医療機器安全管理専門委員会委員長（医療機器安全管理責任者）も委員として組織される医療安全管理委員会に委員として参画している。 なお、平成 28 年 9 月に、医療安全管理体制に医療安全管理を担当する副病院長の位置づけを明確化した。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（7名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>緊急安全性情報、安全性速報、医薬品の適正使用に関して、ホームページ掲載や全職員宛 e メール送信のみでなく、該当診療科のリスクマネージャー宛に再度情報を e メール送信し、周知内容の確認並びに確認表の管理を依頼。その他の情報については必要に応じて対応。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>処方監査時に発生する疑義照会内容の確認・把握と院内情報共有（毎月） 高度新規医療評価部会での協議（適宜） 臨床倫理審査委員会での審議内容の把握（適宜）</p> <p>・担当者の指名の有無（有）・無</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>（所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ） （所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ） （所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ）</p>	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>有・無)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容</p> <p>医療安全</p> <p>九州大学病院インフォームド・コンセント ガイドライン</p> <p>インフォームド・コンセントの成立の要件</p> <p>説明すべき基本的事項</p> <p>文書による説明・同意の注意点</p> <p>インフォームド・コンセントの取得における一般的な留意点</p> <p>特殊な状況でのインフォームド・コンセントの取得における留意点</p> <p>診療録</p> <p>診療録管理室：診療科単位でカルテレビューを行い、対象症例から IC 記載等に関する状況を確認し、内容の検討を行って指導している。</p>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>全ての診療録を対象として、退院サマリー、手術記録、指導管理料、研修医カルテ承認について定期的に監査を行っている。また、毎月複数の診療科の一部の診療録を対象とし、入院から退院までの流れに沿って、入院診療計画書、IC 記録・説明同意書、手術記録、退院サマリー、死亡診断書の適正な記載について監査を行っている。監査結果はカルテ委員会で報告し、必要に応じて修正依頼を行っている。退院サマリーや診療録については、これを業務として閲覧している多部署（診療録管理室、診断書作成補助室、がん登録室、DPC 管理室）で監査し、不備が見つかった場合は診療科へ修正依頼を行っている。医療安全上問題となった症例、死亡症例、先進医療症例については、医師、看護師、診療情報管理士等の多職種によりカルテ記載の確認を行い、医療安全管理委員会、カルテ委員会、診療録管理室による合同での院内公開型カルテレビューを定期的で開催している。</p> <p>(※2020 年 8 月時点：新型コロナウイルス感染症防止対策の為、カルテレビューは休止中)</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無

- ・所属職員：専従（5）名、専任（ ）名、兼任（1）名
 - うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名
 - うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名
 - うち看護師：専従（3）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

■事故防止に関すること

インシデントレポートを分析し、結果を各医療現場にフィードバック、事故防止に繋げる。

■医療安全に係る職員の教育・研修に関すること

基本的な考え方や具体的方策について職員に周知徹底を行い、安全に対する意識の向上や、安全な業務の遂行につながるような研修を企画・実施

■院内の事故に関すること

状況の確認、患者さんへの対応確認、状況に応じた指導

診療録や改善策の検討、必要があれば病院全体への周知徹底

原因究明・改善策の確認や必要な指導

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 4 件）、及び許可件数（ 4 件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ）

・活動の主な内容：

- （1）診療科の長から高難度新規医療技術を用いた医療の申請が行われた場合、申請内容を確認するとともに諮問委員会（九州大学病院高難度新規医療技術審査委員会）に対して当該高難度新規医療技術の提供の適否、実施を認める条件等に意見を求めること。
- （2）（1）の意見の求めに応じ、諮問委員会が述べた意見を踏まえ、高難度新規医療技術の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を適否結果通知書により通知すること。
- （3）高難度新規医療技術が適正な手続に基づいて提供されていることについて定期的に確認すること。
- （4）高難度新規医療技術の提供の適否について決定したとき及び高難度新規医療技術が適正な手続に基づいて提供されていることについて確認したとき、その内容について病院長に報告すること。

<ul style="list-style-type: none">・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)
<p>⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数 (0 件)、及び許可件数 (0 件)・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none">(1) 診療科の長から未承認新規医薬品等を用いた医療の申請が行われた場合、申請内容を確認するとともに諮問委員会（九州大学病院臨床倫理委員会）に対して当該未承認新規医薬品等の提供の適否、実施を認める条件等に意見を求めること。(2) (1) の意見の求めに応じ、諮問委員会が述べた意見を踏まえ、未承認新規医薬品等の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を適否結果通知書により通知すること。(3) 未承認新規医薬品等が適正な手続に基づいて提供されていることについて定期的に確認すること。(4) 未承認新規医薬品等の使用の適否について決定したとき及び未承認新規医薬品等が適正な手続に基づいて提供されていることについて確認したとき、その内容について病院長に報告すること。・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)
<p>⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 266 件・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 179 件・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容 <p>死亡例の報告については、死亡報告様式を医療安全管理部ホームページに作成し、平成28年9月から実施している。報告の実施状況の確認については、平成28年9月分から医療安全管理部でチェックを行っている。</p> <p>有害事象（報告範囲）についての報告は、基準を影響度分類3b以上とした上で死亡例も含め既に実施している。</p> <p>確認結果の管理者への報告については、医療安全管理部で確認し、医療安全管理委員会（委員長：病院長）で報告している。</p>

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況
<ul style="list-style-type: none">・他の特定機能病院等への立入り (<input checked="" type="checkbox"/> (病院名：横浜市立大学附属病院) ・無)・他の特定機能病院等からの立入り受入れ (<input checked="" type="checkbox"/> (病院名：富山大学附属病院) ・無)・技術的助言の実施状況 特になし
⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況
<ul style="list-style-type: none">・体制の確保状況<ul style="list-style-type: none">○「患者相談支援室」：患者相談対応を目的として設置・医療安全に係る相談があった場合には、速やかに医療安全管理部へ対応を依頼○「意見箱」：患者からの率直な意見を受け、改善に繋げることを目的として設置・外来診療棟 1 階総合案内、北棟 1 階エレベーターホール、北棟・南棟 5～11 階のラウンジ、ウエストウイング 1・2 階に設置し、病院に対する意見を投書いただくよう明記・医療安全に係る内容に関する意見があった場合には速やかに医療安全管理部へ報告
⑫ 職員研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none">・研修の実施状況<ul style="list-style-type: none">・医療に係る安全管理のための基本的考え方及び具体的方策・職員の安全に対する意識・安全に業務を遂行するための技能及びチームの一員としての意識の向上・インシデント・アクシデント等の報告・高難度新規医療技術の導入プロセス・インフォームド・コンセント・診療録記録記載について・監査委員会からの指導事項
(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)
⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none">・研修の実施状況 公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する特定機能病院管理者研修に参加 (令和元年度は参加者なし)
(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

No.	開催日	開始時間	時間	場所	受講者数 (room)	発表者数	(内訳)					必須・選取	安全・感染・食中毒	研修会名	テーマ	講師
							出席者数	聴講者数	聴取者数	参加者数	その他 (学生、関係者等)					
35	令和1年11月14日	14:00	60分	臨床大講堂	100	100	27	0	19	28	26	0	【選択】医療安全管理院内感染対策合同研修会(DVD)	・せん妄予防対策① ・ASTTによる抗菌薬適正使用支援 ・平成30年度実施した事例 ・エビデンスに基づく抗菌薬適正使用支援	精神科神経科 大橋 誠子 グローバル感染症センター 中島 真史 医療安全管理部 岡崎 もえみ グローバル感染症センター 安水 幸枝	
36	令和1年11月21日	15:00	60分	臨床大講堂	97	97	3	12	24	20	20	0	【選択】医療安全管理院内感染対策合同研修会(DVD)	・せん妄予防対策①	精神科神経科 大橋 誠子 グローバル感染症センター 中島 真史	
37	令和1年11月25日	17:00	60分	臨床大講堂	84	84	84	2	23	22	12	0	【選択】医療安全管理 院内感染対策合同研修会	もう知らないとはいけません、何がでるといいますか チーム医療とは何ですか、何がでるといいますか エビデンスに基づいたチーム医療のすゝめ 【選択】院内感染対策合同研修会	看護対策室 立花 咲紀子 六重 まどか	
38	令和2年1月20日	17:30	60分	百年講堂大ホール	42	42	13	1	2	24	2	0	【選択】医療安全管理 院内感染対策合同研修会	【選択】院内感染対策合同研修会	国立病院機構科学技 術主任研修官 櫻田 薫一郎	
39	令和2年1月21日	17:30	60分	百年講堂大ホール	133	133	39	2	8	70	14	0	【選択】院内感染対策合同研修会	【選択】院内感染対策合同研修会	看護部 渡 梨穂子 リハビリテーション部 榎 謙 智之 呼吸器科 原田 英治	
40	令和2年2月6日	17:30	60分	百年講堂大ホール	86	86	40	0	25	17	4	0	【選択】院内感染対策合同研修会	【選択】院内感染対策合同研修会	看護部 渡 梨穂子 リハビリテーション部 榎 謙 智之 呼吸器科 原田 英治	
	各自	各自	30分	各自	573	573	499	0	7	34	33	0	【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 DVD貸し出し	【選択】院内感染対策合同研修会	医療安全管理部 後 豊 眞博 グローバル感染症センター 安水 幸枝 IMEセンター 三島 博之	
	各自	各自	60分	各自	504	504	437	3	6	33	25	0	【選択】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 DVD貸し出し	各自		

令和元年産 医療安全管理研修会(DVD買出一覧)

No.	開催日	開始時間	時間	部署	場所	受講者数	(内訳)				必須選択	合同	研修会名	テーマ	講師
							研修所	研修員	研修員	研修員					
1	令和元年12月12日	17:00~18:00	60分	研修所職員	研修所職員	6	6					医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
2	令和元年9月19日	14:00~15:30	90分	光字診療部 内科	光字診療部 内科	1		1				医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
3	令和元年9月19日	15:30~17:00	90分	総合科 内科	総合科 内科	2		2				医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
4	令和元年9月20日	9:00~10:30	90分	北棟科 内科	北棟科 内科	1		1				医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
5	令和元年9月24日	16:00~17:30	90分	小児科	北棟科 内科	10	10					医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
6	令和元年9月24日	17:00~18:30	90分	患者サービス課	研修所職員	0						医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
7	令和元年9月30日	17:00~18:30	90分	看護部内科	研修所職員	20	20					医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
8	令和元年10月1日	17:00~18:30	90分	総務課	研修所職員	1	1					医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
9	令和元年10月2日	18:30~20:00	90分	第2外科	研修所職員	14	14					医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
10	令和元年10月2日	8:30~10:00	90分	形成外科	研修所職員	6	6					医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
11	令和元年10月2日	13:00~15:30	90分	研究支援課	研修所職員	2		2				医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
12	令和元年10月2日	17:30~	90分	薬剤師室	研修所職員	1		1				医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
13	令和元年10月7日	10:20~10:50	90分	栄養管理室	研修所職員	1	1					医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
14	令和元年10月10日	19:00~20:40	90分	病棟内科	研修所職員	4	4					医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
15	令和元年10月11日	13:00~14:30	90分	研究支援課	研修所職員	2		2				医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
16	令和元年10月11日	13:30~15:00	90分	総務課	研修所職員	1		1				医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
17	令和元年10月17日	15:00~16:40	90分	心臓内科	研修所職員	17	17					医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
18	令和元年10月19日	15:50~17:30	90分	北3-1	研修所職員	2		2				医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
19	令和元年10月21日	12:30~14:00	90分	眼科	研修所職員	8	7	1				医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
20	令和元年10月21日	12:30~14:00	90分	眼科	研修所職員	8	8					医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
21	令和元年10月21日	13:00~14:30	90分	皮膚科	研修所職員	1		1				医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
22	令和元年10月21日	17:30~19:00	90分	眼科	研修所職員	16	16					医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
23	令和元年10月23日	12:30~14:00	90分	眼科	研修所職員	11	11					医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
24	令和元年10月23日	14:00~15:35	90分	看護部	研修所職員	3	3					医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
25	令和元年10月23日	17:00~18:30	90分	研究支援課	研修所職員	7	7					医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
26	令和元年11月1日	15:00~16:30	90分	総合科	研修所職員	1		1				医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
27	令和元年11月7日	15:00~16:30	90分	検査部	研修所職員	2		2				医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
28	令和元年11月7日	9:00~11:00	90分	検査部	研修所職員	4	3	1				医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
29	令和元年11月7日	14:00~15:30	90分	放射線科	研修所職員	1	1					医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
30	令和元年11月11日	12:00~14:30	90分	がんセンター	研修所職員	3	1	2				医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
31	令和元年11月11日	17:00~18:30	90分	小児科	研修所職員	6	5	1				医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
32	令和元年11月12日	11:00~12:30	90分	腎臓科	研修所職員	5	5					医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	
33	令和元年11月12日	17:00~18:00	90分	腎臓科	研修所職員	7	7					医療安全管理、院内感染対策研修会	院内感染対策研修会	研修所職員	

No.	開催日	開催時間	時間	部署	場所	受講者数	(内訳)			必須	合同	研修会名	テーマ	講師
							研修員	研修員	研修員					
139	令和2年1月21日	13:00~14:30	90分	病棟内科	病棟内科員教室	1			1	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
140	令和2年1月22日	12:00~13:30	90分	国際医療センター	アジア国際医療センター	3			3	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
141	令和2年1月22日	13:00~14:30	90分	整形外科	整形外科員教室	1			1	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
142	令和2年1月23日	9:00~10:30	90分	皮膚科	朝17:00~18:00 内科カンファレンス ルーム	1			1	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
143	令和2年1月23日	18:00~17:30	90分	呼吸器科	北内職員教室	1			1	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
144	令和2年1月23日	17:00~18:00		呼吸器科	北内職員教室	4			4	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
145	令和2年1月31日	13:00~13:00		国際医療センター	アジア国際医療センター	7			7	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
146	令和2年2月3日	10:30~12:00	90分	検査部	検査部	1			1	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
147	令和2年2月4日	10:30~11:30		検査部	検査部	1			1	研修	【選択】医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
148	令和2年2月6日	17:00~18:00		整形外科	朝17:00~18:00 内科カンファレンス ルーム	1			1	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
149	令和2年2月6日	18:00~19:00		整形外科	朝17:00~18:00 内科カンファレンス ルーム	9			9	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
150	令和2年2月10日	17:00~18:00		小児科	北内カンファレンス ルーム	7			7	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
151	令和2年2月13日	11:00~12:00		がんセンター	がんセンター	2			2	研修	【選択】医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
152	令和2年2月13日	17:00~18:00		矯正歯科	矯正歯科	5			5	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
153	令和2年2月14日	13:00~14:00		第2外科	第2外科医師カンファ レンスルーム	1			1	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
154	令和2年2月17日	13:30~14:30		腎臓病内科	腎臓病内科	13			13	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
155	令和2年2月18日	17:30~18:30		メチルグルチン センター	セミナー 室	1			1	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
156	令和2年2月18日	18:00~19:00	90分	消化器内科	MIC	2			2	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
157	令和2年2月19日	16:00~18:00		消化器内科	消化器研究室	10			10	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
158	令和2年2月25日	14:00~15:00	60分	高齢者科/全管理 センター	高齢者科/全管理 センター	3			3	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
159	令和2年2月25日	10:30~11:30		第1外科	朝17:00~18:00 内科カンファレンス ルーム	10			9	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
160	令和2年2月27日	13:30~14:30		口腔歯科診療科	口腔歯科診療科	2			2	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
161	令和2年11月20日	9:30~11:00	90分	先端検査センター	先端検査センター インバーンセンター	2			2	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
162	令和2年2月17日	17:00~18:00	60分	耳鼻咽喉科	南7階耳鼻科	17			17	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
163	令和2年2月22日	15:00~16:00	60分	検査部	検査部	1			1	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
164	令和2年2月22日	19:30~18:30	60分	2内科	臨床研究室	1			1	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
165	令和2年2月24日	18:00~17:00	60分	口腔外科	口腔外科	2			2	研修	【選択】医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
166	令和2年2月24日	17:00~18:00	60分	放射線科	放射線科	17			17	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
167	令和2年2月25日	18:00~17:00	60分	MEセンター	MEセンター	2			2	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
168	令和2年2月25日	12:00~13:00	60分	検査部	検査部	1			1	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
169	令和2年2月25日	18:00~17:00	60分	放射線科	放射線科	1			1	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
170	令和2年2月25日	17:30~18:30	60分	第二外科	研究情報科	1			1	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
171	令和2年2月25日	16:00~17:30	90分	産婦人科	朝17:00~18:00 内科カンファレンス ルーム	3			3	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
172	令和2年2月25日	17:30~18:30	60分	産婦人科	朝17:00~18:00 内科カンファレンス ルーム	5			5	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	
173	令和2年2月25日	17:30~18:30	60分	臨床検査科	臨床検査科	10			10	研修	医療安全管理、院内感染対策必須研修会	院内感染対策について この研修は薬剤師による感染対策の基礎 と薬剤師の役割について	高橋 幸子 西田 真由子 安水 幸代	

No.	開催日	開始時間	時間	部署	場所	受講者数	(内訳)					必須 選択	会場	講師
							医師 薬剤師	看護師	技師 管理 薬剤師	研修員 研修生	その他 (学生等)			
174	令和2年3月17日	21:00~22:00	60分	腎臓病診療部	腎臓病診療部	1	1						腎臓科・リネフンチーム 大嶋 孝子 グローバル医療推進センター 中島 真史	
175	令和2年3月18日	19:00~11:00	60分	眼科	眼科研修センター 眼科医局	1	1						眼科 村岡 孝子 検査部 西田 朋子 先生	
176	令和2年3月22日	17:00~18:00	60分	小児科	小児科医局	3	3						腎臓科・リネフンチーム 大嶋 孝子 グローバル医療推進センター 中島 真史	
177	令和2年3月19日	18:00~17:00	90分	精神科神経科	MMFカンファレンス ルーム	22	19			3			腎臓科 村岡 孝子 検査部 西田 朋子 先生	
178	令和2年3月9日	14:00~15:00	90分	泌尿器科	泌尿器科医局	14	11			3			腎臓科・リネフンチーム 大嶋 孝子 グローバル医療推進センター 中島 真史	
179	令和2年3月30日	17:00~18:00	90分	臨床内科		18	18						腎臓科・リネフンチーム 大嶋 孝子 グローバル医療推進センター 中島 真史	
180	令和2年3月27日	17:00~18:00	90分	麻酔科	麻酔科医局	5	5						腎臓科・リネフンチーム 大嶋 孝子 グローバル医療推進センター 中島 真史	

令和元年年度 医療安全管理研修会(DVD貸出一覧)

No.	開催日	開始時間	時間	部署	場所	受講者数	(内 容)				必須選択	研修名	講師
							医師	看護師	技師	その他(学生等)			
1	令和1年12月18日	17:00~18:00	60分	研修センター	研修センター	6	0	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
2	令和1年9月19日	14:00~15:30	90分	光学診療部 放射線科	光学診療部 内視鏡室	1	1	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
3	令和1年9月19日	15:30~17:00	90分	総合外科 消化器科	総合外科 消化器科	2	2	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
4	令和1年9月22日	8:30~10:30	90分	北棟外科45階	北棟外科45階 フロンティアホール	1	1	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
5	令和1年9月22日	16:00~17:30	90分	小児科	北棟フロンティア ホール	10	10	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
8	令和1年9月22日	9:00~10:30	90分	高齢サービス課	医療研修センター	0	0	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
7	令和1年9月30日	17:00~18:30	90分	看護部内科	CCUカフラス	23	23	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
8	令和1年10月1日	17:00~18:30	90分	看護部内科	看護部内科	1	1	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
9	令和1年10月2日	16:30~20:00	30分	第2外科	第2外科 カフラス	14	14	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
10	令和1年10月2日	8:30~10:00	90分	形成外科	形成外科	6	6	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
11	令和1年10月2日	13:00~15:30	90分	研究支援課	研究支援課	2	2	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
12	令和1年10月2日	17:30~	90分	薬剤科生薬	薬学講座 薬学講座	1	1	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
13	令和1年10月2日	10:30~10:50	90分	栄養管理課	栄養管理課	1	1	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
14	令和1年10月10日	19:00~20:40	90分	病棟内科	病棟内科	4	4	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
15	令和1年10月11日	13:00~14:30	90分	研究支援課	研究支援課 センター	2	2	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
16	令和1年10月11日	13:30~15:00	90分	総務課	総務課	1	1	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
17	令和1年10月17日	15:00~16:40	90分	心臓内科	北1-1 心臓内科	17	17	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
18	令和1年10月17日	15:30~17:30	90分	北1-1	北1-1 心臓内科	2	2	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
19	令和1年10月21日	12:30~14:00	90分	眼科	眼科	8	7	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
20	令和1年10月21日	12:30~14:00	90分	眼科	眼科	8	8	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
21	令和1年10月21日	13:00~14:30	90分	医療管理課	医療管理課	1	1	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
22	令和1年10月21日	17:30~19:00	90分	眼科	第11階カフラス ホール	16	16	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
23	令和1年10月22日	12:30~14:00	90分	眼科	眼科	11	11	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
24	令和1年10月22日	14:00~15:35	90分	看護部	中央企業部 多目的会議室	3	3	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
25	令和1年10月22日	17:00~18:30	90分	放射線科 放射線科	放射線科 放射線科	7	7	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
26	令和1年11月1日	15:00~16:30	90分	総合外科	4階プロダクション ホール	1	1	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
27	令和1年11月1日	15:00~16:30	90分	検査科	検査科	2	2	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
28	令和1年11月1日	9:00~11:00	90分	救命救急センター	救命救急センター	4	3	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
29	令和1年11月1日	14:00~15:30	90分	放射線科 放射線科	放射線科 放射線科	1	1	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
30	令和1年11月1日	13:00~14:30	90分	がんセンター	がんセンター	3	1	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
31	令和1年11月11日	17:00~18:30	90分	小児科	北棟カフラス ホール	6	5	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
32	令和1年11月12日	11:00~12:30	90分	胃腸科	胃腸科	5	5	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	
33	令和1年11月12日	17:00~18:00	90分	胃腸科	胃腸科	7	7	0	0	0	0	研修センター 中島 敏子 *ASTIによる医療安全研修	

No.	開催日	開始時間	時間	部署	場所	定員	(内訳)				必須定員	合同	研修名	子マ	講師
							医師	看護師	薬剤師	その他(正室)					
69	令和1年11月28日	12:00~14:00		心臓血管外科	心臓血管外科	12	12					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
70	令和1年11月28日	13:00~14:30	90分	心臓血管外科	心臓血管外科	16	16					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
71	令和1年11月28日	15:00~18:00		救命救急センター	救命救急センター カンファレンスルーム	2	2					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
72	令和1年11月28日	15:00~18:30	90分	3内科	3内科	12	11	1				医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
73	令和1年11月28日	16:00~17:30	90分	産科婦人科	産科婦人科	12	12					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
74	令和1年11月28日	16:00~17:30	90分	周産母子医療センター	周産母子医療センター	11	9	2				医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
75	令和1年11月28日	16:30~18:00	90分	精神科	精神科	27	23	4				医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
76	令和1年11月28日	17:00~18:00		産科婦人科	産科婦人科	16	16					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
77	令和1年11月28日	18:30~19:30		周産母子医療センター	周産母子医療センター	15	11	4				医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
78	令和1年11月28日		90分	ARO次世代医療センター	ARO次世代医療センター	2	2					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
79	令和1年11月28日	12:00~13:00		ウエストウイング	ウエストウイング	3	3					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
80	令和1年11月28日	13:00~14:30	90分	北10階	北10階	1	1					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
81	令和1年11月28日	14:00~15:00		北10階	北10階	1	1					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
82	令和1年11月28日	15:00~18:00		整形外科	整形外科	28	27	1				医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
83	令和1年11月28日	17:00~18:30	90分	開口整形外科	開口整形外科	6	6					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
84	令和1年11月28日		90分	南2-2	南2-2	1	1					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
85	令和1年11月28日	11:30~12:30		南2-1	南2-1	31	29	2				医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
86	令和1年11月28日	7:00~8:30	90分	南2-1	南2-1	29	26	2				医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
87	令和1年11月28日	7:00~8:30	90分	南2-1	南2-1	28	28					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
88	令和1年11月28日	10:00~12:00	90分	診療管理室	診療管理室	1	1					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
89	令和1年11月28日	10:45~12:15	90分	がんセンター	がんセンター	1	1					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
90	令和1年11月28日	13:00~14:00		北10階	北10階	1	1					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
91	令和1年11月28日	14:00~15:00		10U	10U	7	7					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
92	令和1年11月28日	14:30~15:30	90分	検査科	検査科	1	1					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
93	令和1年11月28日	15:00~18:30	90分	患者サービス課	患者サービス課	1	1					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
94	令和1年11月28日	17:30~19:00	90分	開口整形外科	開口整形外科	0	0					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
95	令和1年11月28日	17:30~19:00	90分	ハートセンター	ハートセンター	1	1					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
96	令和1年11月28日	16:00~19:30	90分	脳神経外科	脳神経外科	7	7					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
97	令和1年11月28日	19:00~14:30	90分	南2-2	南2-2	2	2					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
98	令和1年11月28日	19:00~14:30	90分	南2-1	南2-1	1	1					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
99	令和1年11月28日	19:30~20:00	90分	第1内科	第1内科	20	18	2				医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
100	令和1年11月28日	14:00~15:00		第1内科	第1内科	16	16					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
101	令和1年11月28日	14:30~15:30		検査科	検査科	1	1					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
102	令和1年11月28日	13:00~14:30	90分	放射線科	放射線科	12	12					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	
103	令和1年11月28日	18:00~20:00		北10階	北10階	1	1					医療品の適正使用 アナハイブプログラムの活用		村岡 晋代子 柳澤 裕子 安水 幸代	

No.	開催日	開始時間	時間	講者	場所	受講者数	(内訳)				必要資料	費用	研修名	子マ	講師
							研修員	研修生	研修員(学外)	研修生(学外)					
104	令和1年12月18日	20:00~21:30	90分	吹合機材料	クラウンブリックホール	1	1					吹合機材料の取扱いについて		吹合機材料 中島 孝史	
105	令和1年12月18日	9:00~10:30	90分	矯正歯科	矯正歯科	3	3					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
106	令和1年12月18日	13:00~14:30	90分	矯正歯科	矯正歯科	4	4					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
107	令和1年12月18日	14:00~15:30	90分	矯正歯科	矯正歯科	1	1					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
108	令和1年12月18日	15:00~16:30	90分	矯正歯科	矯正歯科	1	1					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
109	令和1年12月18日	7:00~8:00	21分	矯正歯科	矯正歯科	21	19					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
110	令和1年12月18日	9:30~10:30	19分	矯正歯科	矯正歯科	19	19					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
111	令和1年12月18日	11:00~12:30	8分	矯正歯科	矯正歯科	8	8					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
112	令和1年12月18日	13:00~14:30	90分	矯正歯科	矯正歯科	1	1					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
113	令和1年12月18日	14:00~15:30	90分	矯正歯科	矯正歯科	16	16					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
114	令和1年12月18日	14:00~15:30	90分	矯正歯科	矯正歯科	1	1					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
115	令和1年12月18日	15:00~16:00	23分	矯正歯科	矯正歯科	23	20					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
116	令和1年12月18日	15:00~16:00	8分	矯正歯科	矯正歯科	8	7					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
117	令和1年12月18日	15:00~16:00	13分	矯正歯科	矯正歯科	13	12					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
118	令和1年12月18日	17:30~18:30	1分	矯正歯科	矯正歯科	1	1					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
119	令和1年12月18日	9:30~10:30	2分	矯正歯科	矯正歯科	2	2					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
120	令和1年12月18日	19:00~17:00	12分	矯正歯科	矯正歯科	12	12					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
121	令和1年12月18日	17:30~18:30	7分	矯正歯科	矯正歯科	7	7					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
122	令和1年12月18日	17:30~18:30	7分	矯正歯科	矯正歯科	7	7					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
123	令和1年12月18日	12:30~14:00	50分	矯正歯科	矯正歯科	7	7					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
124	令和1年12月18日	10:30~11:30	51分	矯正歯科	矯正歯科	51	47					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
125	令和1年12月18日	18:00~17:00	10分	矯正歯科	矯正歯科	10	16					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
126	令和1年12月18日	18:00~17:30	90分	矯正歯科	矯正歯科	13	11					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
127	令和1年12月17日	13:00~14:30	90分	矯正歯科	矯正歯科	1	1					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
128	令和1年12月17日	13:00~14:00	38分	矯正歯科	矯正歯科	38	36					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
129	令和1年12月20日	13:00~14:00	2分	矯正歯科	矯正歯科	2	2					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
130	令和1年12月20日	14:00~15:30	90分	矯正歯科	矯正歯科	1	1					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
131	令和1年12月20日	17:00~18:00	4分	矯正歯科	矯正歯科	4	4					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
132	令和1年12月20日	11:00~12:30	3分	矯正歯科	矯正歯科	3	3					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
133	令和1年12月20日	18:00~20:00	8分	矯正歯科	矯正歯科	8	7					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
134	令和1年12月20日	13:00~14:30	90分	矯正歯科	矯正歯科	1	1					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
135	令和1年12月20日	13:00~14:30	90分	矯正歯科	矯正歯科	1	1					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
136	令和1年12月20日	10:00~11:00	1分	矯正歯科	矯正歯科	1	1					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
137	令和1年12月20日	10:00~11:00	1分	矯正歯科	矯正歯科	1	1					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	
138	令和1年12月20日	13:00~14:00	2分	矯正歯科	矯正歯科	2	2					矯正歯科の取扱いについて		矯正歯科 中島 孝史	

No.	開催日	開始時間	時間	講者	場所	受講者数	(内容)					必須選択	会場	研修名	子一マ	講師
							医師	研修員	研修員	研修員	研修員					
174	令和2年10月17日	21:00~22:00	60分	腎臓科	腎臓科	1	1						腎臓科/リネオチーム、大塚 敏子 *ASTIによる抗腫瘍薬正使用		腎臓科/リネオチーム、大塚 敏子 *ASTIによる抗腫瘍薬正使用	
175	令和2年5月18日	10:00~11:00	60分	腫瘍内科	腫瘍内科	1	1						腫瘍内科/リネオチーム、大塚 敏子 *ASTIによる抗腫瘍薬正使用		腫瘍内科/リネオチーム、大塚 敏子 *ASTIによる抗腫瘍薬正使用	
176	令和2年2月27日	17:00~18:00	60分	小児外科	小児外科	3	3						小児外科/リネオチーム、大塚 敏子 *ASTIによる抗腫瘍薬正使用		小児外科/リネオチーム、大塚 敏子 *ASTIによる抗腫瘍薬正使用	
177	令和2年3月19日	18:00~19:00	60分	精神科	精神科	22	19				3		精神科/リネオチーム、大塚 敏子 *ASTIによる抗腫瘍薬正使用		精神科/リネオチーム、大塚 敏子 *ASTIによる抗腫瘍薬正使用	
178	令和2年3月9日	14:00~15:00	60分	泌尿器科	泌尿器科	14	11				3		泌尿器科/リネオチーム、大塚 敏子 *ASTIによる抗腫瘍薬正使用		泌尿器科/リネオチーム、大塚 敏子 *ASTIによる抗腫瘍薬正使用	
179	令和2年3月30日	17:00~18:00	60分	脳神経内科	脳神経内科	18	18						脳神経内科/リネオチーム、大塚 敏子 *ASTIによる抗腫瘍薬正使用		脳神経内科/リネオチーム、大塚 敏子 *ASTIによる抗腫瘍薬正使用	
180	令和2年3月27日	17:00~18:00	60分	腫瘍内科	腫瘍内科	5	5						腫瘍内科/リネオチーム、大塚 敏子 *ASTIによる抗腫瘍薬正使用		腫瘍内科/リネオチーム、大塚 敏子 *ASTIによる抗腫瘍薬正使用	

令和元年度 医薬品安全管理研修会

○ 全体に向けた内容の研修会

No.	開催日	時間	場所	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	平成31年4月1日	90分	百年講堂	532	新採用者就任式・合同研修	医薬安全管理について(25分)、医療機器の安全について(15分)、安永看護師長、薬剤部 金谷副部長、MEセンター 三島臨床工学技士	講師
2	令和1年5月16日	60分	百年講堂本ホール	316	【選択】医薬安全管理・院内感染対策合同研修会	1. 医薬品の適正使用 2. アンチバイオグラムの活用	・医薬品安全管理委員会 村岡香代子 薬剤部主任 ・検査部 西田留梨子 先生
小計				848			

○ 採用者への研修会

<対象者：看護師、外>

No.	開催日	時間	場所	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	令和元年4月3日	70分	外来棟5階カンファレンスルーム	7	薬剤部におけるリスクマネジメント	薬剤部におけるリスクマネジメント	薬剤部 副部長 金谷 剛子
2	令和元年5月9日	40分	中央会議棟多目的会議室A・B・C	118	新採用者「看護実践研修2」	医薬品の管理・薬剤の基礎知識	薬剤部 副部長 渡邊 裕之
小計				125			

○ 職種別研修会

<対象者：看護師、外>

No.	開催日	時間	場所等	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	令和元年5月23日	30分	南9階病棟カンファレンスルーム	15	南9階 病棟勉強会	抗HIV薬について	薬剤部 薬剤師 松本 慎太郎
2	令和元年6月27日	30分	北11階1病棟 面談室	12	北11階1病棟 看護師勉強会	抗がん剤やステロイドなどの使用患者に対する副作用管理	薬剤部 薬剤師 森川 花絵
3	令和元年7月5日	30分	南8階病棟 カンファレンスルーム	35	南8階 病棟看護師勉強会	乳癌の化学療法について投与時の注意点など周知	薬剤部 薬剤師 福田 未音
4	令和元年10月17日	30分	南7階 カンファレンスルーム	7	南7階2病棟 看護師勉強会	麻薬の種類、副作用管理や使用上の注意点	薬剤部 薬剤師 池部 美穂
5	令和元年10月18日	30分	北11-2病棟 医員室	10	北11階2病棟 看護師KCL研修会	注射カリウム製剤取り扱いのうえで必要な知識等	薬剤部 薬剤師 森川 花絵
小計				79			

令和元年度 医療機器安全管理研修会

○ 全体に向けた内容の研修会

No.	開催日	時間	場所	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	平成31年4月1日	90分	百年講堂 大ホール	532	新採用者就任式・合同研修	医療安全管理について 感染防止について 薬剤のオーダーと運用について	医療安全管理部副部長 馬場 子エミ グロ－バル感染症センター 安永 幸枝 薬剤部 金谷 朋子
2～10	平成31年4月17日 ～4月25日(計9回)	90分	百年講堂 大ホール	2868	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修 ※ 除細動器新規導入時研修会(DVD研修)	当院の医療安全管理について これだけは実践しよう！感染対策の基礎 除細動器の取扱いについて	医療安全管理部 後 信・馬場 子エミ グロ－バル感染症センター 安永 幸枝 MEセンター 三島 博之
11～13	令和元年5月22日 ～5月30日(計3回)	90分	百年講堂 大ホール	480	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修 ※ 除細動器新規導入時研修会(DVD研修)	当院の医療安全管理について これだけは実践しよう！感染対策の基礎 除細動器の取扱いについて	医療安全管理部 後 信・馬場 子エミ グロ－バル感染症センター 安永 幸枝 MEセンター 三島 博之
14	令和元年5月27日	90分	百年講堂 大ホール	98	中途採用者研修 ※ 除細動器新規導入時研修会(DVD研修)	医療安全管理について 感染防止について	医療安全管理部副部長 馬場 子エミ 薬剤部 金谷 朋子
15	令和元年6月13日	120分	百年講堂 大ホール	139	第43回呼吸管理セミナー	生体監視モニターの設定と確認事項について リスクマネジメントの観点からの安全な吸引手順とは	MEセンター 高橋 幸子 医療科 産科 榎田 健太 看護部 池田 健太
16	令和元年6月21日	90分	百年講堂 中ホール	57	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修 ※ 除細動器新規導入時研修会(DVD研修)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎 除細動器の取扱いについて	医療安全管理部 後 信・馬場 子エミ グロ－バル感染症センター 安永 幸枝 MEセンター 三島 博之
17	令和元年6月21日	90分	百年講堂 中ホール	24	中途採用者研修 ※ 除細動器新規導入時研修会(DVD研修)	医療安全管理について 感染防止について	医療安全管理部副部長 馬場 子エミ 薬剤部 金谷 朋子
18	令和元年7月24日	90分	百年講堂 中ホール	29	中途採用者研修 ※ 除細動器新規導入時研修会(DVD研修)	医療安全管理について 感染防止について	医療安全管理部副部長 馬場 子エミ 薬剤部 金谷 朋子
19	令和元年7月25日	90分	百年講堂 中ホール	55	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修 ※ 除細動器新規導入時研修会(DVD研修)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎 除細動器の取扱いについて	医療安全管理部 後 信・馬場 子エミ グロ－バル感染症センター 安永 幸枝 MEセンター 三島 博之
20	令和元年8月20日	90分	百年講堂 中ホール	47	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修 ※ 除細動器新規導入時研修会(DVD研修)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎 除細動器の取扱いについて	医療安全管理部 後 信・馬場 子エミ グロ－バル感染症センター 安永 幸枝 MEセンター 三島 博之
21	令和元年9月19日	90分	臨床小講堂2	17	中途採用者研修 ※ 除細動器新規導入時研修会(DVD研修)	医療安全管理について 感染防止について	医療安全管理部副部長 馬場 子エミ 薬剤部 金谷 朋子
22	令和元年10月17日	120分	百年講堂 大ホール	67	第44回呼吸管理セミナー	小児気道異物の診断と治療 小児・新生児感染症について 酸素吸入療法の実際とシミュレーション	小児外科 近藤 絳也 小児科 金政 光 呼吸器科 藤方 大聡
23	令和元年10月2日	90分	臨床大講堂	27	中途採用者研修 ※ 除細動器新規導入時研修会(DVD研修)	医療安全管理について 感染防止について	医療安全管理部副部長 馬場 子エミ 薬剤部 金谷 朋子
24	令和元年11月20日	90分	臨床大講堂	19	中途採用者研修 ※ 除細動器新規導入時研修会(DVD研修)	医療安全管理について 感染防止について	医療安全管理部副部長 馬場 子エミ 薬剤部 金谷 朋子
25	令和元年12月16日	90分	臨床大講堂	33	中途採用者研修 ※ 除細動器新規導入時研修会(DVD研修)	医療安全管理について 感染防止について	医療安全管理部副部長 馬場 子エミ 薬剤部 金谷 朋子
26	令和2年1月23日	90分	臨床大講堂	6	中途採用者研修 ※ 除細動器新規導入時研修会(DVD研修)	医療安全管理について 感染防止について	医療安全管理部副部長 馬場 子エミ 薬剤部 金谷 朋子
27	令和2年2月17日	90分	臨床大講堂	18	中途採用者研修 ※ 除細動器新規導入時研修会(DVD研修)	医療安全管理について 感染防止について	医療安全管理部副部長 馬場 子エミ 薬剤部 金谷 朋子
小計				4,159			

○ 機器導入時研修会

<対象者：臨床工学士、医師、看護師等 新規導入機器使用職員>

NO.	開催日	時間	場所	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	平成31年4月11日	15分	北棟地下1階 MEセンター	19	窒素ブレンドー 新規導入時研修会	窒素ブレンドー説明会	メテック呼吸器 浜田
2	令和元年5月15日	60分	北棟地下1階 MEセンター	14	HVAD 新規導入時研修会	HVADトレーニング	日本ボトロニック株式会社 立川
3	令和元年7月9日	15分	北棟地下1階 MEセンター	11	メラ冷凍水槽 新規導入時研修会	メラ冷凍水槽について	泉工医科工業株式会社 小川
4	令和元年7月18日	45分	北棟2階 結石破砕室	18	da Vinci Xi 新規導入時研修会	da Vinci Xiの使用方法について	インテュイティブサージカル合同会社 入江、中島
5	令和元年9月5日	45分	北棟地下1階 MEセンター	18	日本光電除細動器「TEC-5631」 新規導入時研修会(追加研修)	除細動器「TEC-5631」の取り扱いについて	日本光電工業株式会社 岸川 章吾
6	令和元年8月22日	60分	北棟地下1階 MEセンター	9	HertMate II 新規導入時研修会	HertMate IIディスプレイモジュールについて	ニプロ株式会社 中園
7	令和元年9月9日	60分	北棟地下1階 MEセンター	12	IMPELLA CP 循環補助用ポンプカテーテル説明会	IMPELLA CP循環補助用ポンプカテーテルについて	アビオメッド株式会社 松原
8	令和元年11月20日・28日	75分	北棟地下1階 MEセンター	17	ECMO装置「CARDIO HELP」取り扱い研修会	ECMO装置「CARDIO HELP」取り扱い研修会	ゲテインググループ・ジャパン株式会社 宮城 薫子
小計				118			

○ 機器安全使用のための研修会

<対象者：臨床工学士>

NO.	開催日	時間	場所	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	令和元年5月9日	30分	北棟地下1階 共用会議室	8	テルモ 人工肺勉強会	テルモ社の人工肺について	テルモ株式会社 栗原 陽介
2	令和元年5月27日	60分	北棟地下1階 共用会議室	12	Baxterセザイリスの使用について	セザイリスの腫床使用と実績について	バクスター株式会社 上田
3	令和元年6月27日	120分	南棟3階ICU カンファレンス室	34	持続血液透析濾過法(CHDF)について	持続血液透析濾過法(CHDF)について	MEセンター 榎本 裕哉
4	令和元年7月22日	90分	北棟地下1階 共用会議室	16	小児の心臓疾患について	小児の人工心臓疾患について	心臓血管外科 帯刀先生
5	令和元年9月26日	30分	南棟3階 手術部	11	Ho-YAGレーザー 取り扱い研修会	Ho-YAGレーザー 取り扱い研修会	日本ルミナス 大賀
6	令和元年10月10日	45分	北棟地下1階 共用会議室	13	HORIZON静脈リザーバーAF Plus動脈リザーバー内臓人工肺 説明会	バイタル社の人工肺について	株式会社バイタル
小計				94			

医療安全管理マニュアル（抜粋）

4) 医療安全管理部

医療安全管理委員会を有効に機能させるため、医療安全管理部教授を部長とする医療安全管理部を設置する。（医療法施行規則第9条の20の2第1項第6号）

医療安全管理部には、業務の中核を担うセーフティマネージャーを置く。

医療安全管理部は、医療安全管理委員会で決定された方針に基づき、組織横断的に院内の安全管理を担う。

医療安全管理部は以下の業務を行う。

1. 医療法上、医療安全管理部が行わなければならない業務

- ① 医療安全管理委員会に係る事務
- ② 事故その他の医療安全管理部門において取り扱うことが必要なものとして管理者が認める事象が発生した場合における診療録その他の診療に関する記録の確認、患者又はその家族への説明、当該事象の発生の原因の究明の実施その他の対応の状況の確認及び当該確認の結果に基づく従業者への必要な指導
- ③ 医療に係る安全管理に係る連絡調整
- ④ 医療に係る安全の確保のための対策の推進
- ⑤ 医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認

2. 医療法上、行う必要があるその他の業務

- ① インシデントレポートおよび影響度分類レベル3 b以上報告書の分析に関すること
- ② 医療安全に係る職員の教育・研修の企画・立案・実施等に関すること

3. 医療安全対策加算のために医療安全管理部が行わなければならない業務

- ① 各部門における医療安全対策の実施状況の評価に基づき、医療安全確保のための業務改善計画書を作成し、それに基づく医療安全対策の実施状況および評価結果を記録していること
- ② 医療安全管理委員会との連携状況、院内研修の実績、患者等の相談件数および相談内容、相談後の取扱い、その他の医療安全管理者の活動実績を記録していること
- ③ 医療安全対策に係る取組みの評価等を行うカンファレンスが週1回程度開催されており、医療安全管理委員会および必要に応じて各部門の医療安全管理の担当者が参加していること

4. その他

- ① 医療安全管理マニュアルの編集および見直しに関すること

九州大学病院高度新規医療評価部内規

施行 平成29年 4月 1日

最終改正 令和 元年10月10日

(趣旨)

第1条 この内規は、九州大学病院内規第11条第4項の規定に基づき、九州大学病院高度新規医療評価部（以下「評価部」という。）の組織その他必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 評価部は、医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の20の2第1項第7号ロ及び第9条の20の2第1項第8号ロの規定並びに当該規定に係る厚生労働省告示に基づき、九州大学病院（以下「本院」という。）における高度新規医療を用いた医療の適正な提供を図ることを目的とする。

(定義)

第3条 この内規において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 高難度新規医療技術 本院で実施したことのない医療技術（軽微な術式の変更等を除く。）であってその実施により患者の死亡その他の重大な影響が想定されるもの
- (2) 未承認新規医薬品 本院で使用したことのない医薬品であって、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」（昭和35年法律第145号）における承認又は認証を受けていないもの
- (3) 未承認新規医療機器 本院で使用したことのない高度管理医療機器であって、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」（昭和35年法律第145号）における承認又は認証を受けていないもの
- (4) 高度新規医療 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品及び未承認新規医療機器を用いた医療

(業務)

第4条 評価部の業務は次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 診療科の長から高度新規医療実施申請（以下「申請」という。）が行われた場合において、当該申請の内容を確認するとともに、第9条に規定する各委員会（以下「諮問委員会」という。）に対して当該高度新規医療の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求めること。
- (2) 前号の意見の求めに応じ、諮問委員会が述べた意見を踏まえ、高度新規医療の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を適否結果通知書により通知すること。
- (3) 高度新規医療が適正な手続に基づいて提供されていることについて、定期的に確認すること。
- (4) 高度新規医療の提供の適否等について決定したとき及び高度新規医療が適正な手続に基づいて提供されていることについて確認したとき、その内容について病院長に報告すること。

(組織)

第5条 評価部に、部長及び部員を置く。

- 2 部長は、医療安全管理責任者をもって充てる。
- 3 部長は、評価部の業務を統括する。
- 4 部員は、次の各号に掲げる者をもって充てる。
 - (1) 医療安全管理部長
 - (2) 医薬品安全管理責任者
 - (3) 医療機器安全管理責任者
 - (4) 麻酔科蘇生科科长
 - (5) 手術部副部長のうちから選ばれた者 1人
 - (6) 医師ゼネラルリスクマネージャー

- (7) 薬剤師ゼネラルリスクマネージャー
- (8) 看護師ゼネラルリスクマネージャーのうちから選ばれた者 1人
- (9) 臨床工学技士ゼネラルリスクマネージャー
- (10) インフォームド・コンセント小委員会委員長
- (11) その他評価部が必要と認めた者 若干人

(部門)

第6条 評価部に、次に掲げる部門を置く。

- (1) 高難度新規医療技術評価部門
- (2) 未承認新規医薬品評価部門
- (3) 未承認新規医療機器評価部門

(責任者)

第7条 各部門に次のとおり責任者を置く。

- (1) 高難度新規医療技術評価部門 医療安全管理部長
- (2) 未承認新規医薬品評価部門 医薬品安全管理責任者
- (3) 未承認新規医療機器評価部門 医療機器安全管理責任者

(実務担当者)

第8条 各部門に次のとおり実務担当者を置く。

- (1) 高難度新規医療技術評価部門 手術部副部長
- (2) 未承認新規医薬品評価部門 薬剤師ゼネラルリスクマネージャー
- (3) 未承認新規医療機器評価部門 臨床工学技師ゼネラルマネージャー

(諮問委員会)

第9条 評価部は、高度新規医療の提供の適否等について、内容に応じて次の委員会に意見を求めるものとする。

- (1) 高難度新規医療技術の提供 九州大学病院高難度新規医療技術審査委員会
- (2) 未承認新規医薬品及び未承認新規医療機器の使用 九州大学病院臨床倫理委員会

(秘密の保持)

第10条 評価部の構成員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

(事務)

第11条 高度新規医療評価部に関する事務は、研究支援課の協力を得て医療管理課において処理する。

(雑則)

第12条 この内規に定めるもののほか、評価部の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この内規は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成30年1月17日から施行し、平成30年1月1日から適用する。

附 則

この内規は、令和元年10月10日から施行し、平成30年6月1日から適用する。

規則第 7 条の 2 第 1 項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

・基準の主な内容

◎九州大学病院長候補者選考実施規程

第 2 条 九州大学部局長の任命等に関する規則（平成 27 年度九大規則第 29 号）第 3 条別表の規定に基づく病院長となることができる者は、次の各号のいずれにも該当する者とする。

- (1) 医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 10 条第 2 項に基づき主として医業を行う病院を管理することができる者
- (2) 医療安全確保のために必要な資質・能力を有する者
- (3) 病院の管理運営上必要な資質・能力を有する者

2 九州大学病院長候補者選考会議（以下「選考会議」という。）は、病院長候補者の選考に際し、前項第 2 号及び第 3 号に掲げる資質・能力に係る具体的な基準についてあらかじめ定めるものとする。

◎九州大学病院長に求められる資質・能力等について（平成 29 年 10 月 4 日九州大学病院長候補者選考会議）

九州大学病院長候補者選考会議は、病院長候補者の選考にあたり、九州大学病院長候補者選考実施規程第 2 条第 2 項の規定に基づき、病院長に求められる資質・能力等について次のとおり定める。

■求められる資質・能力等

人格が高潔で学識に優れ、かつ、次に掲げる資質・能力を有すること。

1. 医療安全確保のために必要な資質・能力

医療安全管理業務の経験、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力等を有すること。

2. 病院の管理運営上必要な資質・能力

当院又は当院以外の病院での組織管理経験など、高度な医療を司る特定機能病院の管理運営上必要な資質・能力を有すること。

3. 九州大学及び九州大学病院の理念等を実現するために必要な資質・能力

九州大学アクションプランや九州大学病院が掲げる理念・基本方針の実現を目指す強い意思とこれらを継続的かつ確実に推進する強力なリーダーシップを有すること。

・基準に係る内部規程の公表の有無（有）

・公表の方法

本学 Web サイトに掲載

規則第 7 条の 3 第 1 項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				無
<ul style="list-style-type: none">・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（有・無）・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（有・無）・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（有・無）・ 公表の方法				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第 9 条の 2 3 第 1 項及び第 2 項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無		有	
<p>・合議体の主要な審議内容 合議体の名称：九州大学病院運営会議 合議体の主要な審議内容</p> <p>①運営方針に関する事項</p> <p>②中期目標及び中期計画に関する事項</p> <p>③規程等の制定及び改廃に関する事項</p> <p>④予算及び決算に関する事項</p> <p>⑤その他病院の運営に関する重要事項</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況 議事要旨を院内Webサイトに掲載し、周知</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（有）</p> <p>・公表の方法 本学のWebサイトに掲載</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（有） 九州大学病院運営会議規程第7条において、「運営会議が必要と認めるときは、構成員以外の者に出席を求め、意見を聞くことができる」旨規定されている。</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
赤司浩一	○	医師	病院長
古谷野潔		歯科医師	副病院長・科長
須藤信行		医師	副病院長・科長
中島康晴		医師	副病院長・科長
中村雅史		医師	副病院長・科長
堀内孝彦		医師	副病院長・科長
濱田正美		看護師	副病院長
新納宏昭		医師	病院長補佐
塩瀬 明		医師	病院長補佐・科長
大賀正一		医師	病院長補佐・科長
中島直樹		医師	病院長補佐・科長
加藤聖子		医師	病院長補佐・科長
水元一博		医師	病院長補佐
鮎澤純子		教員	病院長補佐
宮本敏浩		医師	副科長
有信洋二郎		医師	副科長
北園孝成		医師	科長

(様式第 6-3)

小川佳宏		医師	科長
山崎 亮		医師	副科長
筒井裕之		医師	科長
松元幸一郎		医師	副科長
森 正樹		医師	科長
溝口昌弘		医師	副科長
吉丸耕一郎		医師	副科長
古江増隆		医師	科長
江藤正俊		医師	科長
中尾智博		医師	科長
園田康平		医師	科長
中川尚志		医師	科長
石上康生		医師	科長
山浦 健		医師	科長
門田英輝		医師	科長
水野晋一		医師	科長
福本 敏		歯科医師	科長
高橋一郎		歯科医師	科長
前田英史		歯科医師	科長
西村英紀		歯科医師	科長
中村誠司		歯科医師	科長
森 悦秀		歯科医師	科長
横山武志		歯科医師	科長
吉浦一紀		歯科医師	科長
和田尚久		歯科医師	科長
柏崎晴彦		歯科医師	科長
三森功士		医師	科長
播广谷勝三		医師	科長
平川雅和		医師	科長
岩松有希子		医師	副科長
康東天		医師	部長
小田義直		医師	部長
前田高宏		医師	部長
下野信行		医師	センター長
後信		医師	部長
安藤真一		医師	センター長
清水周次		医師	部長
家入一郎		薬剤師	部長
河野一郎		理学療法士	部長
藤江 進		事務	部長
笹栗俊之		医師	教授
鴨打正浩		医師	教授

(令和 2 年 10 月 1 日現在)

規則第 15 条の 4 第 1 項第 1 号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ 有 ）
- ・ 公表の方法
本学 Web サイトに掲載
- ・ 規程の主な内容
九州大学学則第 25 条第 2 項 「部局長は、当該部局の業務を掌理する。」
九州大学病院規則第 16 条 「病院の管理及び運営に関し必要な事項については、
病院長が別に定める。」
国立大学法人九州大学予算決算及び出納事務取扱規程第 9 条第 2 項
「総長は、（中略）予算単位（病院）に配分した予算の管理及び執行に関する事務を予算
責任者（病院長）に分掌させるものとし、その処理に係る職務権限を委任するものとする。」
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
 - (1) 副病院長を 6 名置き、病院長を補佐して本院の業務を処理
副病院長 ①統括・歯科担当、②総務担当、③経営担当、
④安全管理・危機管理担当、医療安全管理責任者、⑤別府病院担当、
⑥看護部総括担当
 - (2) 病院長補佐を 7 名置き、病院長の諮問に応じ、具体的な事項についての情報の収集及び調査
を行い、意見を具申
病院長補佐 ①教育担当、②経営・安全管理担当、③医療安全・移行期医療担当
④医療情報担当、⑤診療報酬担当、⑥監査・法規・IC 担当
⑦別府病院再開発担当
 - (3) その他、国際医療部長、薬剤部長、医療技術部長、事務部長等が、病院長をサポート

・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

日程	事業名	場所	参加者
平成31年2月9日	国立大学附属病院長会議「第3回病院長塾」	品川シーズンテラス タワー	病院長、須藤副病院長、 中島副病院長、中村副病 院長、濱田副病院長
令和元年10月27 日	特定機能病院管理者研 修	日本医療機能評価機 構	病院長、中村副病院長、 飯原病院長補佐
令和2年2月17日	第2回病院経営次世代 リーダー養成塾	学術総合センター (東京)	病院長、中島副病院長

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 監査委員会の開催状況：年 2 回 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 第 1 回監査 以下の現状について監査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全の確保に資する診療情報の把握（モニタリング）について 第 2 回監査 以下の現状について監査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者誤認対策について ・ 影響度分類レベル 3 b 以上への病院としての対応について ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ） ・ 委員名簿の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ） ・ 委員の選定理由の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ） ・ 公表の方法：九州大学病院ホームページ 	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
奥村 耕一郎	琉球大学	○	安全管理の識見者	無	1
一木 孝治	産業医科大学		安全管理の識見者	無	1
高橋 一久	産業医科大学		安全管理の識見者	無	1
秋好美代子	さく病院		安全管理の識見者	有	1
久保井 摂	九州合同法律事務所		法律の識見者	無	1
中原 美夏	NPO 法人キャンサーサポート		医療を受ける者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

「国立大学法人九州大学の業務の適性を確保するための体制等に関する規則」に基づき、本学の
役職員が法令及び本学の規則等を遵守することなどを目的として、本学の業務の適正を確保する
ための体制を整備している。

本体制において、病院長は業務適正確保責任者として、本院の業務の調査・評価を行い、その
結果等について業務適正確保統括責任者（総長が指名する理事）に報告を行い、さらに業務適正
確保統括責任者は、毎年役員会に取りまとめた結果を報告し、確認を行っている。

・ 専門部署の設置の有無（ 有 ）

・ 内部規程の整備の有無（ 有 ）

・ 内部規程の公表の有無（ 有 ）

・ 公表の方法

本学Webサイトに掲載

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 平成30年度から予算執行状況を含む本院の業務の実施状況について、定期的に役員会に報告することとしている。			
・ 会議体の実施状況（年 36 回（令和元年度））			
・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（有・ <input checked="" type="radio"/> 無）（年 回）			
・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有・無）			
・ 公表の方法 本学Webサイトに掲載			

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (有)・ 通報件数 (年 0 件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (有)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (有)・ 周知の方法 メールにより病院内の全教職員へ定期的に周知

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期	
1) 「公益財団法人日本医療機能評価機構」の「病院機能評価一般病院<3rdG:Ver. 2.0>」の更新審査を平成30年10月に受審し平成30年1月28日に遡りで認定（認定期間～令和5年1月27日）	
2) 「公益財団法人日本適合性認定協会」の「ISO15189」（検査部）の更新審査を平成30年1月に受審し平成30年1月17日付けで認定（認定期間～令和4年3月31日）	
3) 「日本輸血・細胞治療学会」の「I&A」（遺伝子・細胞療法部）の更新審査を令和元年11月に受審し令和元年12月27日付けで認定（認定期間～令和7年3月31日）	
4) 「一般財団法人日本医療教育財団」の「外国人患者受入れ医療機関認証制度」の審査を令和元年12月に受審し令和2年2月12日付けで認定（認定期間～令和5年3月14日）	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・情報発信の方法、内容等の概要	
○病院のホームページ	
外来・入院・お見舞い案内、病院紹介、病院指標データ、診療科・センター・施設等案内、医療連携、採用情報、トピックス等の情報を提供	
○広報誌	
1) 病院概要（県内病院、国立大学、官公庁向けに送付）	
診療科、部、センター等の案内、病院統計資料等の情報を提供	
2) 九大病院ニュース（県内外の病院、県医師（歯科医師）会、大学病院、官公庁向けに送付	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<p>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>○周術期支援センター</p> <p>周術期支援センターは、周術期医療の質の向上を目指して、平成26年9月に設置され、これまで患者が安全に手術を受けられるよう、麻酔科医・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士および周術期口腔ケアセンターの歯科医・歯科衛生士が各科担当医とチームを組み、支援してきた。さらに、手術患者の社会福祉的支援を入院前から開始するとともに、退院後の療養支援を行うために令和2年4月より、入退院・周術期支援センターを開設している。</p>	